
2008

[第22回]

牛乳・乳製品の
消費動向に
関する調査

社団法人日本酪農乳業協会

後援 農林水産省 独立行政法人 農畜産業振興機構

はじめに

この「牛乳・乳製品の消費動向に関する調査」は、当協会の前身の一つである（社）全国牛乳普及協会が、1987年に調査を開始し、今回で22回目の調査となります。

この「牛乳・乳製品の消費動向に関する調査」は、牛乳・乳製品の消費構造の変化や動向を把握するため、牛乳・乳製品の消費・購入・嗜好等に関する基本的な項目を、地域・年代などに偏りが生じないように調査設計を行い、牛乳・乳製品の消費拡大方策を立案するのに役立つ資料を得ることを目的として実施してまいりました。この調査は、酪農乳業関係者、関連食品業界、研究者及びマスコミ関係者等にも広くご活用いただいております。

本年度の調査においては、「白もの牛乳類の値上がりについての認識」について調査を行いました。調査時期が6月であり、4月からの価格改定が十分浸透していなかったことも影響しているものと思われ。また、「白もの牛乳類の値上がりについての認識」については、今後調査を継続して実施する必要があります。

「白もの牛乳類の飲用頻度」については、平均で3.8日/週という結果で、ここ数年大きな変化は見られません。

「白もの牛乳類の飲用シーン」については、「朝食をとりながら」が、第1位ですが、その他のシーンについて大幅に増加したものはなく、シーンの大きな変化はみられていません。

「ふだん最もよく飲む飲み物」については、「無糖のお茶飲料」及び「コーヒー」が、「白もの牛乳類」よりも上位を占める結果となり、ここ数年同様の結果で推移しています。

牛乳・乳製品の消費拡大が、関係者の焦眉の課題となっております。この調査を酪農乳業関係者の牛乳・乳製品消費拡大の基本情報として、お役立ていただきたくここにお届けいたします。

平成20年11月

社団法人 日本酪農乳業協会 会長 本田浩次

目 次

調査設計

調査目的	1
本年度調査テーマ	1
調査方法	1
サンプル構成	3
主な分析軸	4

調査結果の詳細

I 白もの牛乳類の飲用実態	5
1. 白もの牛乳類の飲用頻度	5
1) 白もの牛乳類の飲用頻度	5
2) そのまま飲む頻度	7
3) 他のものと混ぜて飲む頻度	8
4) 季節による変動	9
2. 白もの牛乳類の飲用量	11
3. 白もの牛乳類の飲み方	14
4. 白もの牛乳類の飲用シーン	17
5. 白もの牛乳類の飲用理由	19
II この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識	21
1. 飲み方別飲用量の増減	21
1) そのまま飲む量の増減	21
2) 混ぜて飲む量の増減	22
3) 全体での増減	23
2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因	26
3. 白もの牛乳類の飲用意向	32
III 白もの牛乳類の購入実態	34
1. 白もの牛乳類の購入頻度	34
2. 白もの牛乳類を購入する人	36
3. 白もの牛乳類の購入場所	37
IV 白もの牛乳類の値上がりについての認識	43

V	ふだん購入する飲み物・乳製品	44
	1. ふだん購入する飲み物・乳製品	44
	2. 今後購入する量を増やしたいと思う飲み物・乳製品	45
VI	ふだんよく飲む飲み物	46
	1. ふだんよく飲む飲み物	46
	2. ふだん最もよく飲む飲み物	47
VII	白もの牛乳類のベネフィットについての認識	49
	1. 白もの牛乳類のベネフィットについての認識	49
	2. 見聞きしたことのある白もの牛乳類のベネフィット	50
	3. 白もの牛乳類についてのニーズ	51
VIII	乳製品の飲食実態	53
	1. ヨーグルトの飲食状況	53
	1) ヨーグルトの飲食頻度	53
	2) ヨーグルトの飲食量	54
	3) ヨーグルトのタイプ	55
IX	生活の中の白もの牛乳類	57
	1. 「3-A-Day」について	57
	1) 「3-A-Day」の認知状況	57
	2) 「3-A-Day」の実践状況	58
	3) 「3-A-Day」の実践意向	59
	2. 「ミルクって、サプリかも。」について	62
	3. 健康・食生活について	63
	1) 健康・食生活に関する「ことば・用語」の認知	63
	2) この3年間の骨密度測定経験	65
	<付録1> 各年度のテーマとサンプル数	66
	<付録2> 単純集計結果付き 調査票	68

調査設計

調査目的

『牛乳・乳製品の消費動向に関する調査』は、1987年度から2008年度まで21回にわたり、毎年全国の消費者に対し調査を実施し、牛乳・乳製品に関する購入実態、飲用実態、牛乳・乳製品に関する意識・知識などを時系列で把握してきた。今回の2008年度調査は、基本項目に加え、白もの牛乳類の価格の値上がり等についても調査を行い、牛乳・乳製品の消費拡大のための資料を得ることを目的とする。

本年度調査テーマ

- 白もの牛乳類の飲用実態
- 白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識
- 白もの牛乳類の飲用量減退についての認識
- 白もの牛乳類の購入実態
- 白もの牛乳類の価格の値上がりについて
- 白もの牛乳類の嗜好性および意識・態度
- 乳製品の飲食実態
- 健康や食生活に関する認識

調査方法

1. 調査方法

- ・ 留置併用訪問面接法

2. 調査項目

- ・ 白もの牛乳類の飲用頻度・飲用量
- ・ 白もの牛乳類の飲み方
- ・ 白もの牛乳類の種類
- ・ 白もの牛乳類の飲用量の増減
- ・ 白もの牛乳類の飲用量減退の理由
- ・ 白もの牛乳類の購入頻度・場所
- ・ 白もの牛乳類の価格の値上がりについての認識・行動
- ・ 白もの牛乳類のベネフィット・ニーズについての意識
- ・ ヨーグルトの飲食状況
- ・ 健康や食生活に関する知識
- ・ 対象者の属性

3. 調査対象者

全国の中学生以上の男女個人 回収 3200人

4. 抽出方法

エリアサンプリング

*地点の抽出および調査対象者の抽出手順は以下の通り

まず、平成17年国勢調査時の母集団人口に基づき、地域（9分類）と都市規模（5分類）により層化し、調査地点数を比例配分する。各層ごとに大字・町丁目の該当人口に応じて、調査地点を抽出する。各調査地点において、世帯（居住者のいる一般世帯住宅住戸）を系統抽出する。世帯から個人の抽出は、性・年齢別の割当に従って、訪問世帯において対象者条件に適合する個人を抽出する。

5. サンプル設計について

消費動向調査では、2007年度まで、地域（9分類）・都市規模（5分類）および性・年齢別の人口構成を反映したサンプル設計を行なってきた。そのため、若年層においては、回収サンプル数が少なく、性・年齢別の分析を行なうには十分ではなかった。

2008年度は、性・年齢の層別にも十分な分析を行なえるよう、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てるクォータ法により調査を実施した。

6. ウェイト集計の実施

本年度調査では、性・年齢別に200サンプルずつを均等に割り当てる方法を採用したため、回収サンプル構成は、母集団である平成17年度国勢調査人口を反映していない。そのため、サンプルごとに人口構成に応じたウェイト値を与えて集計し、サンプル構成を補正した。本報告書で記載しているサンプル数は実際に回収されたサンプル数であるが、構成比（%）はウェイト集計後の値である。

7. 地 域

回収サンプルの地域別内訳は下表のとおり。構成比はウェイト集計後の値。

全国（沖縄を除く）

地域別	回収数	構成比 (%)
北海道	152	4.5
東北	248	7.7
関東・甲信	1,128	35.4
東海	376	11.8
北陸	152	4.4
近畿	520	16.4
中国	200	6.0
四国	96	3.2
九州	328	10.6
計	3,200	100.0

都市規模別	回収数	構成比 (%)
14 大都市	826	25.7
15 万以上の市	1,023	32.0
5万～15万未満の市	784	24.7
5万未満の市	232	7.2
郡 部	335	10.4
計	3,200	100.0

8. 調査期間

2008年6月1日（土）～6月18日（水）

9. 本報告書でデータを読むうえでの注意点

- この調査は消費者の視点にたちアンケートを実施している都合上、牛乳類の分類については、**種類別** 牛乳の他にも低脂肪乳、無脂肪乳、栄養成分強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）を白もの牛乳類としており、法律や規約上の種類別分類とは異なる。

（注）この調査でいう「白もの牛乳類」とは、普通の牛乳や低脂肪乳（ローファットミルク）や機能強化牛乳（カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの）などの白い牛乳類をいう。市販のコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含まない。

- 択一式選択肢（SA）の場合、回答率の合計が100.0%になるべきところで、そうならない箇所がある。これは各回答率を小数点以下第2位で四捨五入しているためである。
- MAと表記のあるものは複数回答である。
- 表示されているサンプル数は実際の回収サンプル数、構成比（%）はウェイト集計後の数値である。

<調査結果の要約は「要約版」を参照>

対象者特性

<性別>

全体	(n=3200)
男性	48.6
女性	51.4

<結婚の有無>

全体	(n=3200)
未婚	21.4
既婚	75.3
その他	3.3
無回答	0.1

<年齢>

全体	(n=3200)
12～15歳	4.3
16～19歳	3.7
20～24歳	5.8
25～29歳	8.2
30～34歳	7.2
35～39歳	9.3
40～44歳	7.5
45～49歳	6.6
50～54歳	7.2
55～59歳	9.7
60～64歳	8.1
65～69歳	6.3
70歳以上	16.3
平均 47.5歳	

<子供の有無>

全体	(n=3200)
いる	72.7
いない	27.1
無回答	0.2

<同居家族数>

全体	(n=3200)
1人(ひとり暮らし)	5.8
2人	22.0
3人	22.0
4人	24.8
5人	14.9
6人	6.1
7人以上	4.1
無回答	0.3
平均 3.6人	

<職業>

全体	(n=3200)
農林漁業	2.2
商工サービス業	8.3
自由業	3.9
内職	0.5
管理職	3.7
専門・技術職	11.1
事務職	7.3
労務職	5.4
販売・サービス職	5.8
パート・アルバイト	10.5
専業主婦	16.9
中学生	3.2
高校生	3.3
中高生以外の学生	2.8
無職	15.1
無回答	0.0

<家族構成(同居家族数「1人」を除く)>

全体	(n=3037)
夫婦2人	19.3
2世代世帯/親と子	58.7
3世代世帯/親、子、孫	19.5
その他	2.3
無回答	0.2

<同居する子供(家族構成「夫婦2人」を除く)>

全体	(n=3628)
乳児・幼児	23.1
小学生	26.6
中学生	17.2
高校生	16.1
大学・短大・専門学校生	10.1
この中にはない	35.8
無回答	0.7

(%)

主な分析軸

本報告書で利用した主な分析軸は次の通り

<性・年齢別>

全 体		3200
男 性	中学生	200
	10代(中学生除)	200
	20代	200
	30代	200
	40代	200
	50代	200
	60代	200
	70代以上	200
女 性	中学生	200
	10代(中学生除)	200
	20代	200
	30代	200
	40代	200
	50代	200
	60代	200
	70代以上	200
男 性 計		1600
女 性 計		1600

<白もの牛乳類飲用行動別>

全 体		3200
飲 用 頻 度	飲用者・計	2851
	毎日飲用	1209
	週1～6日飲用	1192
	月に2～3日以下飲用	450
非飲用者		349
飲 用 パ タ ー ン	そのまま&混ぜて&入れて&かけて	135
	そのまま&混ぜて&入れて併用	062
	そのまま飲用のみ	757
飲 用 量 増 減	この1年間に飲用量増加計	370
	この1年間に飲用量変化なし	2059
	この1年間に飲用量減少計	437

調査結果の詳細

I 白もの牛乳類の飲用実態

1. 白もの牛乳類の飲用頻度

1) 白もの牛乳類の飲用頻度

コーヒーや紅茶など他のものと混ぜて飲んだり、シリアルなどにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、ふだんどの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

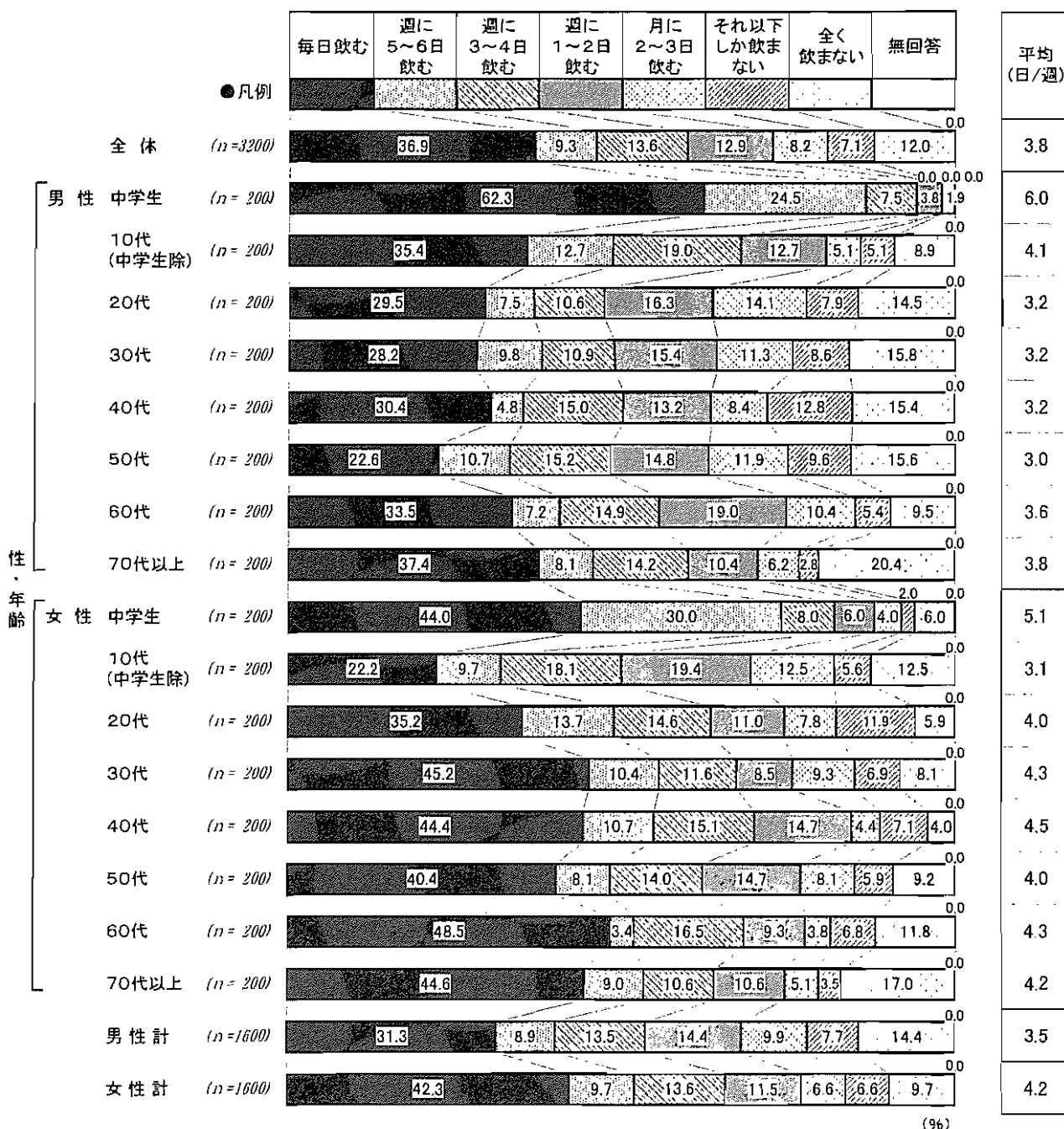
「毎日飲む」人は全体の37%である。一方「全く飲まない」という人は12%である。

性・年齢別にみると、男性の中学生では「毎日飲む」が6割を超え、他の層に比べて圧倒的に高い。男女別には、「毎日飲む」人は女性の方が42%と、男性（31%）を10ポイント以上上回る。

「全く飲まない」人の割合は、男女とも70代以上が2割前後と高い。

週あたりの平均飲用頻度は全体で3.8日である。

図表I-1-1 性・年齢別 問1 白もの牛乳類を飲む頻度



(%)

[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の飲用頻度の推移をみる。

図表I-1-2 時系列 問1 白もの牛乳類の飲用頻度

	<i>n</i>	毎日飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む*	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	平均 (日/週) [01年以前 は日/月]
2008年	3200	36.9	9.3	13.6	12.9	8.2	7.1	12.0	0.0	3.8
2007年	3486	38.5	9.0	13.7	11.5	8.5	6.1	12.7	0.0	3.9
2006年	3478	37.7	9.5	13.5	12.0	7.0	6.5	13.7	0.0	3.9
2005年	3896	39.5	9.8	15.5	11.9	7.2	6.0	10.2	0.0	4.1
2004年	4177	40.1	9.6	14.0	11.6	7.5	6.4	10.8	0.0	4.1
2003年	4177	41.8	11.2	14.5	10.7	6.1	5.5	10.3	0.0	4.3
2002年										
2001年	4778	40.8	9.1	14.7	13.6	7.1	4.1	10.6	0.0	17.6
2000年	4632	41.1	9.8	14.5	12.8	7.2	4.5	10.0	0.0	17.8
1999年	4476	45.6	10.0	13.5	10.7	6.4	3.2	10.6	0.0	18.8
1998年	4472	44.9	9.0	14.4	10.7	6.3	3.6	11.0	0.0	18.5
1997年	4547	45.7	9.1	13.7	10.4	6.7	5.1	9.1	0.0	18.7
1996年	4706	42.5	9.3	16.9	11.7	6.4	3.7	9.4	0.0	18.3
1995年	4668	48.4	7.5	12.9	9.9	6.6	4.7	9.9	0.1	19.0
1994年	4617	46.8	9.6	13.3	9.2	7.7	3.4	10.0	0.0	19.0
1993年	4553	46.5	10.2	14.3	9.2	6.9	3.4	9.4	0.2	19.2
1992年	4651	44.2	9.3	13.8	10.7	8.1	5.0	8.7	0.2	18.4
1991年	4714	45.2	10.4	14.7	10.0	7.0	4.3	8.2	0.2	19.1
1990年	4691	45.7	10.2	14.0	9.5	7.5	4.9	7.9	0.3	19.1
1989年	4579	43.4	9.5	13.5	10.5	7.9	5.0	9.8	0.4	18.2
1988年	4604	39.9	10.4	14.5	10.7	8.7	5.2	10.1	0.5	17.6
1987年	4664	38.5	9.5	14.3	11.6	10.0	6.8	8.7	0.6	17.0

※斜線はデータなし

* 87～01年は「月に数回飲む」 (%)

2) そのまま飲む頻度

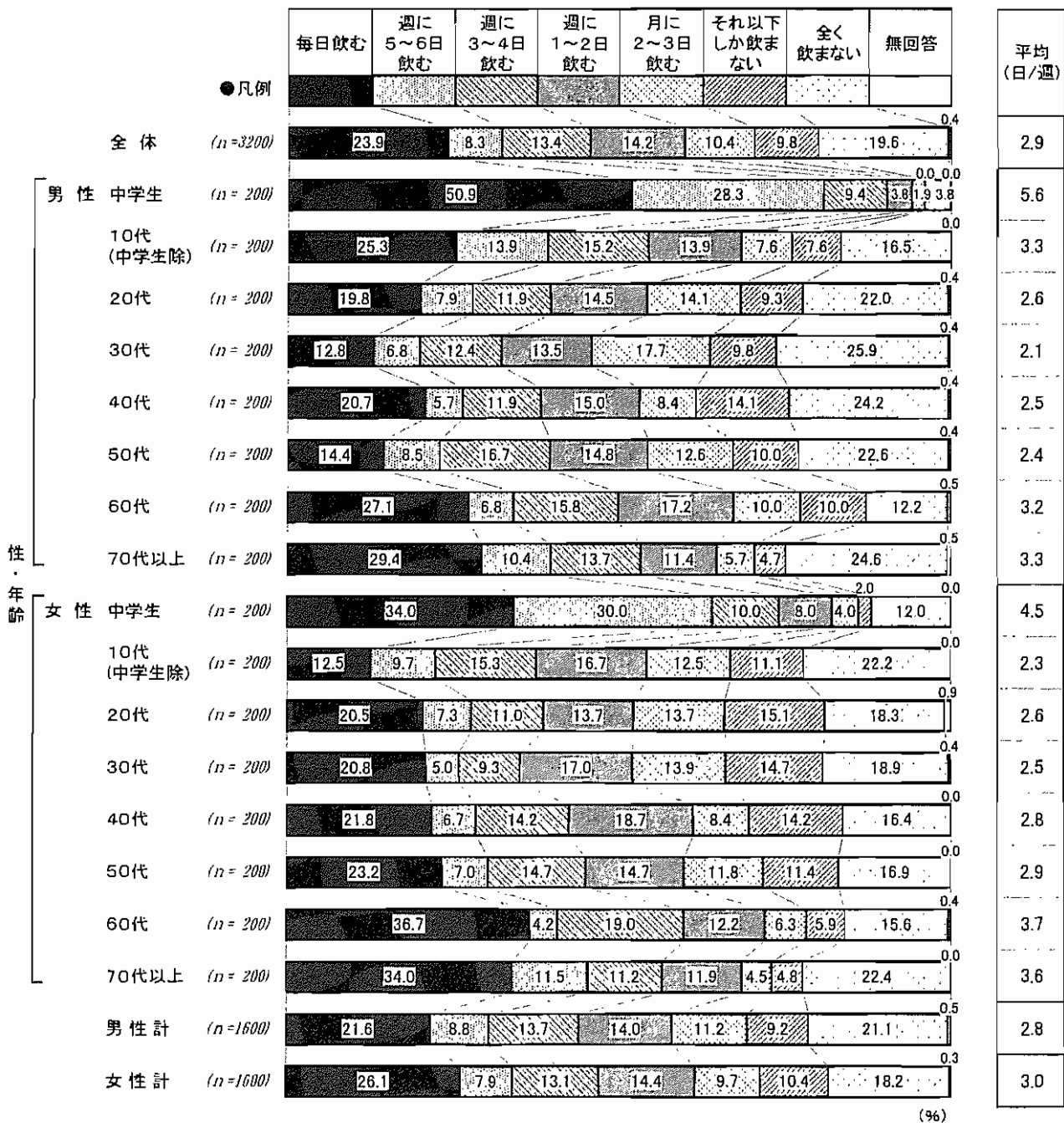
そのまま飲む飲み方で、ふだんどの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

「毎日飲む」人は全体の24%である。一方、「全く飲まない」という人も2割程度。

性・年齢別にみると、男性の中学生で「毎日飲む」が5割を超え、他の層と比べて大きな差がある。また、「毎日飲む」人の割合は女性の方がやや高く、女性の中学生と60代以上の層では3割以上と多い。

「全く飲まない」人は、男性の20～50代と70代以上、女性の10代と70代以上の層で2割を超える。

図表I-1-3 性・年齢別 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度：年間平均



3) 他のもものと混ぜて飲む頻度

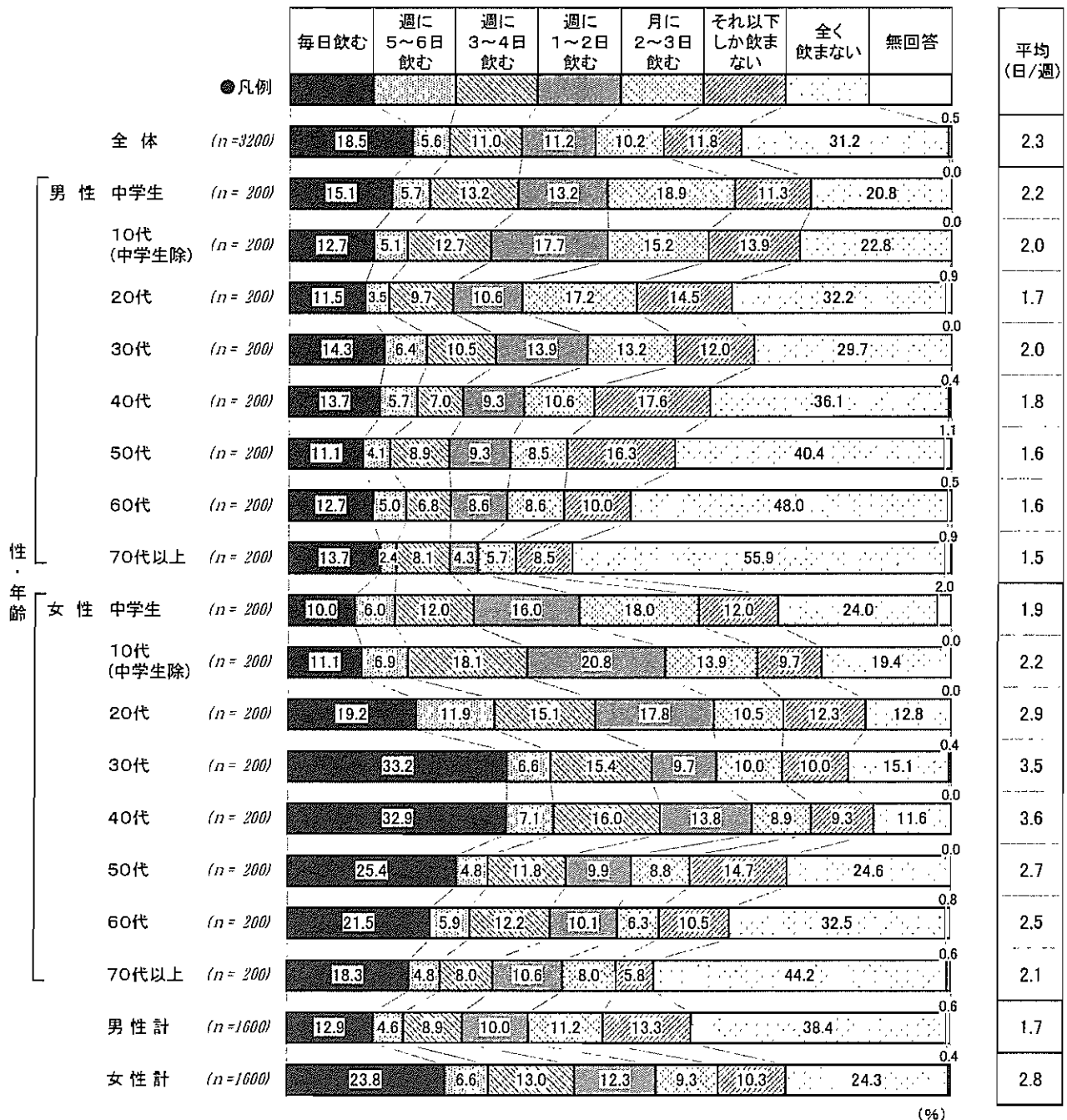
コーヒーや紅茶など他のもものと混ぜて飲む飲み方で、ふだんどの程度白もの牛乳類を飲むかを聞いた。

「毎日飲む」人は全体の19%である。一方「全く飲まない」という人は31%である。

性・年齢別にみると、「毎日飲む」人は男性13%、女性24%であり、女性の方が10ポイント以上高い。「毎日飲む」人の割合は、男性では年齢別にあまり違いは見られないが、女性では30代、40代が3割強と多くなっている。

男性の50代以上と女性の70代以上の層では、「全く飲まない」人の割合が4割を超え、特に、男性70代では56%に上る。

図表I-1-4 性・年齢別 問3 白もの牛乳類を他のもものと混ぜて飲む頻度：年間平均



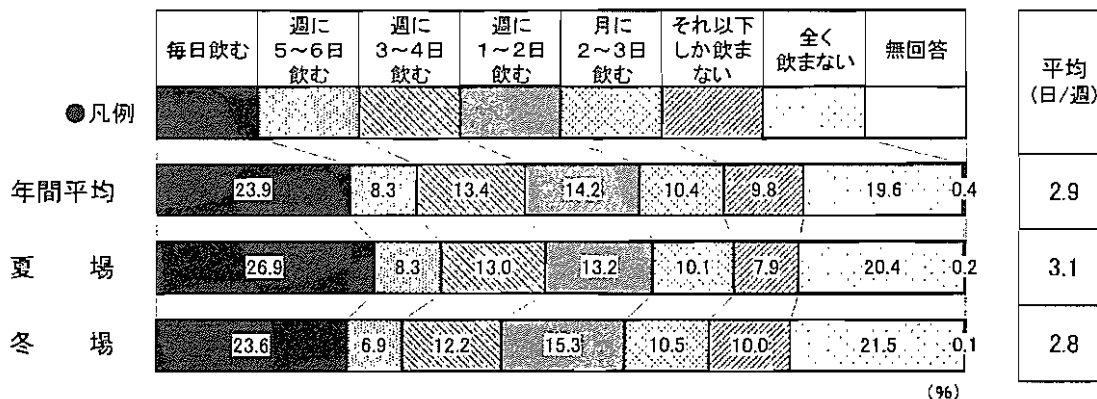
4) 季節による変動

白もの牛乳類の飲み方別飲用頻度の季節による変動をみると、そのまま飲む飲み方では、夏場は「毎日飲む」人が27%と冬場（24%）より3ポイントほど多くなっている。他のものと混ぜて飲む飲み方では大きな変動はみられない。

<そのまま飲む>

N=3200

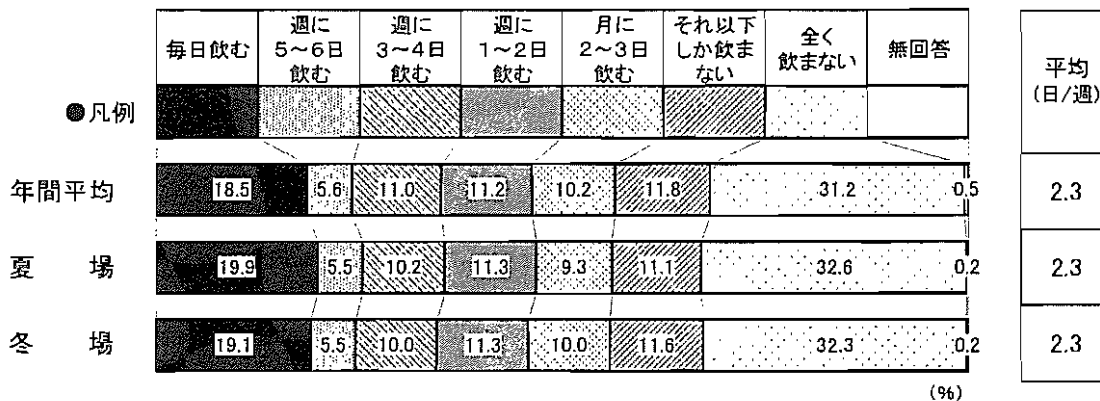
図表I-1-5 季節変動／飲み方別 問2 白もの牛乳類の飲用頻度



<他のものと混ぜて飲む>

N=3200

図表I-1-6 季節変動／飲み方別 問3 白もの牛乳類の飲用頻度



飲み方別に時系列の推移をみると、そのまま飲む飲み方で「毎日飲む」人の割合は、夏場、冬場、年間平均いずれも2002年以来減少傾向がみとめられる。混ぜて飲む飲み方では著しい変化はみられない。

図表I-1-7 時系列 問2 白もの牛乳類をそのまま飲む頻度

		n	毎日 飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	平均 (日/週)
夏 場	2008年	3200	26.9	8.3	13.0	13.2	10.1	7.9	20.4	0.2	3.1
	2007年	3486	28.8	7.7	13.6	12.9	9.0	8.3	19.8	0.0	3.2
	2006年	3478	29.1	8.8	13.0	12.4	8.1	9.0	19.6	0.0	3.2
	2005年	3896	30.5	9.2	14.9	12.9	8.3	8.0	16.0	0.1	3.4
	2004年	4177	31.7	8.9	14.0	12.6	7.9	7.8	17.2	0.0	3.5
	2003年	4177	32.7	9.0	13.9	13.2	7.3	7.3	16.4	0.3	3.5
	2002年	4277	35.4	8.1	14.6	12.2	7.1	6.8	15.8	0.1	3.7
冬 場	2008年	3200	23.6	6.9	12.2	15.3	10.5	10.0	21.5	0.1	2.8
	2007年	3486	25.2	6.8	12.8	15.1	9.0	10.4	20.8	0.0	2.9
	2006年	3478	25.0	7.8	13.3	14.1	8.9	10.4	20.5	0.0	2.9
	2005年	3896	26.1	7.4	15.1	15.8	8.3	9.5	17.7	0.1	3.1
	2004年	4177	26.8	7.3	13.4	15.8	9.0	9.5	18.1	0.0	3.1
	2003年	4177	27.9	8.1	14.1	15.5	8.4	8.4	17.3	0.3	3.2
	2002年	4277	29.5	8.0	14.1	14.6	8.7	8.4	16.6	0.1	3.3
年 間 平 均	2008年	3200	23.9	8.3	13.4	14.2	10.4	9.8	19.6	0.4	2.9
	2007年	3486	25.3	8.2	14.5	13.2	9.6	9.7	19.3	0.2	3.0
	2006年	3478	25.3	9.3	14.0	13.1	8.9	9.9	19.0	0.4	3.1
	2005年	3896	26.6	9.3	16.2	13.6	8.9	9.7	15.5	0.2	3.2
	2004年	4177	27.3	9.3	14.4	14.2	8.9	9.2	16.5	0.2	3.2
	2003年	4177	28.1	10.0	15.1	13.6	8.3	8.2	16.3	0.4	3.3
	2002年	4277	29.7	9.9	14.7	13.8	7.9	8.3	15.5	0.1	3.4

(%)

図表I-1-8 時系列 問3 白もの牛乳類を他のものと混ぜて飲む頻度

		n	毎日 飲む	週に 5～6日 飲む	週に 3～4日 飲む	週に 1～2日 飲む	月に 2～3日 飲む	それ以下 しか飲ま ない	全く飲ま ない	無回答	平均 (日/週)
夏 場	2008年	3200	19.9	5.5	10.2	11.3	9.3	11.1	32.6	0.2	2.3
	2007年	3486	19.2	4.9	9.9	11.4	9.6	10.6	34.4	0.0	2.2
	2006年	3478	19.3	5.8	8.7	11.1	9.1	12.0	33.9	0.0	2.2
	2005年	3896	20.1	5.7	9.9	12.0	8.9	11.6	31.6	0.1	2.3
	2004年	4177	21.1	5.8	8.8	12.1	8.7	11.1	32.4	0.0	2.4
	2003年	4177	21.6	5.9	8.5	10.5	9.9	12.1	31.3	0.2	2.4
	2002年	4277	18.7	5.7	9.1	11.6	9.8	12.5	32.4	0.3	2.2
冬 場	2008年	3200	19.1	5.5	10.0	11.3	10.0	11.6	32.3	0.2	2.3
	2007年	3486	18.0	5.2	10.0	12.0	9.3	11.1	34.3	0.0	2.2
	2006年	3478	17.9	5.9	9.4	11.5	9.6	11.9	33.6	0.0	2.2
	2005年	3896	18.6	5.6	10.5	12.8	9.7	11.5	31.3	0.1	2.3
	2004年	4177	19.5	6.1	9.5	12.0	9.7	11.6	31.7	0.0	2.3
	2003年	4177	20.0	5.5	9.6	11.4	10.0	12.8	30.5	0.2	2.3
	2002年	4277	16.6	6.1	9.3	12.7	10.6	12.6	31.9	0.2	2.1
年 間 平 均	2008年	3200	18.5	5.6	11.0	11.2	10.2	11.8	31.2	0.5	2.3
	2007年	3486	17.3	5.3	11.0	11.9	9.5	11.4	33.4	0.2	2.2
	2006年	3478	17.6	6.0	9.8	11.6	9.3	12.7	32.5	0.5	2.2
	2005年	3896	18.2	5.7	11.4	11.8	10.1	12.4	30.0	0.3	2.3
	2004年	4177	18.9	6.2	9.6	12.2	10.0	12.4	30.5	0.2	2.3
	2003年	4177	19.7	6.2	9.8	10.7	10.7	12.8	30.0	0.2	2.3
	2002年	4277	16.2	6.3	9.6	12.3	10.8	13.5	31.2	0.2	2.1

(%)

2. 白もの牛乳類の飲用量

そのまま飲む以外の場合を含めて、白もの牛乳類を飲むときには1日にどれくらいの量を飲むかを聞いた。

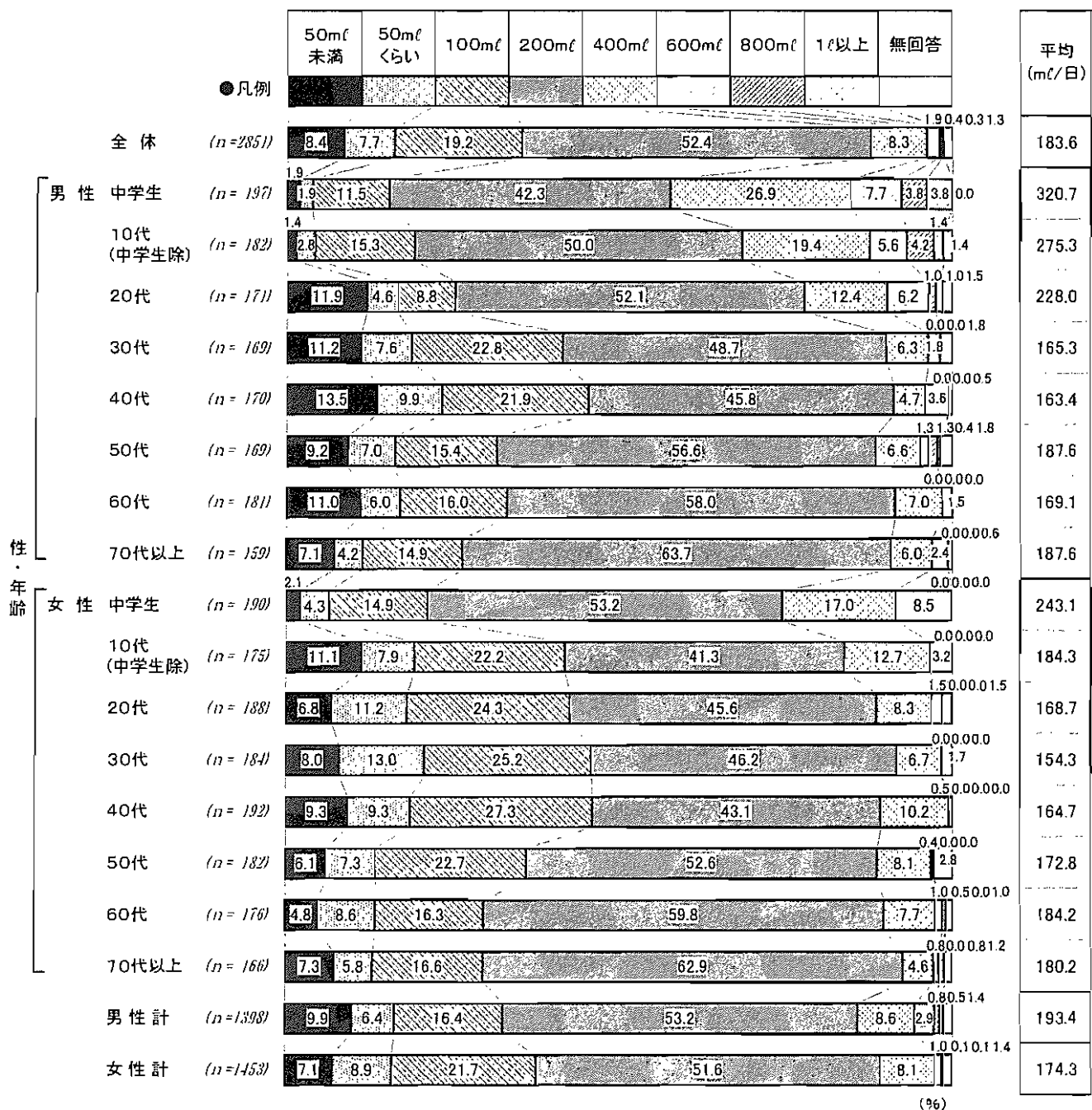
全体では、「200ml」が最も多く、白もの牛乳類飲用者の52%と過半数を占めている。

性・年齢別にみると、どの層でも「200ml」が最も多い。

参考に算出したところ、1日に飲む平均量は184mlとなる。

1日に飲む平均量を性別にみると、男性193ml、女性174mlとなっており、男性の方が多い。また、年齢別でみると、男性の中学生を含む10～20代および女性の中学生が他の層と比べ、平均飲用量が多くなっている。特に、男性の中学生では321mlと圧倒的である。

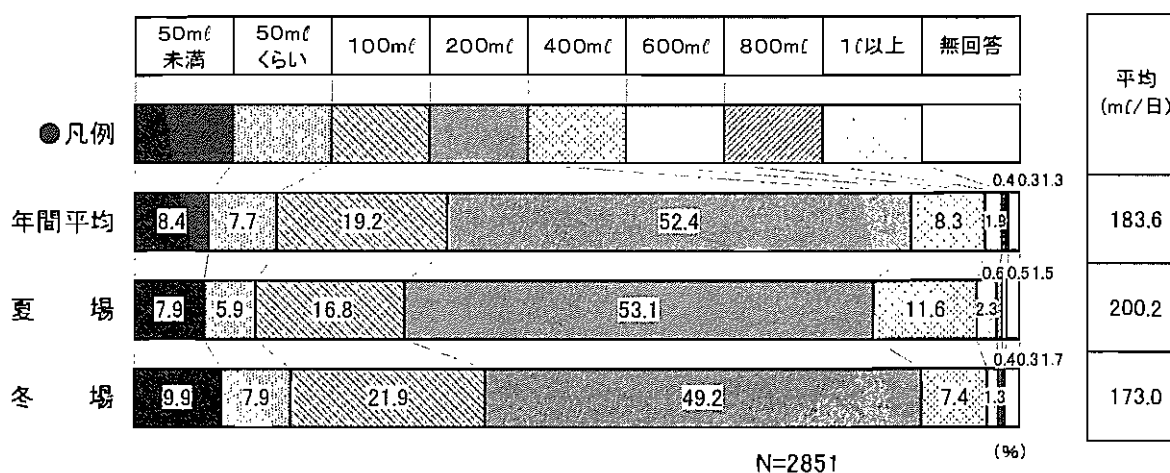
図表I-2-1 性・年齢別 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量：年間平均 <飲用者ベース>



白もの牛乳類飲用者の1日あたりの飲用量の季節による変動をみると、平均量で夏場200ml、冬場173mlとなっており、夏場が冬場より27ml多くなっている。

性・年齢別にみると、どの層でも夏場の方が冬場より多い。他の層に比べて平均飲用量の多い男性の中学生と中学生を除く10代では、それぞれ45ml、57ml夏場の方が多くなっている。

図表I-2-2 季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 <飲用者ベース>



図表I-2-3 性・年齢別/季節変動 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 <飲用者ベース>

		n	年間平均	夏場	冬場	
全体		2851	183.6	200.2	173.0	
性・年齢別	男性	中学生	197	320.7	344.8	299.5
		10代(中学生除)	182	275.3	313.7	256.7
		20代	171	228.0	246.1	213.4
		30代	169	165.3	176.7	155.0
		40代	170	163.4	175.9	153.3
		50代	169	187.6	215.7	177.6
		60代	181	169.1	184.0	162.7
		70代以上	159	187.6	200.6	179.8
女性	中学生	190	243.1	260.1	226.6	
	10代(中学生除)	175	184.3	199.2	171.1	
	20代	188	168.7	186.8	162.3	
	30代	184	154.3	161.7	141.6	
	40代	192	164.7	193.3	156.2	
	50代	182	172.8	192.9	162.3	
	60代	176	184.2	201.0	174.9	
	70代以上	166	180.2	188.8	174.3	
男性計		1398	193.4	212.0	183.0	
女性計		1453	174.3	189.4	164.4	

(ml/日)

図表I-2-4 季節変動／時系列 問4 白もの牛乳類を飲むときに1日に飲む量 <飲用者ベース>

		n	50ml 未満	50ml くらい	100ml	200ml	400ml	600ml	800ml	1(以上)	無回答	平均 (ml/日)
夏 場	2008年	2851	7.9	5.9	16.8	53.1	11.6	2.3	0.6	0.5	1.5	200.2
	2007年	3044	7.2	5.2	17.1	53.3	12.0	2.8	0.9	0.9	0.7	210.1
	2006年	3001	8.5	5.4	15.1	53.8	12.4	2.4	0.7	1.4	0.3	211.5
	2005年	3497	6.6	4.9	15.6	54.7	12.9	3.0	0.5	0.9	0.8	214.0
	2004年	3726	7.4	5.1	14.5	53.4	14.1	2.8	0.7	0.9	1.1	215.9
	2003年	3747	6.2	4.4	13.5	53.1	15.7	3.7	0.8	1.0	1.7	228.9
	2002年	3810	6.3	4.5	12.4	50.8	17.8	4.4	1.4	1.2	1.2	241.1
冬 場	2008年	2851	9.9	7.9	21.9	49.2	7.4	1.3	0.4	0.3	1.7	173.0
	2007年	3044	8.3	7.4	21.7	50.5	8.3	2.0	0.4	0.4	1.0	182.7
	2006年	3001	10.5	7.6	19.8	50.8	7.8	1.7	0.5	0.8	0.5	182.4
	2005年	3497	8.5	6.9	21.4	52.2	7.2	1.9	0.4	0.3	1.1	180.4
	2004年	3726	9.3	7.3	20.2	51.5	8.2	1.6	0.4	0.5	1.1	181.6
	2003年	3747	8.0	6.5	18.9	53.0	9.1	1.5	0.4	0.6	1.9	188.6
	2002年	3810	8.5	6.6	18.8	51.5	9.9	2.2	0.6	0.6	1.3	193.5
年間 平均	2008年	2851	8.4	7.7	19.2	52.4	8.3	1.9	0.4	0.3	1.3	183.6
	2007年	3044	7.2	6.8	19.5	52.6	9.1	2.3	0.6	1.1	0.9	197.3
	2006年	3001	8.9	6.6	19.1	51.8	9.1	1.9	1.0	1.3	0.4	197.4
	2005年	3497	6.8	6.3	19.9	53.3	9.1	2.3	0.6	0.8	0.8	195.8
	2004年	3726	7.5	6.9	18.5	52.8	9.5	2.0	0.8	1.0	1.0	197.2
	2003年	3747	6.5	6.0	16.5	53.3	12.0	2.2	0.7	1.1	1.8	209.2
	2002年	3810	6.9	5.5	16.6	51.5	12.5	3.3	0.9	1.5	1.3	219.2

(%)

図表I-2-5 性・年齢別／時系列 1日あたりの白もの牛乳類の飲用量 <非飲用者も含む全体ベース>

		2002年		2003年		2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		
		n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	n	平均 (ml/日)	
全体		4277	127.3	4177	141.5	4177	127.3	3896	126.9	3478	122.5	3486	121.6	3200	112.9	
性・ 年齢別	男 性	中学生	55	300.1	48	318.6	49	309.5	54	324.8	52	339.4	75	235.1	200	287.3
		10代 (中学生除)	129	199.0	124	254.8	132	254.3	89	226.7	95	217.8	97	205.6	200	190.0
		20代	259	133.9	224	164.4	243	129.3	184	117.3	187	144.6	253	137.3	200	126.3
		30代	292	103.1	288	133.3	301	115.5	236	113.3	266	118.4	291	94.7	200	85.1
		40代	298	96.5	287	110.6	292	107.0	277	100.1	227	115.3	241	79.7	200	85.1
		50代	359	115.4	356	123.3	383	109.0	355	105.1	315	98.8	290	106.8	200	93.9
		60代	365	123.3	336	116.2	311	117.1	323	118.2	271	112.7	243	109.5	200	97.7
	70代以上	187	117.9	244	137.4	235	111.9	252	126.8	250	109.4	233	114.6	200	107.6	
	女 性	中学生	42	183.8	54	264.2	39	217.8	46	210.7	50	246.7	67	179.3	200	199.1
		10代 (中学生除)	128	129.6	120	147.7	126	126.6	110	157.3	91	116.1	89	110.9	200	98.7
		20代	266	112.7	294	125.6	252	118.0	234	106.8	189	114.6	242	123.3	200	110.0
		30代	375	129.4	353	137.5	354	128.9	355	126.6	280	105.9	265	134.9	200	107.4
		40代	395	119.1	330	141.3	369	116.4	292	137.2	284	119.1	234	109.2	200	117.2
		50代	444	139.5	443	152.9	422	121.0	430	129.2	342	110.7	281	131.6	200	103.9
60代		373	136.7	376	134.7	368	134.7	373	121.5	263	124.7	243	117.0	200	125.5	
70代以上	310	120.2	300	127.1	301	124.5	286	123.7	316	111.9	342	123.3	200	118.9		
男性計		1944	125.8	1907	141.8	1946	128.8	1770	125.0	1663	127.5	1723	118.1	1600	109.8	
女性計		2333	128.6	2270	141.2	2231	125.9	2126	128.5	1815	118.0	1763	125.1	1600	115.7	

※ 2002年は「そのまま飲む」「他のものと混ぜて飲む」「シリアルやくだものなどにかける」飲み方別
飲用頻度(年間平均)と飲用者が飲むときに1日に飲む量から算出。
2003年～2008年は飲み方を問わない日頃の飲用頻度と飲用者が飲むときに1日に飲む量から算出。

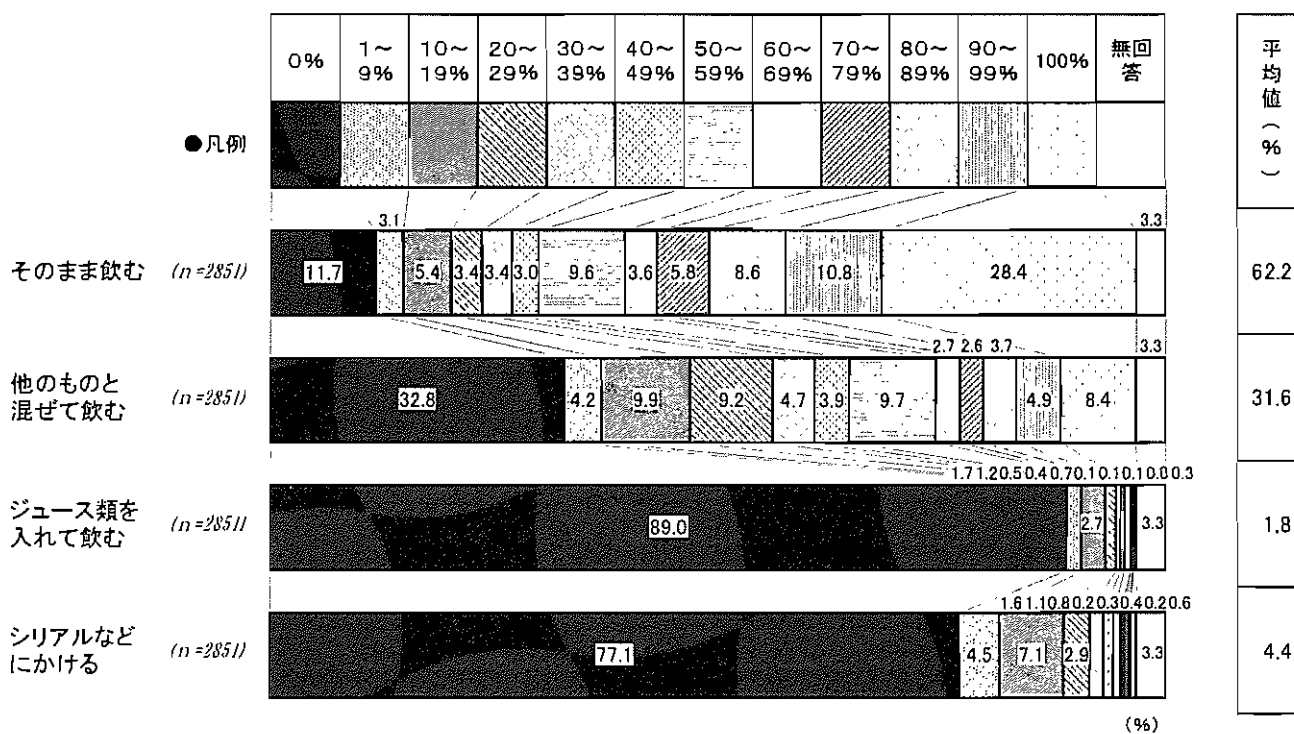
3. 白もの牛乳類の飲み方

そのまま飲む、他のものと混ぜて飲む、ジュース類を入れて飲む、シリアルなどにかけるといった飲み方ごとに、白もの牛乳類の飲用量の割合を聞いた。

「そのまま飲む」割合が100%となる人は28%である。

「他のものと混ぜて飲む」ことがない人は33%、「ジュース類を入れて飲む」ことがない人は89%、「シリアルなどにかける」ことのない人は77%を占める。

図表I-3-1 問5 白もの牛乳の飲み方：年間平均 <飲用者ベース>



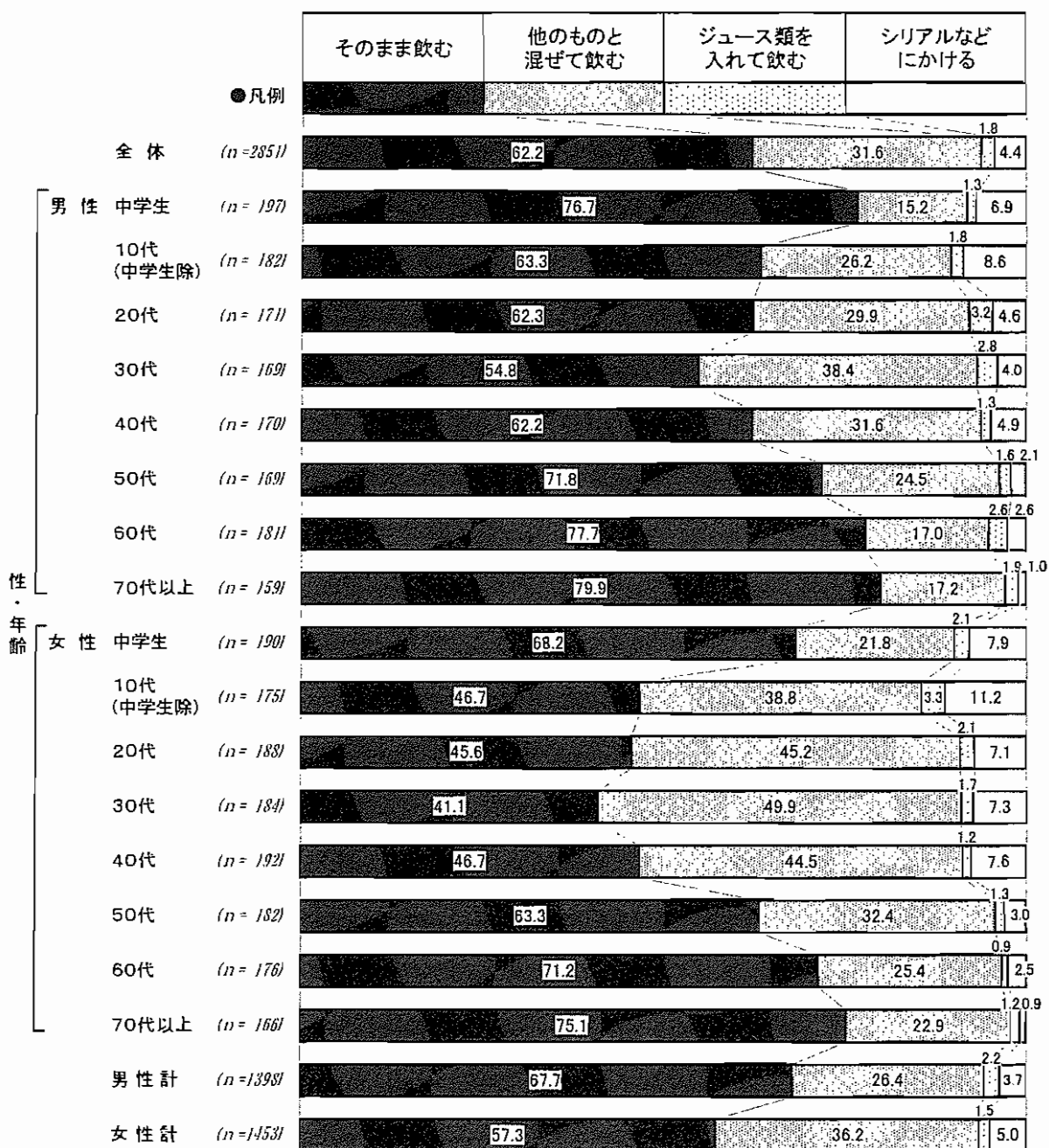
そのまま飲む、他のものと混ぜて飲む、ジュース類を入れて飲む、シリアルなどにかけるなど飲み方ごとの飲用量の割合の平均値をみる。

全体でみると、「そのまま飲む」が62%を占め、「他のものと混ぜて飲む」が32%、「ジュース類を入れて飲む」が2%、「シリアルなどにかける」が4%となっている。

性別で比べると、「そのまま飲む」の割合は男性68%、女性57%と男性の方が高い。

性・年齢別では、「そのまま飲む」の割合は、男性の中学生および50代以上、女性の中学生および60代以上で7割弱～8割と高い。一方、女性の20代～40代で「他のものと混ぜて飲む」が4割強～5割と他の層に比較して多くなっている。特に、女性の30代では「そのまま飲む」割合を「他のものと混ぜて飲む」割合が上回る。

図表I-3-2 性・年齢別 問5 白もの牛乳の飲み方別割合：年間平均 <飲用者ベース>



(%)

白もの牛乳類飲用量の飲み方別割合は、全体では季節によって大きな変動はみられない。

そのまま飲む割合を性・年齢別にみると、男性の30代では、夏場と冬場の割合に5ポイント以上の差がみられる。

混ぜて飲む割合を性・年齢別にみると、男性の30代と70代以上、女性の中学生を除く10代と40代で、夏場と冬場の割合に5ポイント以上の差がみられる。

どの層でも、そのまま飲む割合は夏場が高く、混ぜて飲む割合は冬場が高い。

図表I-3-3 問5 季節変動 白もの牛乳類の飲み方別割合 <飲用者ベース>

		そのまま飲む	他のものと混ぜて飲む	ジュース類を入れて飲む	シリアルなどにかける
●凡例					
年間平均		62.2	31.6	4.4	1.8
夏 場		63.6	29.7	4.7	1.9
冬 場		61.0	33.3	4.0	1.7

N=2851 (%)

図表I-3-4 問5 性・年齢別/季節変動/飲み方別 白もの牛乳を飲む割合

		中学生	10代 (中学生除)	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	男女別 計	
そのまま飲む	男性	年間平均	76.7	63.3	62.3	54.8	62.2	71.8	77.7	79.9	67.7
		夏 場	78.0	65.4	63.3	57.6	63.5	71.9	78.7	83.1	69.2
		冬 場	74.3	61.1	61.9	52.4	61.0	72.1	76.2	78.4	66.5
	女性	年間平均	68.2	46.7	45.6	41.1	46.7	63.3	71.2	75.1	57.3
		夏 場	68.7	48.6	46.5	42.1	48.0	65.7	72.4	76.4	58.6
		冬 場	67.3	45.3	44.2	40.8	45.5	61.4	70.9	74.4	56.2
混ぜて飲む 他のものと	男性	年間平均	15.2	26.2	29.9	38.4	31.6	24.5	17.0	17.2	26.4
		夏 場	13.9	24.2	28.7	35.3	30.7	23.7	15.7	14.2	24.7
		冬 場	18.1	28.5	30.4	40.9	33.5	24.5	19.0	19.2	28.0
	女性	年間平均	21.8	38.8	45.2	49.9	44.5	32.4	25.4	22.9	36.2
		夏 場	19.7	34.9	43.4	48.0	42.2	30.1	23.7	21.3	34.2
		冬 場	24.4	41.9	47.2	51.5	47.2	34.4	26.4	23.4	37.9
ジュース類を 入れて飲む	男性	年間平均	1.3	1.8	3.2	2.8	1.3	1.6	2.6	1.9	2.2
		夏 場	1.4	1.8	3.3	3.0	1.4	1.7	2.9	1.9	2.3
		冬 場	1.1	1.8	3.1	2.7	1.3	1.5	2.3	1.3	2.0
	女性	年間平均	2.1	3.3	2.1	1.7	1.2	1.3	0.9	1.2	1.5
		夏 場	2.0	3.3	2.2	2.0	1.5	1.0	1.2	1.3	1.6
		冬 場	1.8	3.1	1.9	1.2	1.0	1.4	0.9	1.2	1.4
シリアルなど にかける	男性	年間平均	6.9	8.6	4.6	4.0	4.9	2.1	2.6	1.0	3.7
		夏 場	6.7	8.6	4.7	4.1	4.4	2.7	2.7	0.7	3.7
		冬 場	6.5	8.6	4.6	4.1	4.3	1.9	2.5	1.1	3.5
	女性	年間平均	7.9	11.2	7.1	7.3	7.6	3.0	2.5	0.9	5.0
		夏 場	9.6	13.2	8.0	7.9	8.4	3.1	2.8	1.1	5.6
		冬 場	6.5	9.7	6.7	6.5	6.3	2.7	1.8	1.1	4.5

(%)

4. 白もの牛乳類の飲用シーン

白もの牛乳類をそのまま飲む以外の場合を含めて、どのような時に飲むかを聞いた。

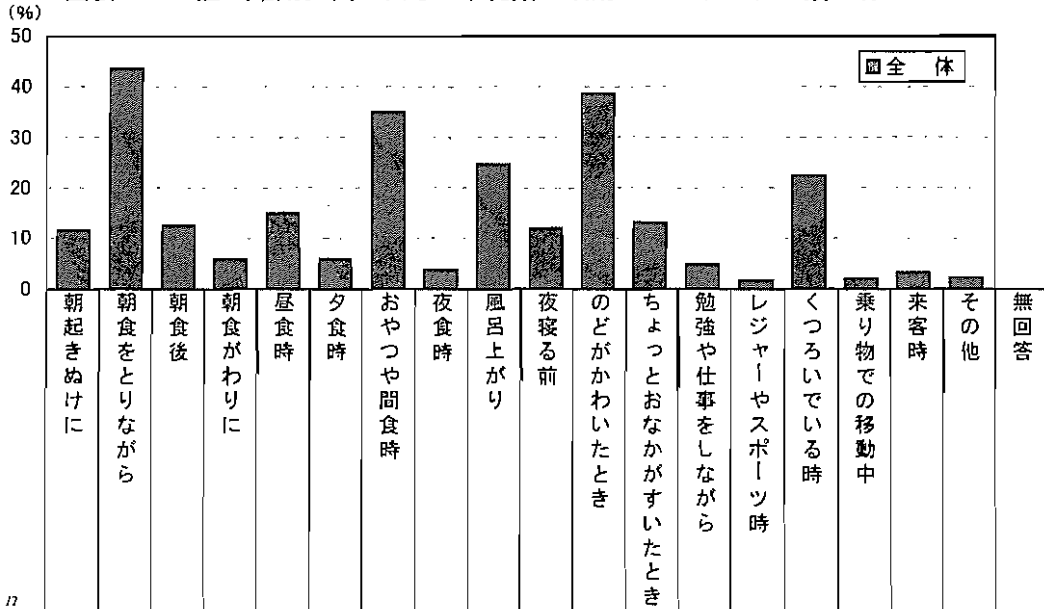
全体では、「朝食をとりながら（44%）」「のどがかわいたとき（39%）」「おやつや間食時（35%）」の順が多い。

性・年齢別にみると、女性の中学生を含む10代から50代までの層で「おやつや間食時」での比率が高い。また、男性の中学生と女性の中学生を含む10代～40代の層では、5割以上と高い比率で「朝食をとりながら」飲む傾向である。

中学生では「昼食時」が男性64%、女性66%と高く、給食での飲用が反映していると考えられる。男性の中学生を含む10代では、「夕食時」にも2割ほどが飲んでいる。

女性の30～40代では、「くつろいでいる時」の比率も高い。

図表I-4-1 性・年齢別 問6 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>



		全体	2051	11.6	43.5	12.5	6.0	15.0	5.9	34.9	3.8	24.6	12.0	38.7	13.2	4.8	1.7	22.5	2.0	3.3	2.3	0.7
性・年齢別	男	中学生	197	3.8	53.8	7.7	3.8	63.5	19.2	32.7	5.8	30.8	13.5	42.3	11.5	5.8	3.8	17.3	0.0	0.0	1.9	0.0
		10代 (中学生除)	182	11.1	45.8	8.3	6.9	15.3	19.4	31.9	8.3	30.6	16.7	50.0	8.3	5.6	5.6	16.7	1.4	1.4	1.4	1.4
		20代	171	19.1	39.2	12.9	9.3	9.3	11.9	25.3	6.2	35.1	20.1	42.8	6.2	5.2	0.5	22.2	3.6	3.1	0.0	1.5
		30代	169	14.3	42.0	10.7	7.1	7.1	5.4	27.2	3.6	33.0	10.3	41.1	7.6	7.1	2.2	18.8	4.9	2.2	2.2	1.3
		40代	170	11.5	46.9	12.0	3.6	10.4	7.3	24.0	2.6	22.9	11.5	40.1	12.0	6.8	1.0	20.8	4.7	1.0	3.1	0.5
		50代	169	10.5	36.8	9.2	5.3	9.2	3.1	20.6	4.8	25.4	11.4	50.0	8.8	2.2	3.1	22.8	1.3	2.6	3.5	1.3
		60代	181	10.0	33.5	16.5	3.5	16.0	6.5	25.0	2.0	21.0	10.5	47.5	13.0	1.5	4.0	19.0	0.5	1.5	2.0	0.5
		70代以上	159	11.9	34.5	19.0	0.6	18.5	5.4	29.2	0.0	13.1	6.5	30.4	7.1	0.6	4.2	9.5	0.6	0.6	1.2	0.6
		中学生	190	4.3	51.1	4.3	2.1	66.0	10.6	29.8	4.3	21.3	12.8	27.7	10.6	10.6	2.1	8.5	0.0	2.1	2.1	0.0
		10代 (中学生除)	175	9.5	50.8	4.8	7.9	12.7	7.9	47.6	6.3	30.2	14.3	38.1	17.5	11.1	0.0	23.8	1.6	1.6	1.6	0.0
20代	188	13.1	53.4	9.2	10.7	13.6	7.8	49.0	4.9	20.9	14.1	34.5	21.8	8.3	0.0	29.1	1.5	5.3	4.4	1.0		
30代	184	18.5	51.7	16.4	12.6	12.2	6.7	51.3	4.2	16.4	11.8	34.9	23.1	6.7	0.4	36.1	3.8	9.7	2.1	0.0		
40代	192	12.5	56.9	12.0	6.9	15.7	3.2	48.1	4.2	23.1	13.4	35.2	19.0	7.4	0.9	35.2	3.2	5.1	1.4	0.0		
50代	182	6.9	44.9	13.8	6.1	16.2	2.4	40.5	4.0	26.3	10.5	42.1	13.4	5.7	1.6	29.1	0.4	4.9	3.6	0.4		
60代	176	9.1	40.7	13.9	4.8	12.0	3.3	38.3	1.9	34.4	8.6	40.7	17.7	1.9	0.5	19.1	1.0	2.4	1.4	0.5		
70代以上	166	6.9	34.0	12.7	1.9	17.4	1.2	33.6	3.1	18.5	13.1	25.1	9.7	1.2	0.8	11.2	0.0	1.2	2.3	0.8		
男性計		1398	12.3	39.8	12.6	5.0	13.7	7.7	25.8	3.8	26.0	12.0	42.9	9.2	4.1	2.6	18.9	2.5	1.9	2.1	1.0	
女性計		1453	10.8	46.8	12.4	6.9	16.2	4.3	43.0	3.8	23.3	12.0	35.0	16.9	5.5	0.8	25.7	1.6	4.6	2.6	0.5	

◻ 全体より5ポイント以上高い
 ◼ 全体より10ポイント以上高い

2002年に53%で飲用シーンのトップであった「のどがかわいたとき」は、2005年に10ポイント以上ダウンし、その後も年々減少傾向にある。一方、2007年に「のどがかわいたとき」と入れ替わって飲用シーンのトップとなった「朝食をとりながら」は、この数年微増の傾向である。2007年に比べて「くつろいでいる時」も微増となっている。

図表I-4-2 時系列 問6 白もの牛乳類の飲用シーン (MA) <飲用者ベース>

		朝 起 き ぬ け に	朝 食 を と り な が ら	朝 食 後	朝 食 が わ り に	昼 食 時	夕 食 時	お や つ や 間 食 時	夜 食 時	風 呂 上 が り	夜 寝 る 前	の ど が か わ い た と き	ち よ つ と お な か が す い た と き	勉 強 や 仕 事 を し な が ら	レ ジ ャ ー や ス ポ ー ツ 時	く つ ろ い で い る 時	乗 り 物 で の 移 動 中	乗 客 時	そ の 他	
	17																			
2008年	2851	11.6	43.5	12.5	6.0	15.0	5.9	34.9	3.8	24.6	12.0	38.7	13.2	4.8	1.7	22.5	2.0	3.3	2.3	
2007年	3044	12.4	42.9	11.5	6.0	14.7	5.7	34.1	3.5	24.8	11.2	39.4	12.2	4.5	1.8	20.3	2.1	3.3	2.6	
2006年	3001	12.1	40.4	13.8	6.7	15.0	6.7	35.7	3.7	26.7	14.1	41.2	13.8	4.6	2.3	21.4	2.0	2.9	2.7	
2005年	3497	11.6	41.6	13.5	6.4	15.3	6.6	37.0	4.5	26.9	14.5	43.0	14.1	4.3	1.9	21.1	2.1	2.9	2.3	
2002年	3810	17.2	46.8	18.0	11.3	18.8	8.1	43.3	6.0	38.5	18.7	53.3	20.8	6.4	4.2	25.1	2.8	3.6	2.3	

(%)

5. 白もの牛乳類の飲用理由

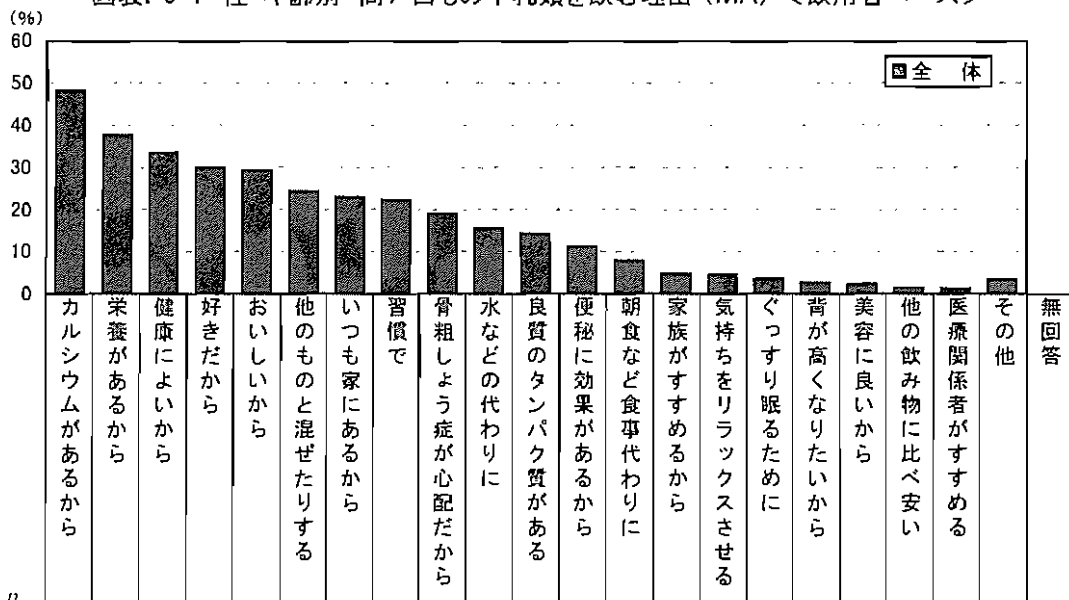
白もの牛乳類を飲む人に、白もの牛乳類を飲む理由を聞いた。

全体では、「カルシウムがあるから（48%）」「栄養があるから（38%）」「健康によいから（34%）」の順に多い。

性・年齢別にみると、男女とも、中学生を含む10代から20代の若い層で、「好きだから」「おいしいから」飲む比率が高い傾向である。男女とも中学生を含む10代の層では「背が高くなりたいから」という理由も多い。男性の中学生を含む10代では「いつも家にあるから」「習慣で」「水などの代わりに」という理由も多くなっている。

女性の年齢の高めの層では、「健康によいから」「カルシウムがあるから」「骨粗しょう症が心配だから」飲む様子がみられる。一方、女性の20～40代の層では「他のものと混ぜたりする」で比率が高い。

図表I-5-1 性・年齢別 問7 白もの牛乳類を飲む理由 (MA) <飲用者ベース>



		全体	2851	48.3	37.6	33.6	29.9	29.4	24.3	23.0	22.2	19.0	15.4	14.2	11.1	7.9	4.6	4.5	3.5	2.6	2.3	1.4	1.2	3.3	1.0			
		全体	2851	48.3	37.6	33.6	29.9	29.4	24.3	23.0	22.2	19.0	15.4	14.2	11.1	7.9	4.6	4.5	3.5	2.6	2.3	1.4	1.2	3.3	1.0			
性・年齢別	男	中学生	197	50.0	34.6	26.9	46.2	48.1	15.4	34.6	36.5	3.8	21.2	5.8	3.8	3.8	15.4	1.9	1.9	36.5	0.0	0.0	1.9	7.7	0.0			
		10代(中学生除)	182	41.7	31.9	19.4	36.1	36.1	19.4	38.9	27.8	1.4	26.4	6.9	1.4	9.7	5.6	2.8	2.8	20.8	0.0	0.0	0.0	2.8	1.4			
		20代	171	29.4	28.4	19.1	38.7	39.2	17.0	25.8	23.2	3.1	13.9	4.1	1.5	7.7	4.1	4.6	3.6	5.2	0.0	0.5	0.0	3.6	1.5			
		30代	169	33.5	33.5	28.1	29.9	30.8	33.0	25.4	21.0	4.0	19.6	7.1	4.9	7.6	4.0	2.2	1.8	1.3	0.0	0.4	1.3	3.6	1.8			
		40代	170	31.8	31.3	28.6	34.4	34.9	20.8	25.0	18.2	4.2	20.8	5.7	5.2	9.9	7.3	3.6	1.0	0.0	0.5	1.0	0.0	3.6	1.6			
		50代	169	45.2	37.3	36.0	24.1	25.0	20.6	22.4	18.4	12.7	22.8	15.8	6.6	6.6	8.3	3.9	2.2	0.0	1.3	1.8	0.0	3.9	1.3			
		60代	181	44.5	35.5	42.0	22.0	22.5	15.0	29.0	18.5	15.5	19.0	17.5	12.0	9.5	11.5	2.0	3.5	0.0	1.0	2.0	4.0	2.0	1.0			
		70代以上	159	54.2	42.3	46.4	23.2	20.8	7.1	14.3	25.0	17.3	17.9	23.8	14.9	4.8	7.7	1.2	2.4	0.0	0.0	4.2	1.8	1.2	0.6			
		女	中学生	190	38.3	31.9	21.3	31.9	38.3	12.8	27.7	31.9	4.3	14.9	4.3	4.3	6.4	12.8	6.4	6.4	25.5	4.3	0.0	0.0	14.9	0.0		
			10代(中学生除)	175	39.7	25.4	27.0	36.5	39.7	28.6	23.8	17.5	3.2	15.9	9.5	14.3	6.3	7.9	6.3	6.3	12.7	6.3	0.0	0.0	4.8	0.0		
20代	188		46.6	40.8	28.2	41.3	41.7	35.4	25.7	22.3	10.7	14.1	11.7	17.5	12.6	0.5	11.2	4.9	1.5	7.3	0.5	1.0	3.4	1.5				
30代	184		48.3	36.1	26.1	33.2	32.4	46.2	25.6	21.0	10.9	9.2	8.8	13.9	12.6	1.7	3.4	1.7	0.4	1.7	1.7	0.0	2.5	0.4				
40代	192		55.6	38.4	26.4	34.7	33.8	37.5	19.0	20.4	21.8	9.3	19.9	18.1	12.0	0.5	8.3	3.7	0.0	4.6	0.5	0.5	4.2	0.0				
50代	182		60.7	38.5	38.1	25.9	26.3	23.9	20.6	21.9	36.0	13.8	15.4	11.7	6.1	0.4	3.2	5.3	0.0	2.0	0.4	0.4	1.6	1.2				
60代	176		65.6	41.6	46.4	19.6	18.2	23.0	16.3	23.4	49.3	12.4	25.8	14.4	5.3	1.9	5.3	2.4	0.0	3.3	2.4	2.4	1.4	0.5				
70代以上	166		65.3	52.1	48.3	24.3	17.8	10.8	18.1	26.3	49.4	10.8	22.0	17.0	2.7	4.2	4.6	8.1	0.0	3.5	2.3	3.5	3.5	0.8				
男性計		1398	40.0	34.3	32.1	29.8	30.1	19.5	25.2	21.6	8.6	19.5	11.6	6.8	7.6	7.4	3.1	2.4	3.5	0.5	1.6	1.1	3.2	1.4				
女性計		1453	55.9	40.5	34.9	29.9	28.7	28.6	21.2	22.7	28.3	11.8	16.4	14.9	8.2	2.2	5.9	4.6	1.7	3.8	1.3	1.3	3.2	0.7				

■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上高い

「白もの牛乳類を飲む理由」の推移をみる。

2007年と比べて大きな変動はみられない。「好きだから」「おいしいから」では、2ポイント程度の微増である。

図表I-5-2 時系列 問7 白もの牛乳類を飲む理由 (MA)

	n	カルシウムがあるから	栄養があるから	健康によいから	好きだから	おいしいから	他のものと混ぜたりする	いつも家にあるから	習慣で	骨粗しょう症が心配だから	水などの代わりに	良質のタンパク質がある	便秘に効果があるから	朝食など食事代わりに	家族がすすめるから	気持ちをしラックスさせる	ぐっすり眠るために	背が高くなりたいたいから	美容に良いから	他の飲み物に比べ安い	医療関係者がすすめる	消化がよい	学校給食で飲む	それしかないから	その他	全く飲まない	無回答	
△飲用者ベース▽	2008年	2857	48.3	37.6	33.6	29.9	29.4	24.3	23.0	22.2	19.0	15.4	14.2	11.1	7.9	4.6	4.5	3.5	2.6	2.3	1.4	1.2	/	/	/	3.3	/	1.0
	2007年	3044	48.0	38.6	34.2	27.8	27.4	23.0	21.6	21.3	18.8	16.3	13.8	10.1	8.0	5.9	4.7	4.2	2.9	2.7	1.2	1.0	/	/	/	3.0	/	0.7
	2006年	3001	56.8	45.1	40.5	28.1	27.7	27.4	23.2	19.7	22.5	14.6	16.1	13.1	7.9	6.7	4.9	4.9	3.4	3.7	1.6	2.0	/	/	/	3.5	/	0.7
	2005年	3497	55.4	42.6	41.6	28.5	27.6	24.9	21.3	19.4	23.3	16.6	16.8	13.1	7.9	4.8	5.3	4.9	3.1	3.8	1.6	1.9	/	/	/	2.1	/	1.3
	2002年	3810	60.6	49.2	45.9	29.7	29.9	25.7	26.9	20.0	27.3	19.4	20.8	14.9	7.9	5.3	3.9	5.0	3.7	4.1	2.0	1.8	/	/	/	2.1	/	1.1
	2000年	4171	61.2	49.2	/	30.9	34.9	/	33.3	19.0	28.5	21.5	20.7	18.1	10.5	9.2	4.9	5.1	/	5.2	/	2.5	4.8	/	/	2.7	/	/
△全体ベース▽	1999年	4476	54.8	45.1	/	29.2	32.9	/	31.4	18.0	25.1	20.6	19.1	17.9	9.7	7.7	5.2	5.3	/	4.7	/	2.2	5.2	/	/	2.4	10.6	0.0
	1997年	4547	55.4	41.0	/	23.5	24.4	/	27.8	13.1	24.1	17.3	15.2	16.0	8.1	7.6	/	/	/	3.1	/	3.6	/	/	3.3	11.1	0.1	
	1996年	4706	50.3	40.7	/	23.3	22.2	/	19.9	15.5	19.3	17.3	/	/	7.9	5.7	/	/	/	/	/	/	/	/	3.2	10.4	0.1	
	1995年	4668	51.5	45.3	/	22.0	20.6	/	20.6	16.1	16.1	16.9	/	/	8.3	4.6	/	/	4.6	4.6	2.2	1.6	/	2.8	/	2.6	11.7	1.3
	1994年	4617	58.7	53.9	/	26.5	26.5	/	31.0	14.3	/	13.4	/	/	8.6	6.5	/	/	5.7	5.7	2.8	2.5	/	4.5	/	2.9	13.4	0.1
	1993年	4553	59.2	58.2	/	27.9	28.0	/	34.3	16.2	/	12.7	/	/	9.4	6.2	/	/	7.1	9.2	4.0	2.9	/	5.2	/	2.2	12.8	0.3
	1992年	4651	51.3	52.8	/	28.2	25.2	/	30.3	14.7	/	14.5	/	/	8.5	6.3	/	/	5.5	4.9	2.3	2.7	/	3.7	2.1	2.1	13.7	0.3
	1991年	4714	50.1	54.3	/	28.2	25.5	/	31.1	14.0	/	15.4	/	/	8.3	6.0	/	/	6.3	5.6	2.0	2.9	/	5.1	2.8	2.0	12.5	0.3
	1990年	4691	54.3	58.3	/	26.6	23.0	/	30.7	13.5	/	14.2	/	/	8.4	5.7	/	/	5.9	7.7	2.1	2.7	/	4.1	2.5	2.0	12.8	0.3
	1989年	4579	46.9	54.9	/	26.0	22.1	/	29.6	12.1	/	14.0	/	/	8.8	5.5	/	/	4.7	6.9	2.2	3.0	/	3.9	2.2	1.7	15.4	0.6
	1988年	4604	44.4	55.7	/	25.9	23.0	/	29.7	11.5	/	14.0	/	/	9.2	6.2	/	/	6.6	9.0	2.8	2.4	/	5.3	2.4	1.6	15.4	0.9
	1987年	4664	38.4	53.4	/	27.5	23.7	/	27.4	14.7	/	18.2	/	/	9.1	5.1	/	/	5.5	8.6	2.5	2.0	/	4.8	3.2	1.6	16.1	1.2

※斜線はデータなし
 ※1998年、2001年、2003年、2004年はデータなし
 ※1999年以前は非飲用者も含む全体ベース

(%)

II この1年間の白もの牛乳類の飲用量の変化に対する認識

1. 飲み方別飲用量の増減

この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えたか、減ったかを、そのまま飲む場合、他のものと混ぜて飲む場合、牛乳飲用全体に分けて聞いた。

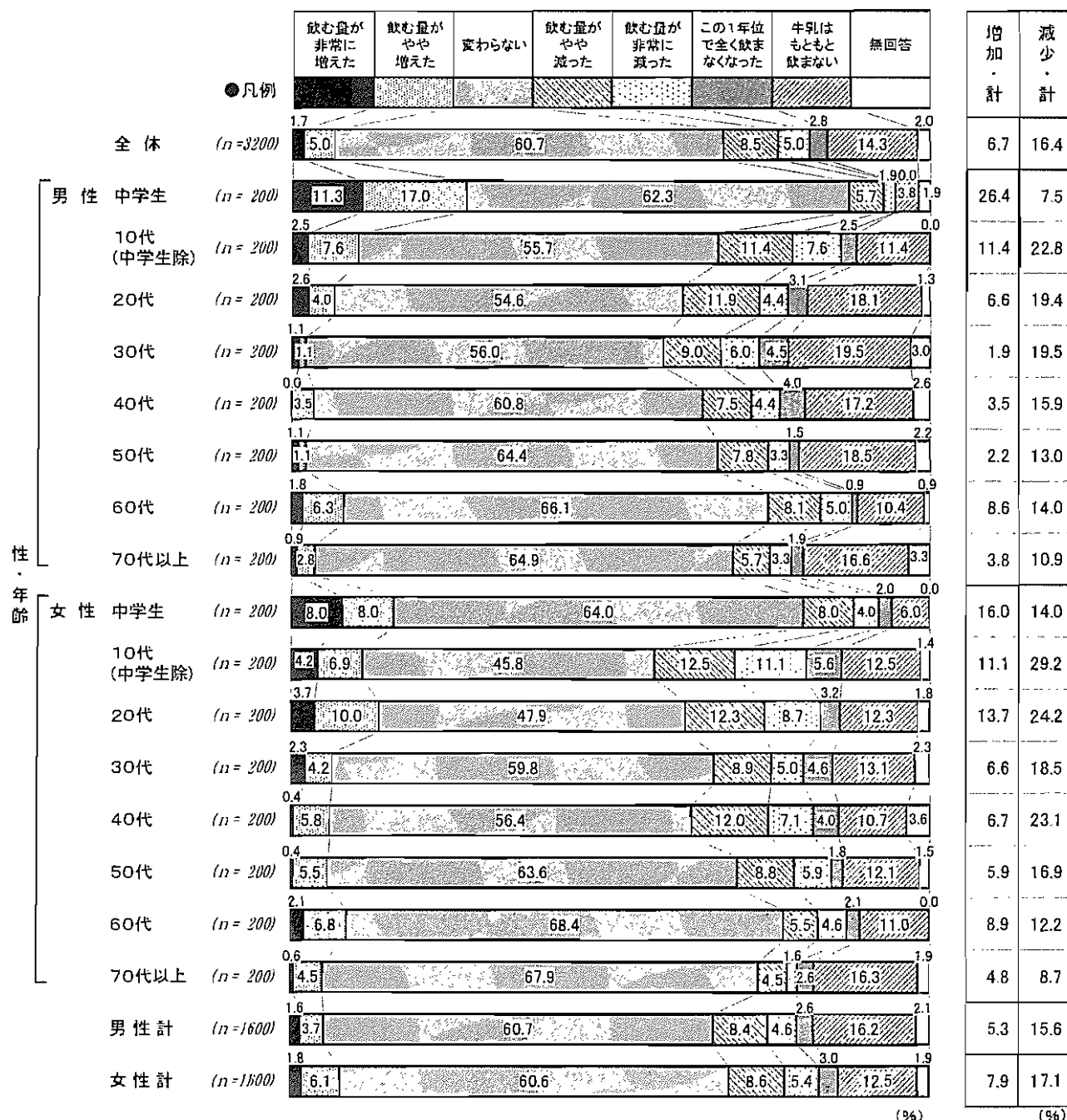
1) そのまま飲む量の増減

そのまま飲む場合に「飲む量が減った」（「飲む量が非常に減った」＋「飲む量がやや減った」）と答えた人は16%で、「飲む量が増えた」（「飲む量が非常に増えた」＋「飲む量がやや増えた」）と答えた人（7%）を9ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、男女とも中学生でのみ、「飲む量が増えた」人が「飲む量が減った」人を上回っている。

減少した割合は、男女とも、中学生を除く10代で最も高く、男性23%、女性29%。これは、中学生での減少比率と比べて15ポイント以上の差である。

図表II-1-1 性・年齢別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (1) そのまま飲む場合

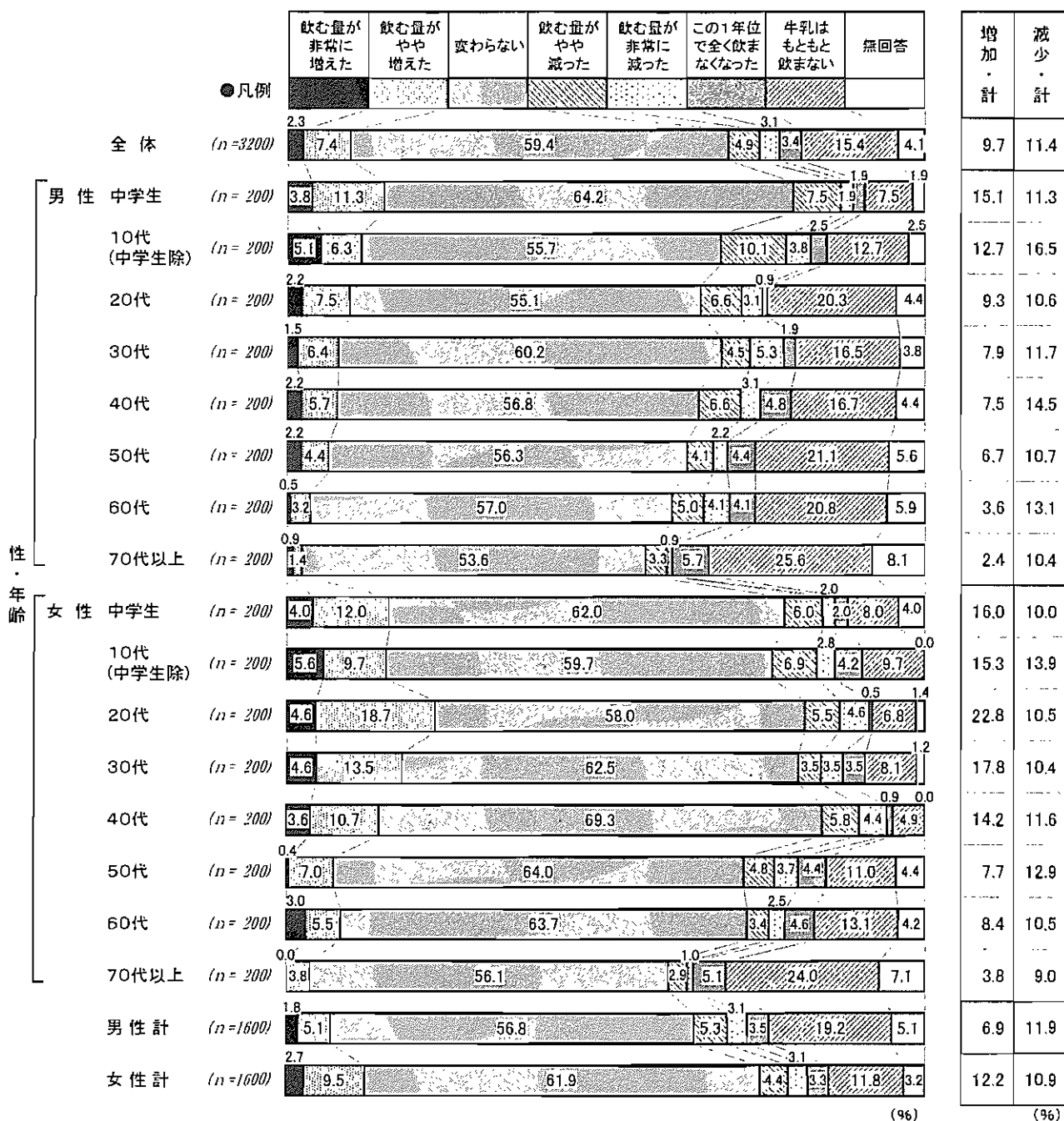


2) 混ぜて飲む量の増減

他のものと混ぜて飲む場合に、「飲む量が増えた」と答えた人は10%、「減った」と答えた人は11%で、減少が増加をわずかながら上回っている。

性・年齢別にみると、男性中学生と女性中学生を含む10代～40代では、増加が減少を上回っている。特に、女性の20代では、「増えた」人の割合が23%と高く、「減った」人の割合の2倍以上となっている。

図表II-1-2 性・年齢別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (2) 混ぜて飲む場合



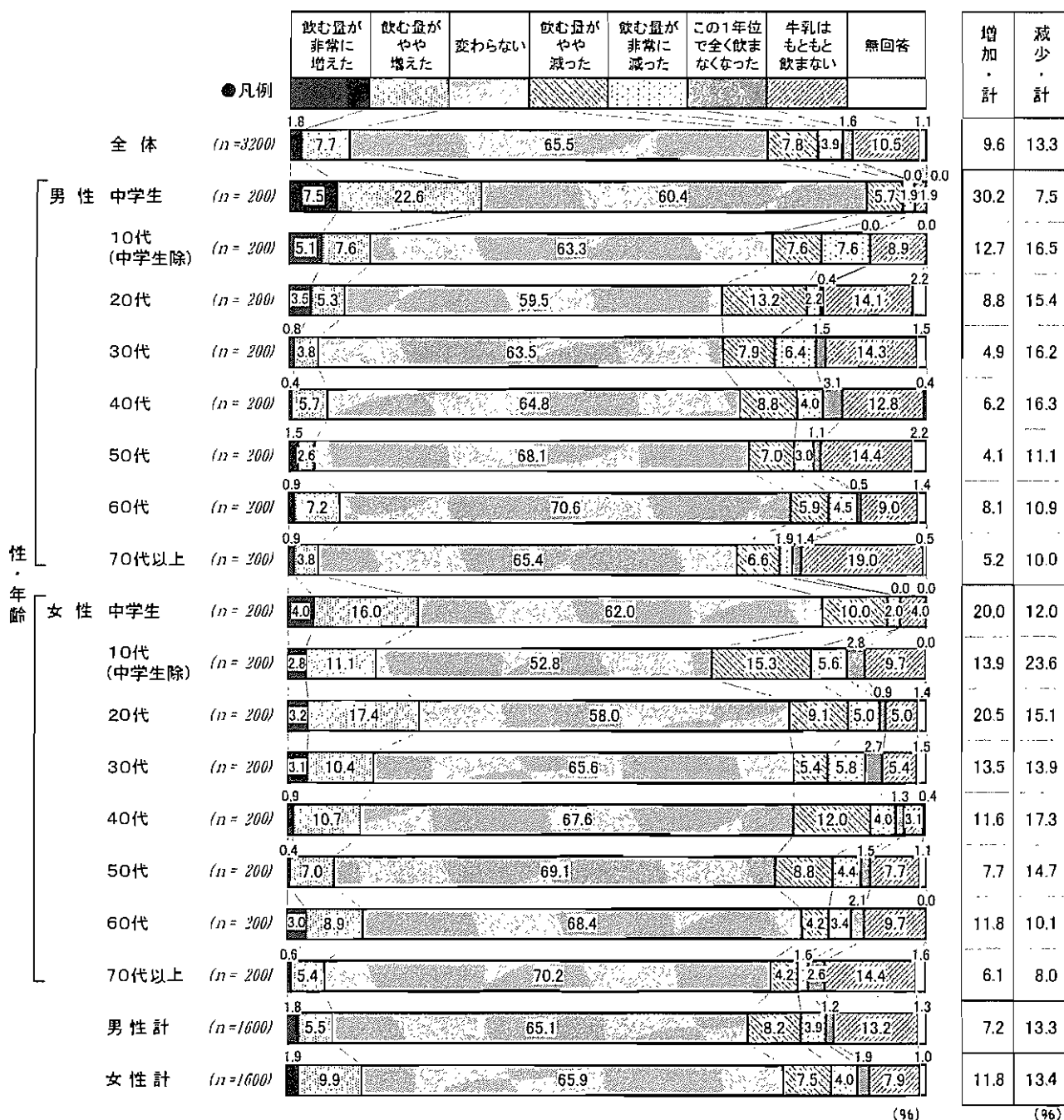
3) 全体での増減

白もの牛乳類の飲用全体では、「飲む量が増えた」と答えた人は10%、「飲む量が減った」と答えた人は13%で減少が増加を3ポイント上回っている。

性・年齢別にみると、「増えた」と感じている人は男性中学生で3割と最も多い。女性でも、中学生と20代で2割以上と多い。

男女とも、中学生と中学生を除く10代とを比較すると、「減った」とする人の割合が中学生を除く10代で大幅に高まる傾向がみられる。なお、女性では、中学生を除く10代で減少比率が高いものの、20代で再び飲む量が増加する様子がうかがえる。

図表II-1-3 性・年齢別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (3) 全体



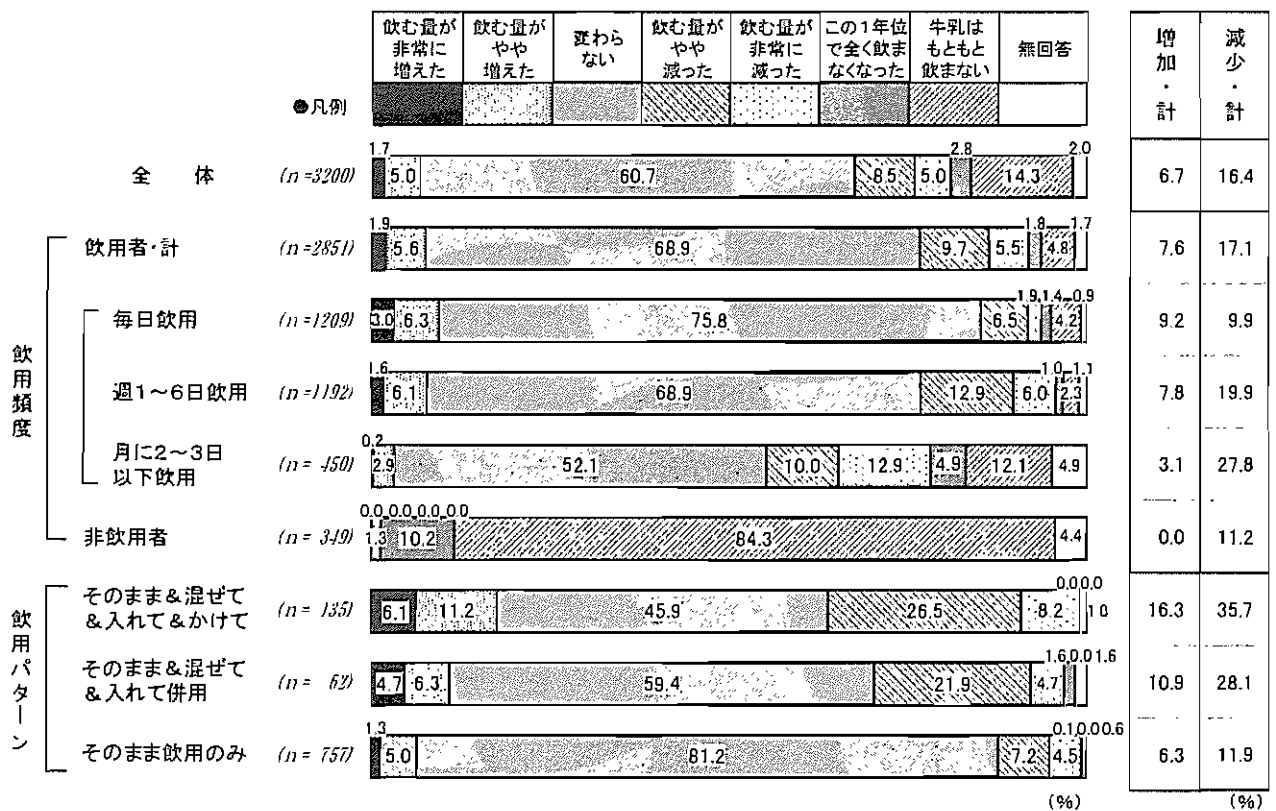
白もの牛乳類の飲用行動別に、飲用量増減の感じ方をみる。

そのまま飲む場合の飲み方では、飲用頻度、飲用パターンにかかわらず減少が増加を上回る。

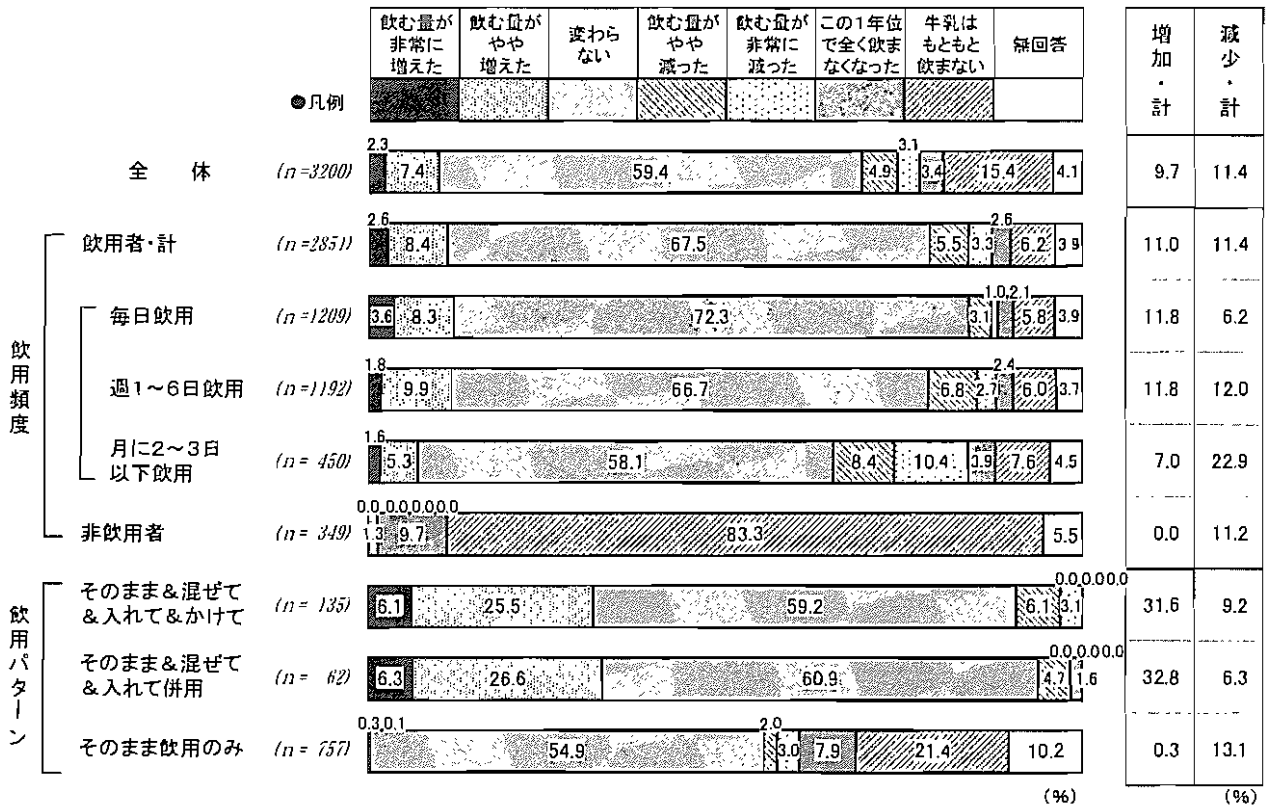
一方、混ぜて飲む場合では、飲用頻度別には、「毎日飲用」する人のみ増加が減少を上回る。

また、「そのまま飲用のみ」以外の多様なパターンで飲んでいる人では、増加したと感じる人が3割を超え、減少を大きく上回っている。

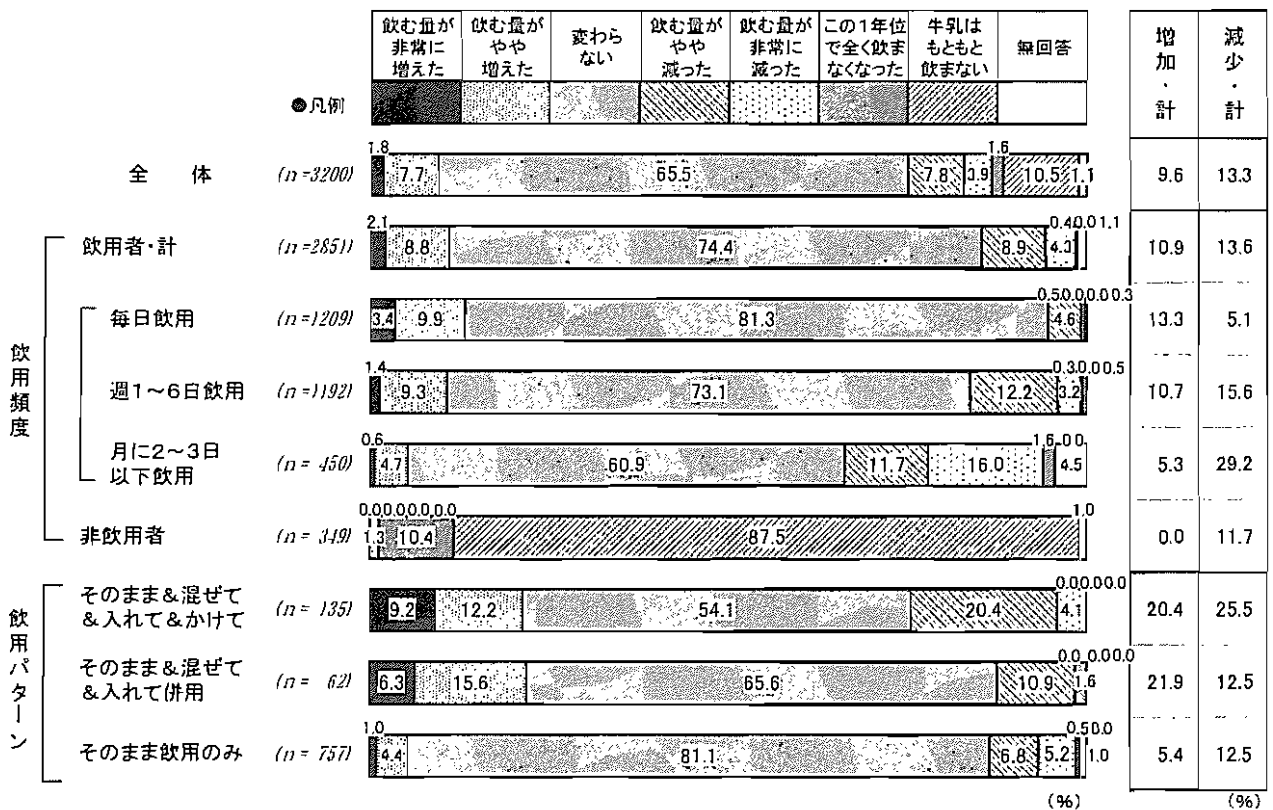
図表II-1-4 飲用行動別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減 (1) そのまま飲む場合



図表II-1-5 飲用行動別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減(2)混ぜて飲む場合



図表II-1-6 飲用行動別 問8 白もの牛乳類の飲用量の増減(3)全体



2. 白もの牛乳類の飲用を阻害する要因

この1年間に白もの牛乳類を飲む量が全体として減った・牛乳はもともと飲まない人に、牛乳を飲む量が減った理由または牛乳を飲まない理由（14項目）について、どの程度あてはまるかを5段階で聞いた。

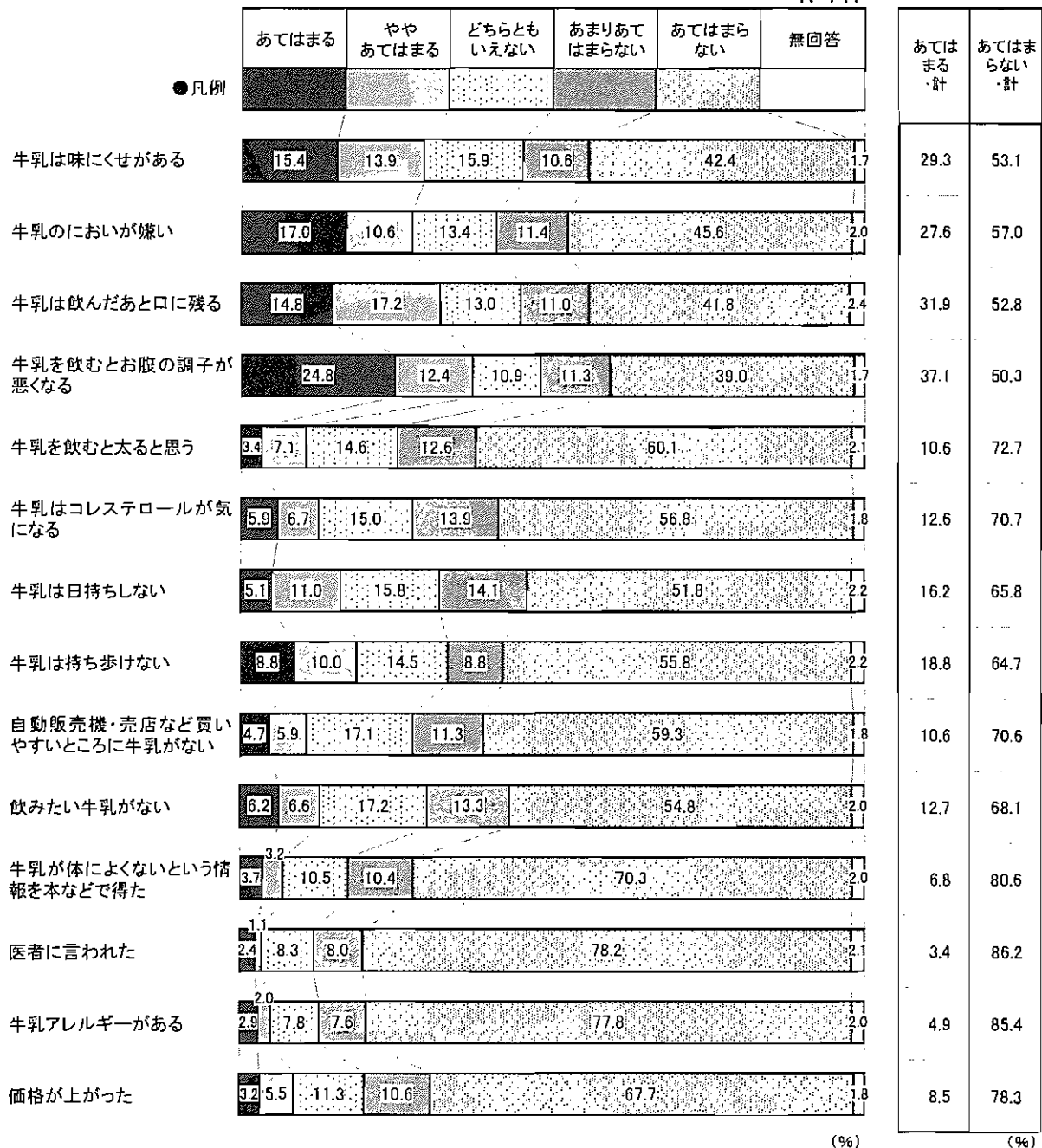
あてはまる度合い（「あてはまる」+「ややあてはまる」）が最も高いのは「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」の37%である。続いて、「牛乳は飲んだあと口に残る」「牛乳は味にくせがある」「牛乳のにおいが嫌い」が3割前後で高めとなっている。

「価格が上がった」は9%である。

図表II-2-1 問9 飲用量減少・非飲用理由

<飲用量が減少した人／非飲用者ベース>

N=741



(%)

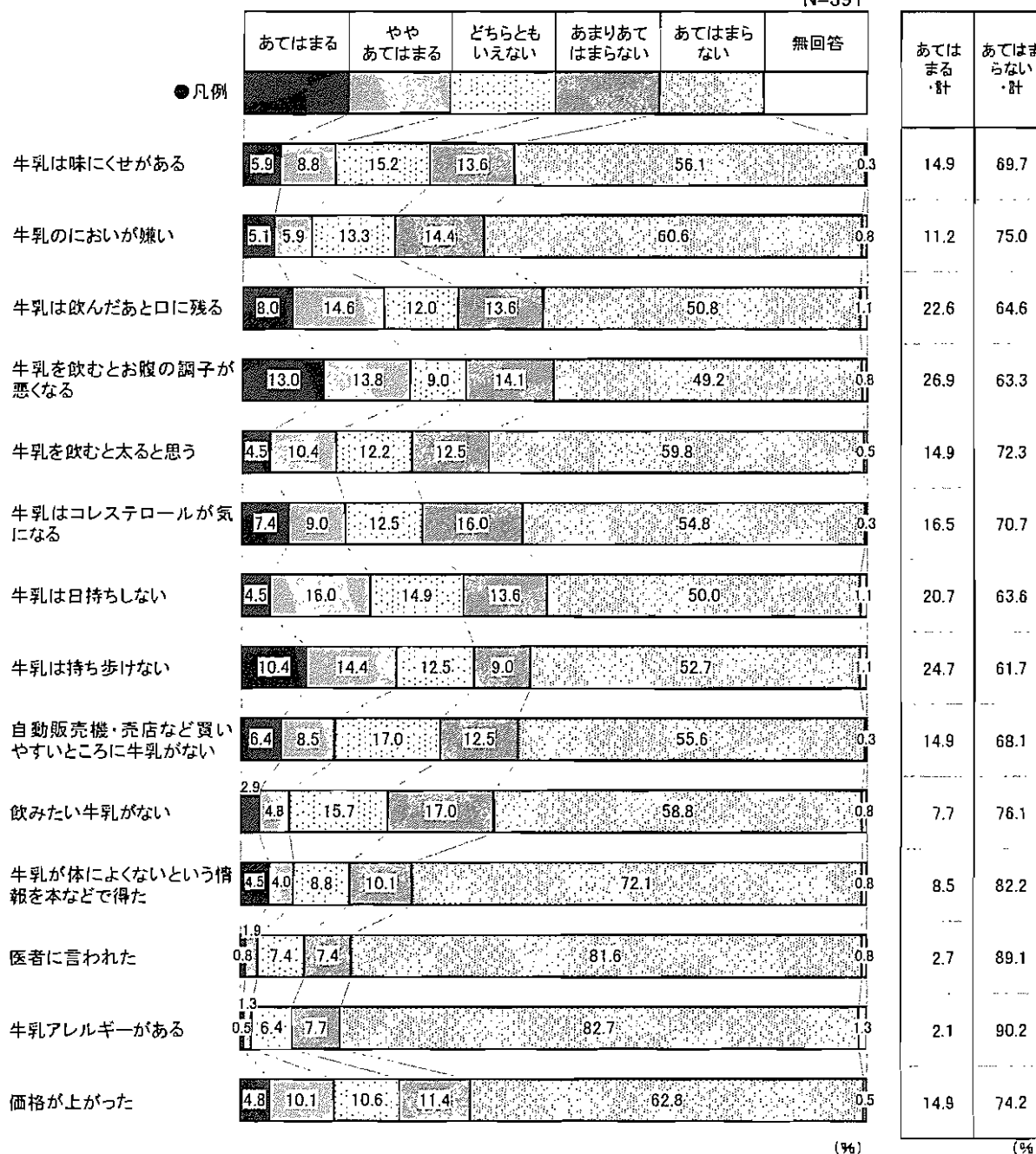
(%)

減少した人ベースで見ると、「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」があてはまる人（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）が27%で最も多く、次いで「牛乳は持ち歩けない」25%、「牛乳は飲んだあと口に残る」23%の順に多くなっている。

図表II-2-2 問9 飲用量減少理由

<減少者ベース>

N=391



(%)

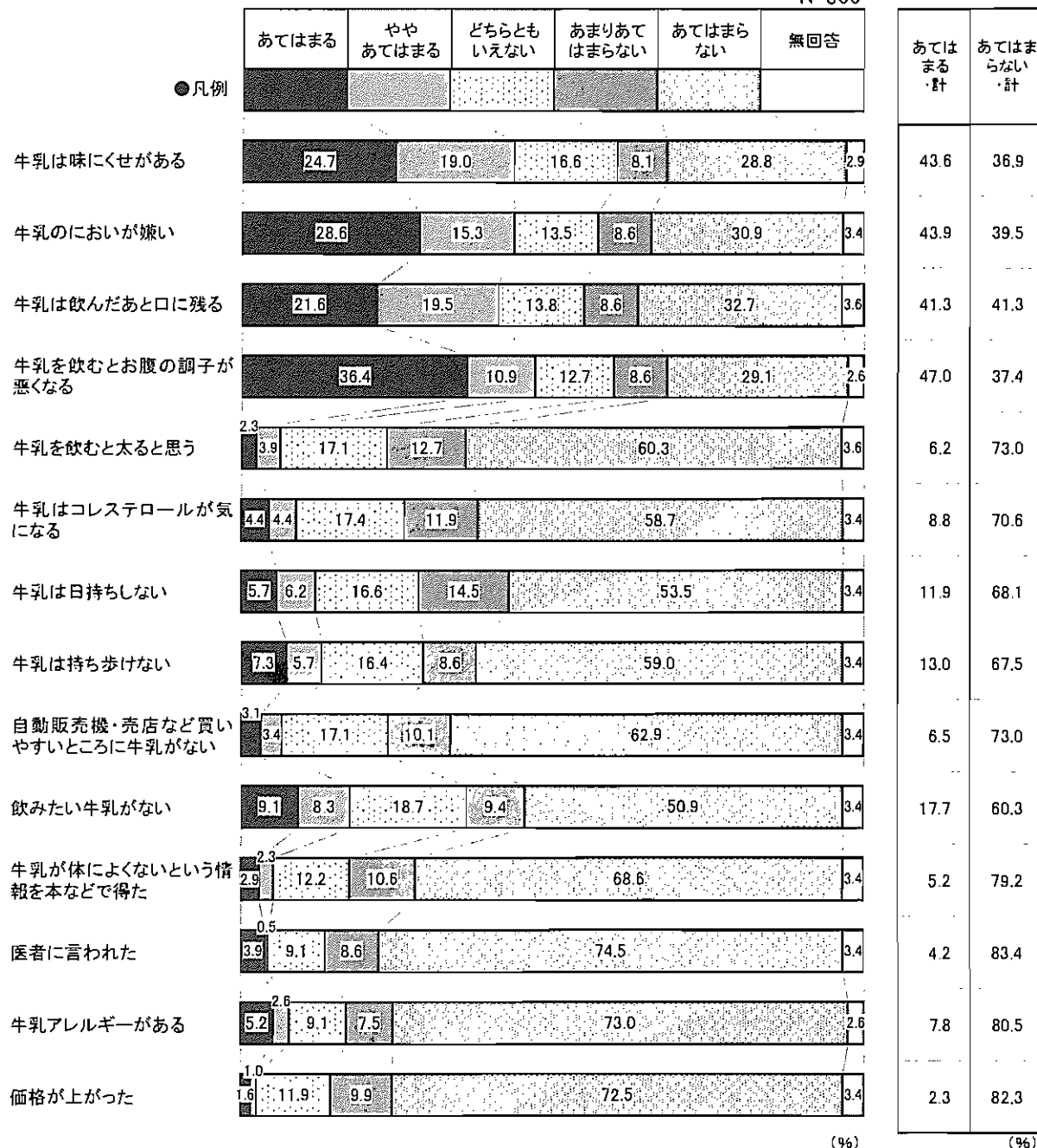
(%)

もともと飲まない人の非飲用理由で「あてはまる計」をみると、「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」が47%で最も高く、「牛乳のにおいが嫌い」「牛乳は味にくせがある」「牛乳は飲んだあと口に残る」も4割台でこれに続く。

図表II-2-3 問9 非飲用理由

<非飲用者ベース>

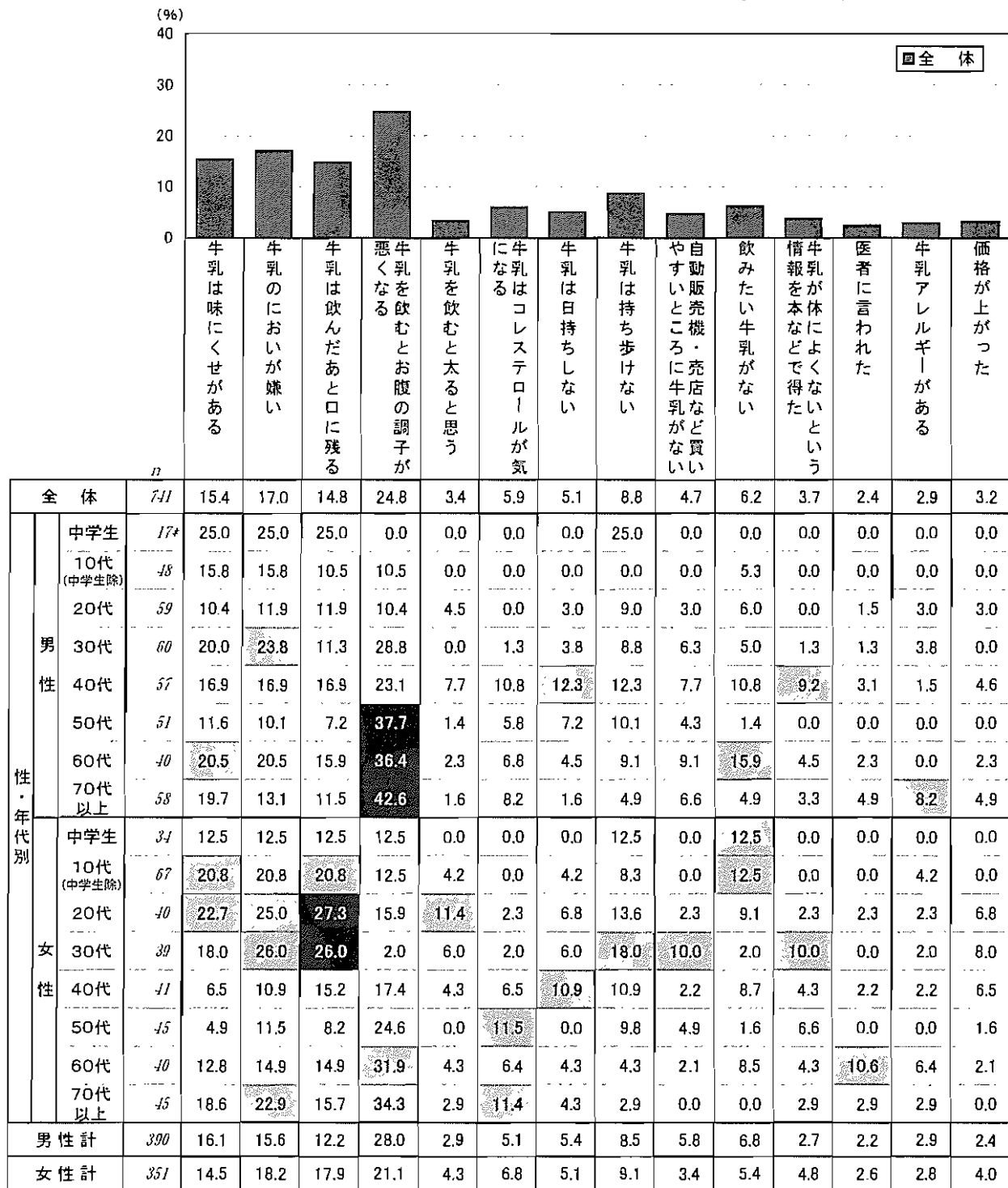
N=350



減少および非飲用理由について「あてはまる」と回答した人の比率を性・年齢別にみると、男性の50代以上の層で「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」が4割前後と、他の層に比べて高い。女性の20～30代では「牛乳は飲んだあと口に残る」が3割弱を占め高くなっている。

図表II-2-4 性・年齢別 問9 飲用量減少・非飲用理由「あてはまる」

<飲用量が減少した人／非飲用者ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

全体より5ポイント以上高い

全体より10ポイント以上高い

(%)

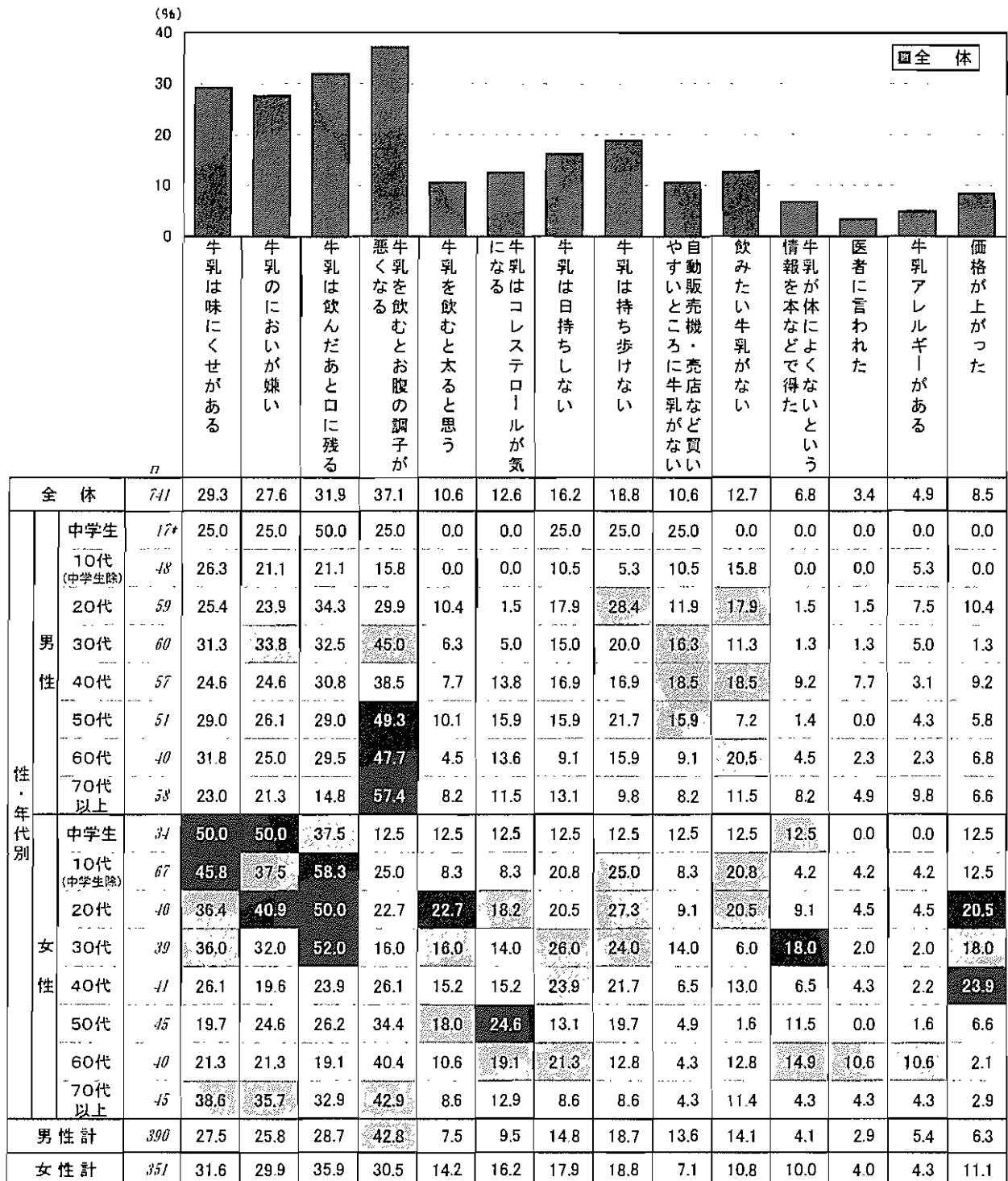
「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせたあてはまる度合いを、性・年齢別にみると、男性の50代以上で「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」の比率が高い。

女性の中学生を除く10代および20～30代では「牛乳を飲んだあと口に残る」が5割台と他の層に比べ高い。また、女性の年齢の低めの層では、「牛乳は味にくせがある」「牛乳のにおいが嫌い」の比率も高めである。

女性20～40代の層では、「価格が上がった」ことがあてはまる比率が他の層に比べて高い。

図表II-2-5 性・年齢別 問9 飲用量減少・非飲用理由「あてはまる計」

<飲用量が減少した人／非飲用者ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

全体より5ポイント以上高い

全体より10ポイント以上高い

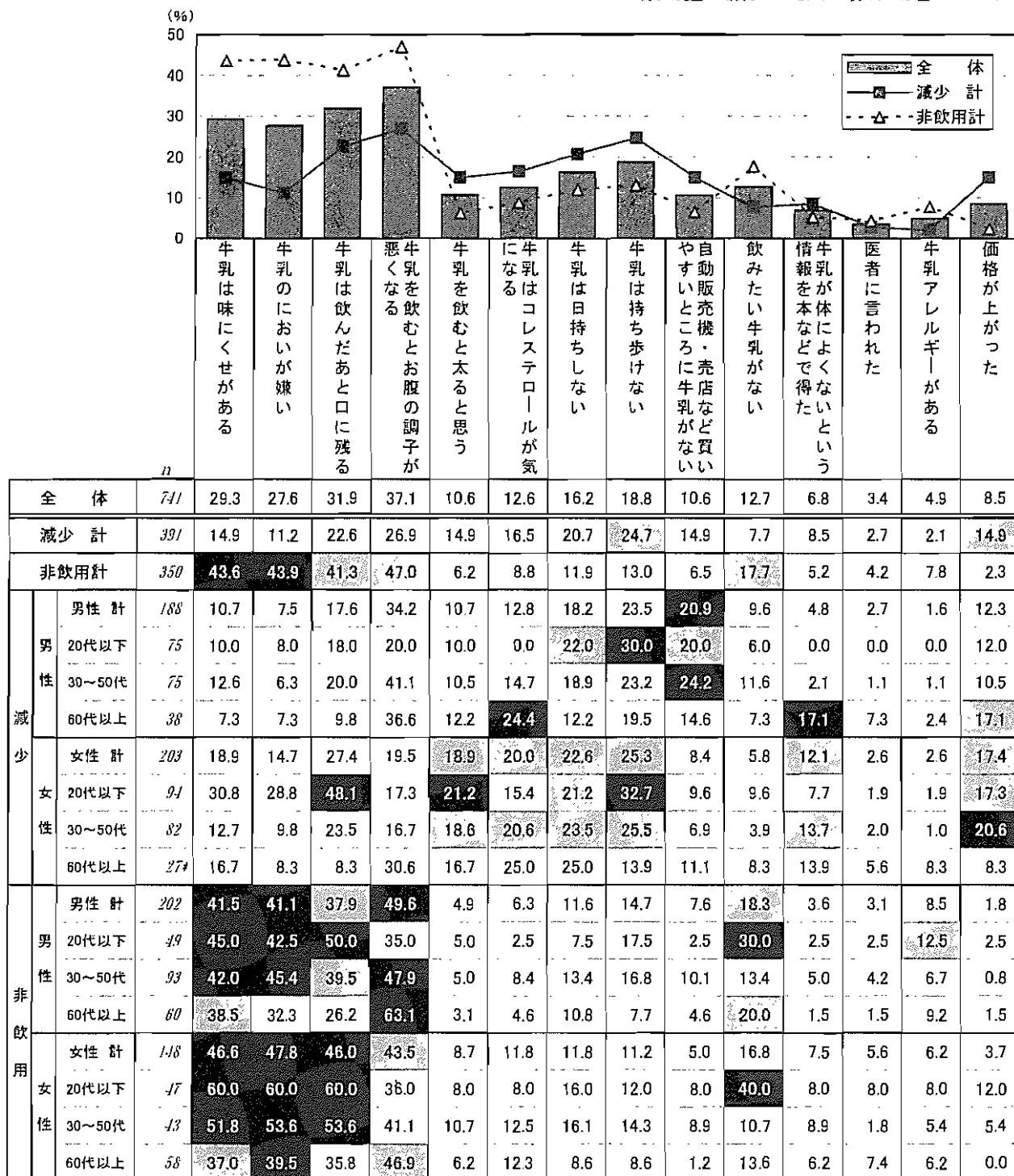
(%)

「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせたあてはまる度合いを、減少者、非飲用者別にみると、非飲用者では、男女とも、「牛乳は味にくせがある」「牛乳のにおいが嫌い」の比率が高い。非飲用者の女性では、「牛乳は飲んだあと口に残る」、男性では「牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなる」でも比率が高い。また、男女とも20代以下の層で、「飲みたい牛乳がない」の比率も高い。

減少者では、「牛乳は持ち歩けない」「価格が上がった」という理由でやや高い傾向である。「牛乳は持ち歩けない」は、男女とも20代以下の層で比率が高く、「価格が上がった」は、女性の特に30～50代の層で高い。

図表II-2-6 減少者・非飲用者別 問9 飲用量減少・非飲用理由「あてはまる計」

<飲用量が減少した人／非飲用者ベース>



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

全体より5ポイント以上高い

全体より10ポイント以上高い

(%)

3. 白もの牛乳類の飲用意向

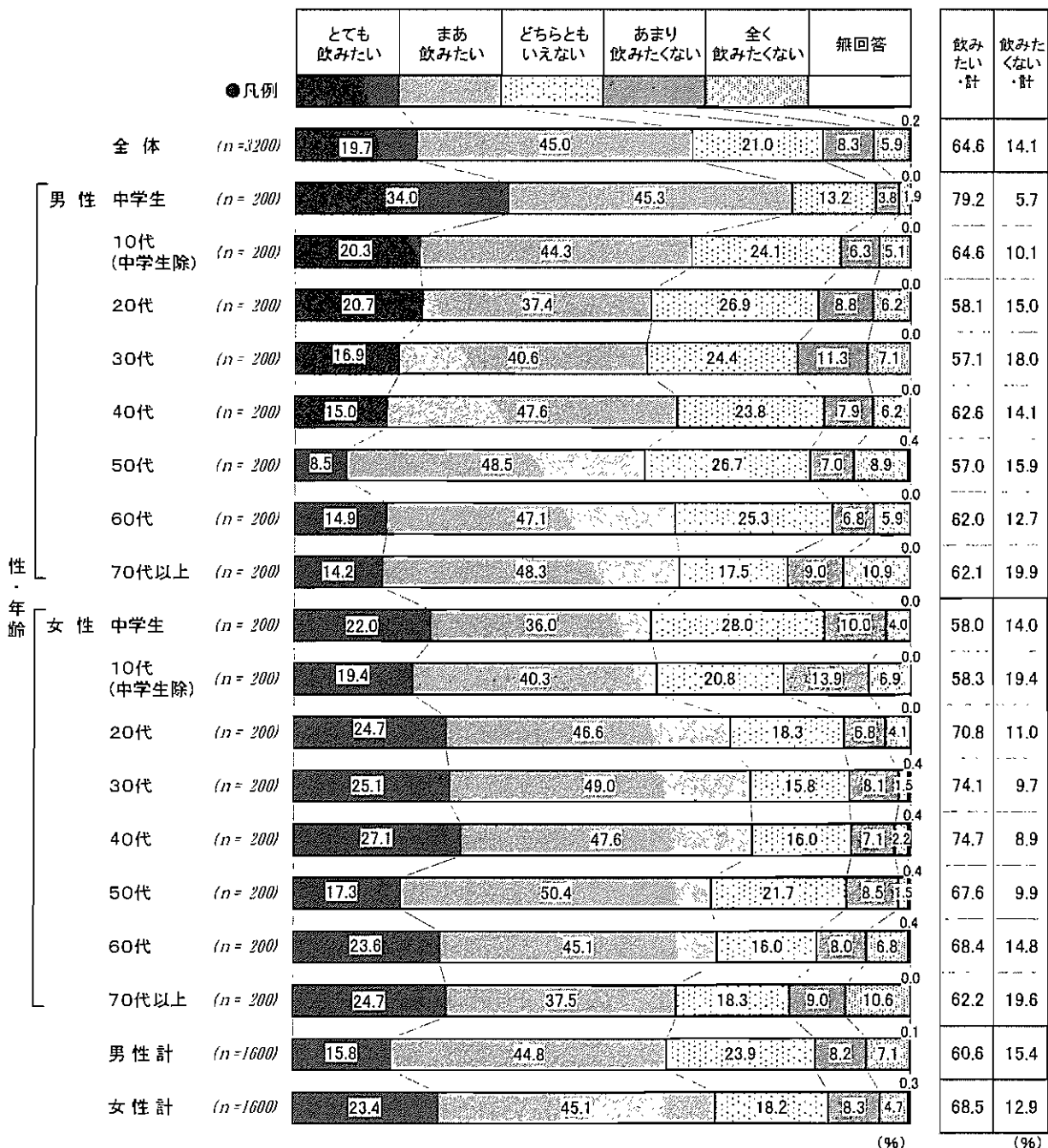
現在の飲用有無にかかわらず、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思うかを5段階で聞いた。

白もの牛乳類非飲用者を含む全体では、「とても飲みたい」20%、「まあ飲みたい」45%となっており、合わせて65%が飲用意向を示している。一方、「全く飲みたいくない」は6%、「あまり飲みたいくない」は8%で、両者の合計は1割強である。「どちらともいえない」は2割強見られる。

性・年齢別にみると、男性中学生で「とても飲みたい」が34%と他の層と比べて突出している。男性50代では1割に満たない。「飲みたい計（「とても飲みたい」+「まあ飲みたい」）」の飲用意向が最も高い層は男性中学生で、8割。女性20～40代の層でも、7割強となっている。

男女とも70代以上と、女性の中学生を除く10代では、「飲みたいくない計（「全く飲みたいくない」+「あまり飲みたいくない」）」がほぼ2割となっている。

図表II-3-1 性・年齢別 問10 白もの牛乳類の飲用意向



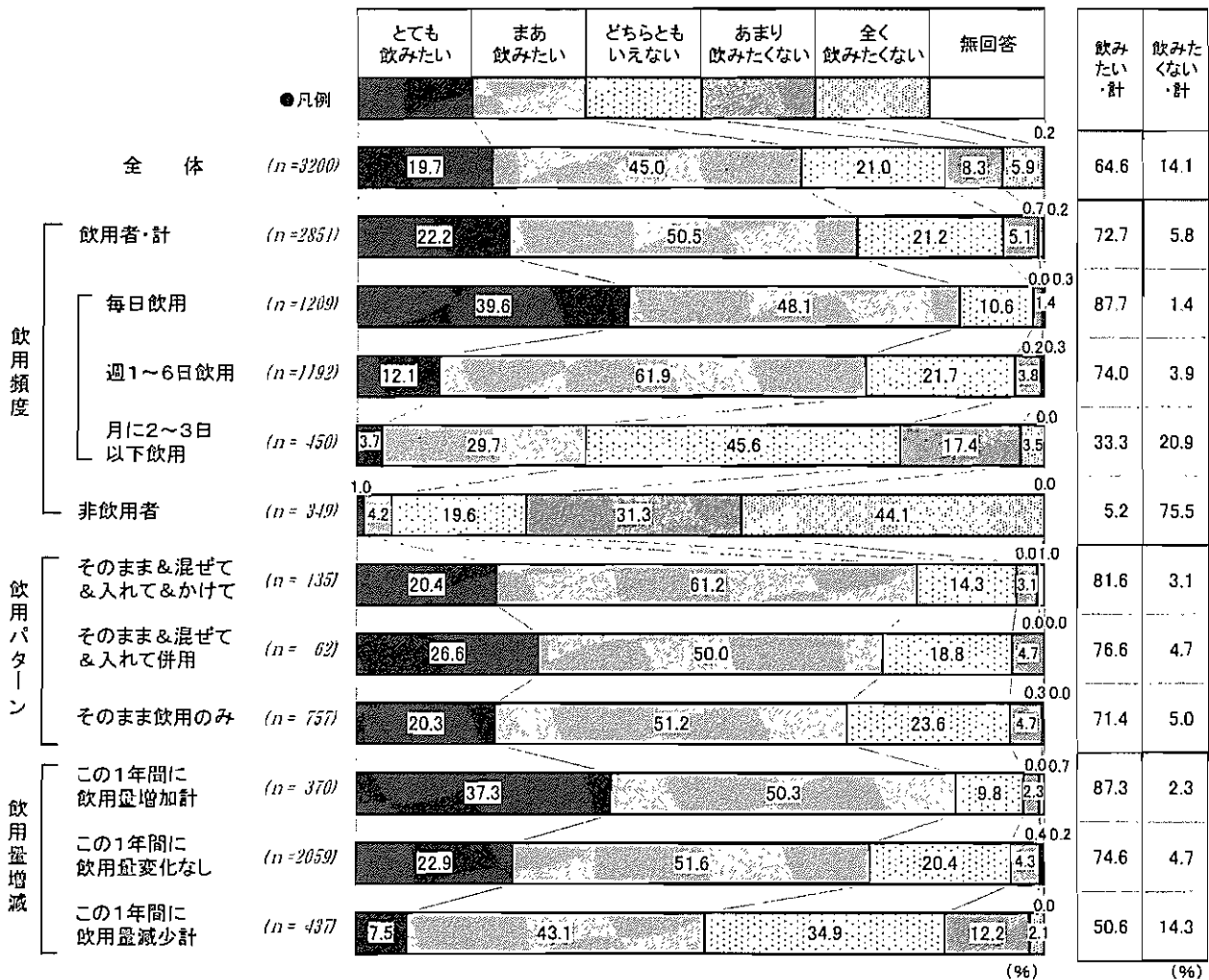
現在の飲用頻度別にみると、「とても飲みたい」と回答した人は、飲用者全体では20%、毎日飲用する人では40%である。「飲みたい計（「とても飲みたい」+「まあ飲みたい」）」でみると、毎日飲用する人では9割弱の飲用意向となっている。

この1年間の飲用量増減別にみると、増加した人の「飲みたい計」は9割弱、「変化なし」の人でも7割強と高い。この1年に飲用量が減少した人では、「とても飲みたい」が1割に満たないものの、「まあ飲みたい」と合わせると5割強が飲用意向を示している。

「そのまま&混ぜて&入れて&かけて」の多様な飲用パターンをしている人でも8割強と高い飲用意向である。

2007年の飲用意向と比較して、顕著な変化はみられない。

図表II-3-2 飲用行動別 問10 白もの牛乳類の飲用意向



図表II-3-3 時系列 問10 白もの牛乳類の飲用意向

	n	とても飲みたい	まあ飲みたい	どちらともいえない	あまり飲みたいくない	全く飲みたいくない	無回答	飲みたい・計	飲みたいくない・計
2008年	3200	19.7	45.0	21.0	8.3	5.9	0.2	64.6	14.1
2007年	3486	17.6	46.9	20.3	7.9	6.9	0.5	64.5	14.8

Ⅲ 白もの牛乳類の購入実態

1. 白もの牛乳類の購入頻度

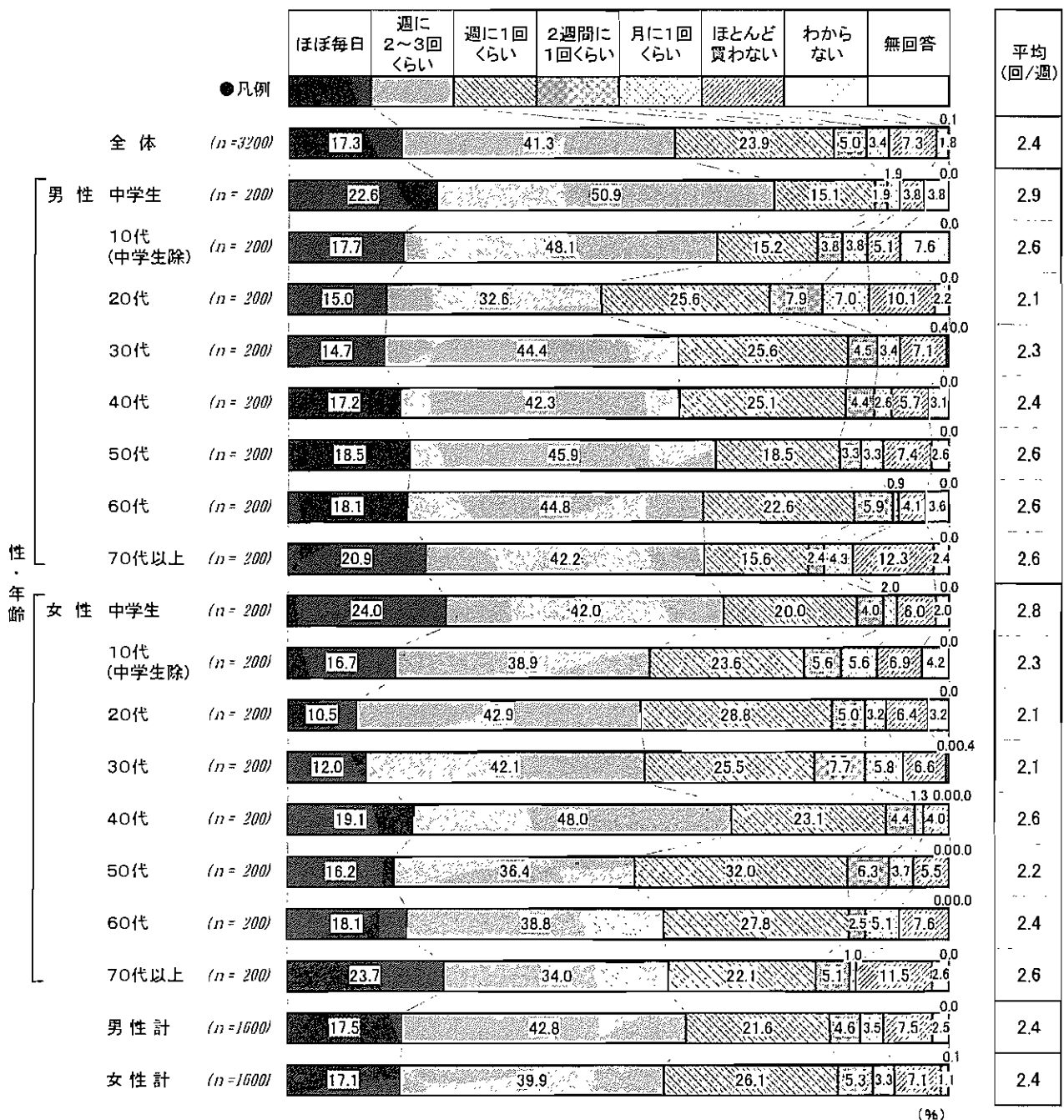
世帯として白もの牛乳類をどのくらいの頻度で購入するかを聞いた。

「週に2～3回くらい」が41%で最も多く、次に「週に1回くらい」が24%となっている。「ほぼ毎日」は17%。週あたりの平均購入頻度は2.4回である。

性・年齢別にみると、男性中学生では、週に2～3回以上（「ほぼ毎日」＋「週に2～3回くらい」）白もの牛乳類を購入する比率が7割を超え、他の層に比べて最も高い。一方、男性の20代では、その比率は5割に満たない。

女性では、週に2～3回以上白もの牛乳類を購入する比率が、中学生と40代で高く、7割に近い。

図表Ⅲ-1-1 性・年齢別 問11 白もの牛乳類を購入する頻度



[参考] 参考にこれまでの調査での白もの牛乳類の購入頻度の推移をみる。

図表Ⅲ-1-2 時系列 問11 白もの牛乳類を購入する頻度

	<i>n</i>	ほぼ毎日	週に 2~3回 くらい	週に1回 くらい	2週間に 1回くらい	月に1回 くらい	ほとんど 買わない	無回答
2008年	3200	17.3	41.3	23.9	5.0	3.4	7.3	1.9
2006年	3478	14.5	39.0	22.4	5.3	4.3	8.9	5.5
2005年	3896	17.6	41.6	20.6	5.6	3.6	7.0	4.1
2004年	4177	19.5	41.5	20.7	4.3	3.0	6.7	4.4
2001年	4778	18.3	49.1	20.0	4.5	2.5	4.9	0.7
2000年	4632	20.8	48.9	19.1	4.0	2.6	4.1	0.5
1999年	4476	21.8	50.7	17.7	3.4	2.2	4.1	0.1
1998年	4472	22.2	49.5	16.7	3.8	1.6	5.9	0.3
1997年	4547	25.5	49.5	14.6	3.4	1.7	4.9	0.3
1996年	4706	24.5	48.4	16.7	3.5	1.9	4.6	0.4
1995年	4668	26.3	47.0	15.7	3.1	2.3	4.9	0.7
1994年	4617	31.7	44.3	14.5	2.5	1.6	5.1	0.3
1993年	4553	29.2	46.3	15.3	2.5	1.8	4.2	0.7
1992年	4651	29.3	45.3	14.9	3.3	1.6	4.6	1.0
1991年	4714	31.7	44.8	14.3	2.8	1.8	3.9	0.6
1990年	4691	33.6	44.4	13.2	2.9	1.8	3.5	0.7
1989年	4579	31.9	43.9	12.9	3.0	2.1	5.2	1.0
1988年	4604	32.3	43.1	13.0	3.0	2.6	5.5	0.5

(%)

※2001年までは主婦役割主担当者が回答

※2004年、2005年、2006年、2008年の無回答は、「わからない」+「無回答」

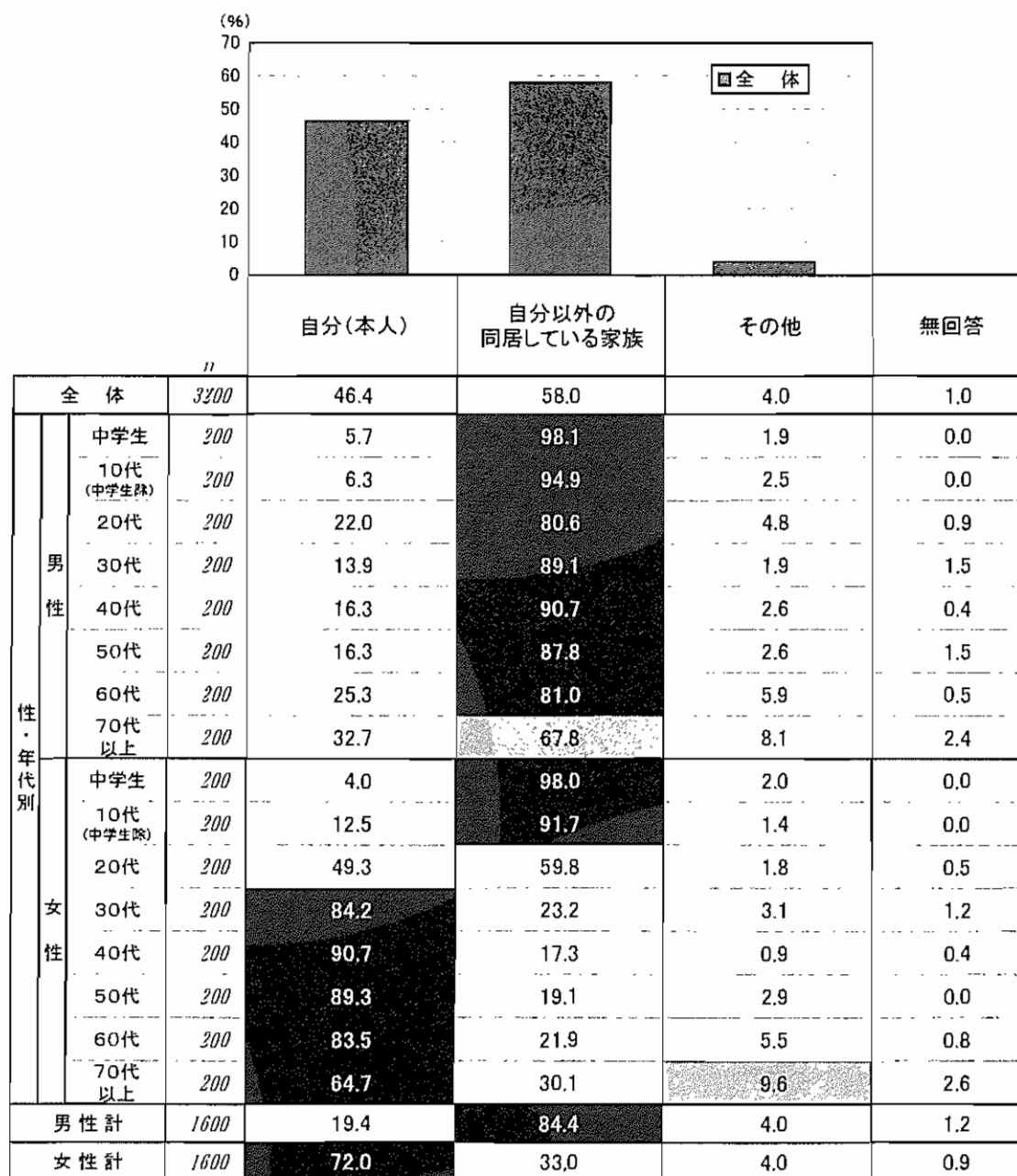
2. 白もの牛乳類を購入する人

世帯の中で白もの牛乳類を購入する人がだれか、複数回答でたずねた。

全体では、「自分（本人）」が47%、「自分以外の同居している家族」が58%となっている。

「自分（本人）」が購入する割合は男性では2割ほどであるが、女性では7割強を占める。男性の8割以上は「自分以外の同居している家族」が購入している。

図表III-2 性・年齢別 問12 白もの牛乳類を購入する人 (MA)



(96)

全体より 5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

3. 白もの牛乳類の購入場所

白もの牛乳類をどのような場所で購入しているか、「ふだん利用する」「主に利用する」「今後も（あるいは新たに）利用したい」場所それぞれについて聞いた。

「ふだん利用する場所」では、「スーパーの店頭で購入（88%）」が最も多く、次いで「コンビニエンスストアの店頭で購入」が2割となっている。

「主に利用する場所」では、「スーパーの店頭で購入」が7割を占める。「牛乳販売店からの宅配」は1割。

「今後も（または新たに）利用したい場所」では、8割近くの人が「スーパーの店頭で購入」と答えており、「コンビニエンスストアの店頭で購入」は15%となっている。

図表III-3-1 問13 白もの牛乳類の購入場所（購入者ベース）

(N=1233)

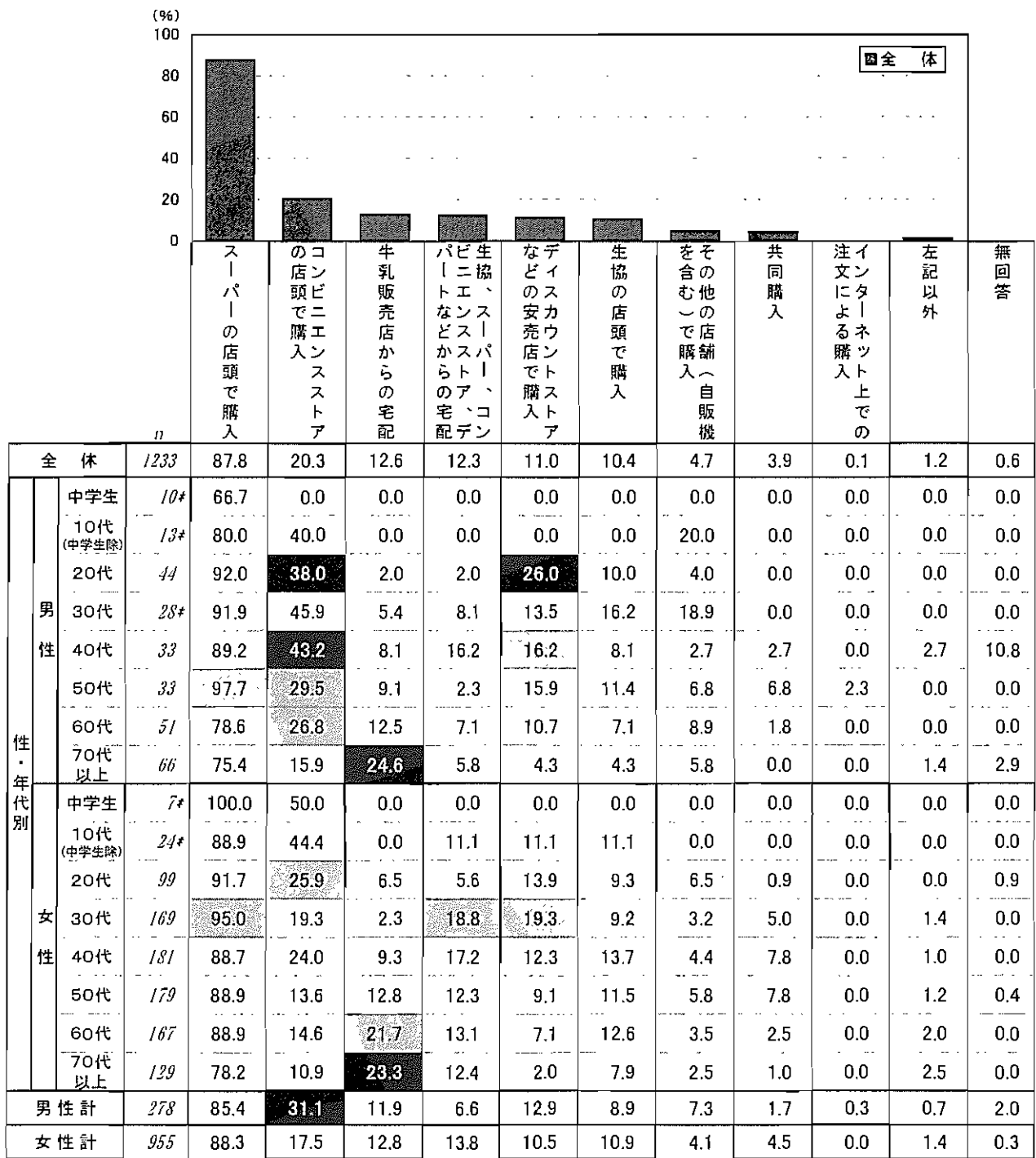
	ふだん利用する場所 (MA)	主に利用する場所 (SA)	今後も／新たに利用したい場所 (MA)
スーパーの店頭で購入	87.8	69.8	78.3
コンビニエンスストアの店頭で購入	20.3	3.8	14.7
牛乳販売店からの宅配	12.6	10.0	13.5
生協、スーパー、コンビニエンスストア、デパートなどからの宅配	12.3	6.3	11.1
ディスカウントストアなどの安売店で購入	11.0	1.9	11.5
生協の店頭で購入	10.4	2.6	8.6
その他の店舗(自販機を含む)で購入	4.7	1.6	4.2
共同購入	3.9	2.0	3.8
インターネット上での注文による購入	0.1	0.0	0.5
上記以外	1.2	0.7	1.5
無回答	0.6	1.3	2.5

(%)

「ふだん利用する場所」について男女別にみると、男性では、「コンビニエンスストアの店頭で購入」する人の割合が3割を超え、全体よりも10ポイント以上高い。年齢別には、特に男性20代と40代でコンビニエンスストアを利用する比率が4割前後と高い。男性20代は、「ディスカウントストアなどの安売店で購入」する比率も高くなっている。

男女とも、70代以上では「牛乳販売店からの宅配」をふだん利用する割合が、他の層に比べて高い傾向となっている。

図表III-3-2 性・年齢別 問13(1) 白もの牛乳類の購入場所：ふだん利用する場所（MA／購入者ベース）



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

全体より5ポイント以上高い

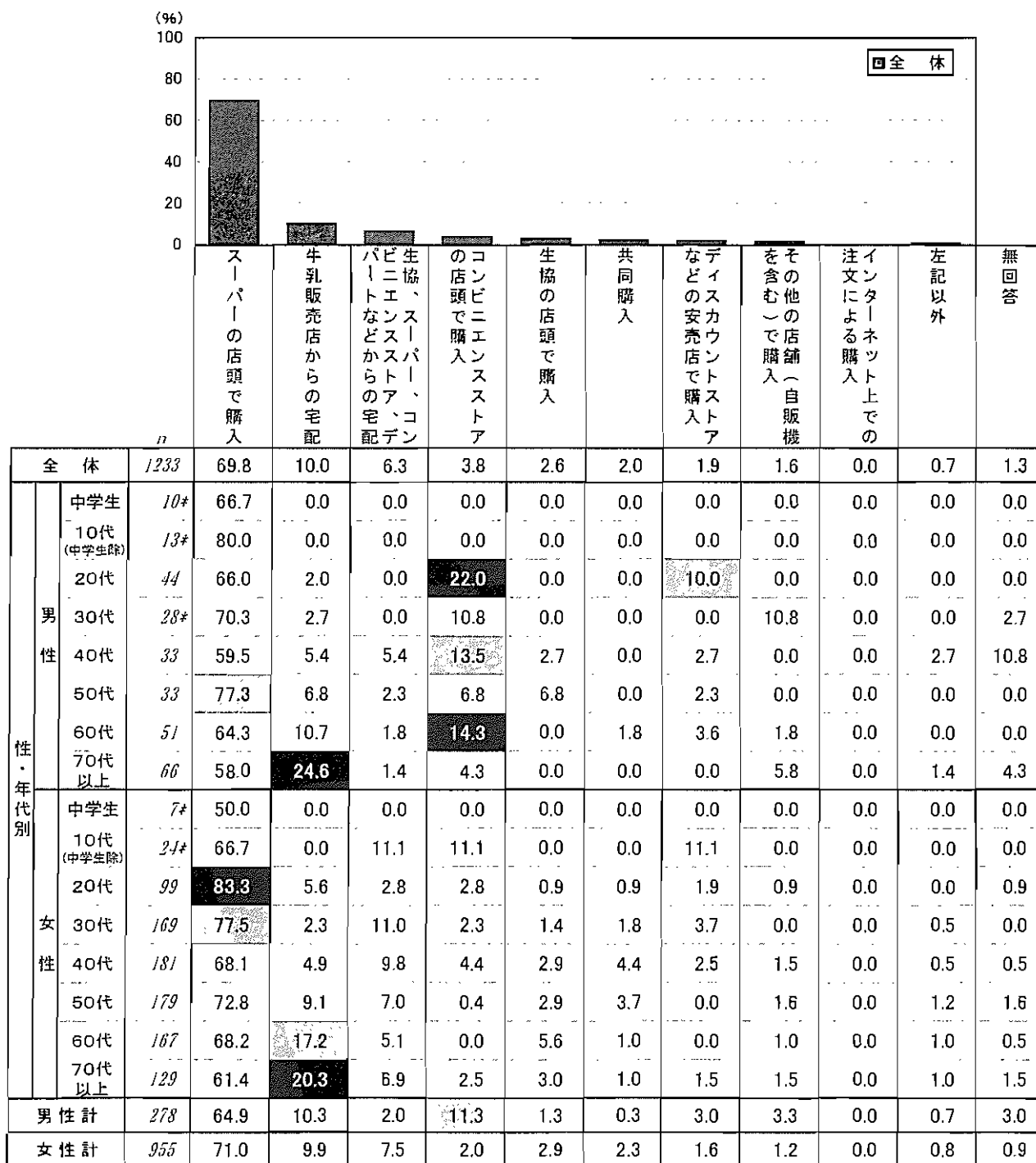
全体より10ポイント以上高い

(%)

「主に利用する場所」を性・年齢別にみると、女性の20代で「スーパーの店頭で購入」する人の割合が8割強と他の層に比べて高い。

「ふだん利用する場所」と同様、男女とも70代以上では、「牛乳販売店からの宅配」を主に利用する比率が高くなっている。男性の20代および60代では、「コンビニエンスストアの店頭で購入」する比率が他の層に比べて高い。

図表III-3-3 性・年齢別 問13(2) 白もの牛乳類の購入場所：主に利用する場所(SA/購入者ベース)



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

全体より5ポイント以上高い

全体より10ポイント以上高い

(%)

[参考] 参考に、これまでの調査での白もの牛乳類を「ふだん利用する」場所の推移をみる。

2001年以前の調査では、購入しない人も含めて世帯の主婦役割を担う人に聞いていた。

図表III-3-4 時系列 問13(1) 白もの牛乳類の購入場所:ふだん利用する場所 (MA)

	<i>n</i>	スーパーの店頭で購入	コンビニエンスストアの店頭で購入	牛乳販売店からの宅配	牛乳販売店	牛乳店の店頭	生協、スーパー、コンビニエンスストア、デパートなどからの宅配	生協の店頭で購入	ディスカウントストアなどの安売店で購入	その他の店舗（自販機を含む）で購入	共同購入	インターネット上での注文による購入	左記以外	白もの牛乳類を購入しない	無回答
2008年	1233	87.8	20.3	12.6	/	/	12.3	11.0	10.4	4.7	3.9	0.1	1.2	/	0.6
2001年	4778	82.1	24.2	17.4	/	/	6.7	/	11.3	3.3	5.6	/	/	3.3	1.0
2000年	4632	81.4	19.8	19.0	/	/	6.9	/	11.4	3.0	5.1	/	/	3.2	0.6
1999年	4476	82.0	23.0	19.6	/	/	7.6	/	10.9	3.4	5.2	/	/	3.3	0.3
1996年	4473	82.2	17.9	/	17.5	/	/	/	/	/	15.4	/	4.2	/	0.6
1995年	4405	82.3	15.1	/	20.0	/	/	/	/	/	15.4	/	4.6	/	0.9
1994年	4368	87.9	30.0	19.4	/	2.1	/	/	/	/	16.2	/	1.7	/	0.1
1993年	4330	79.3	17.9	19.4	/	1.8	/	/	/	/	16.1	/	2.2	/	0.5
1992年	4390	79.2	18.7	16.9	/	2.6	/	/	/	/	13.8	/	1.8	/	0.7
1991年	4499	80.3	17.8	18.6	/	2.1	/	/	/	/	15.7	/	2.0	/	0.2
1990年	4495	79.2	15.7	20.1	/	2.3	/	/	/	/	12.3	/	1.8	/	0.7
1989年	4294	78.9	13.8	20.2	/	2.7	/	/	/	/	12.8	/	1.7	/	0.7
1988年	4327	75.9	14.6	21.5	/	3.6	/	/	/	/	13.8	/	1.6	/	0.7
1987年	4393	75.5	11.5	21.9	/	4.2	/	/	/	/	12.9	/	2.1	/	0.7

質問：この1ヶ月の牛乳の購入場所（MA）

※斜線はデータなし
※2001年以前は、世帯の主婦役割を担う人が回答

(%)

[参考] これまでの調査での「主に利用する場所」の推移は下表の通り。

図表III-3-5 時系列 問13(2) 白もの牛乳類の購入場所:主に利用する場所 (SA)

		スーパーの店頭で購入	牛乳販売店からの宅配	生協、スーパー、コンビニエンスストア、デパートなどからの宅配	コンビニエンスストアの店頭で購入	生協の店頭で購入	共同購入	ディスカウントストアなどの安売店で購入	その他の店舗(自販機を含む)で購入	インターネット上での注文による購入	左記以外	白もの牛乳類を購入しない	無回答
	<i>n</i>												
2008年	1233	69.8	10.0	6.3	3.8	2.6	2.0	1.9	1.6	0.0	0.7		1.3
2001年	4778	65.8	12.5	3.8	3.6	3.9	3.3		1.2			3.3	2.5
2000年	4632	65.8	13.5	4.3	2.7	3.5	3.2		1.2			3.2	2.5
1999年	4476	65.8	13.6	4.6	3.0	3.6	3.3		1.2				4.9

※斜線はデータなし

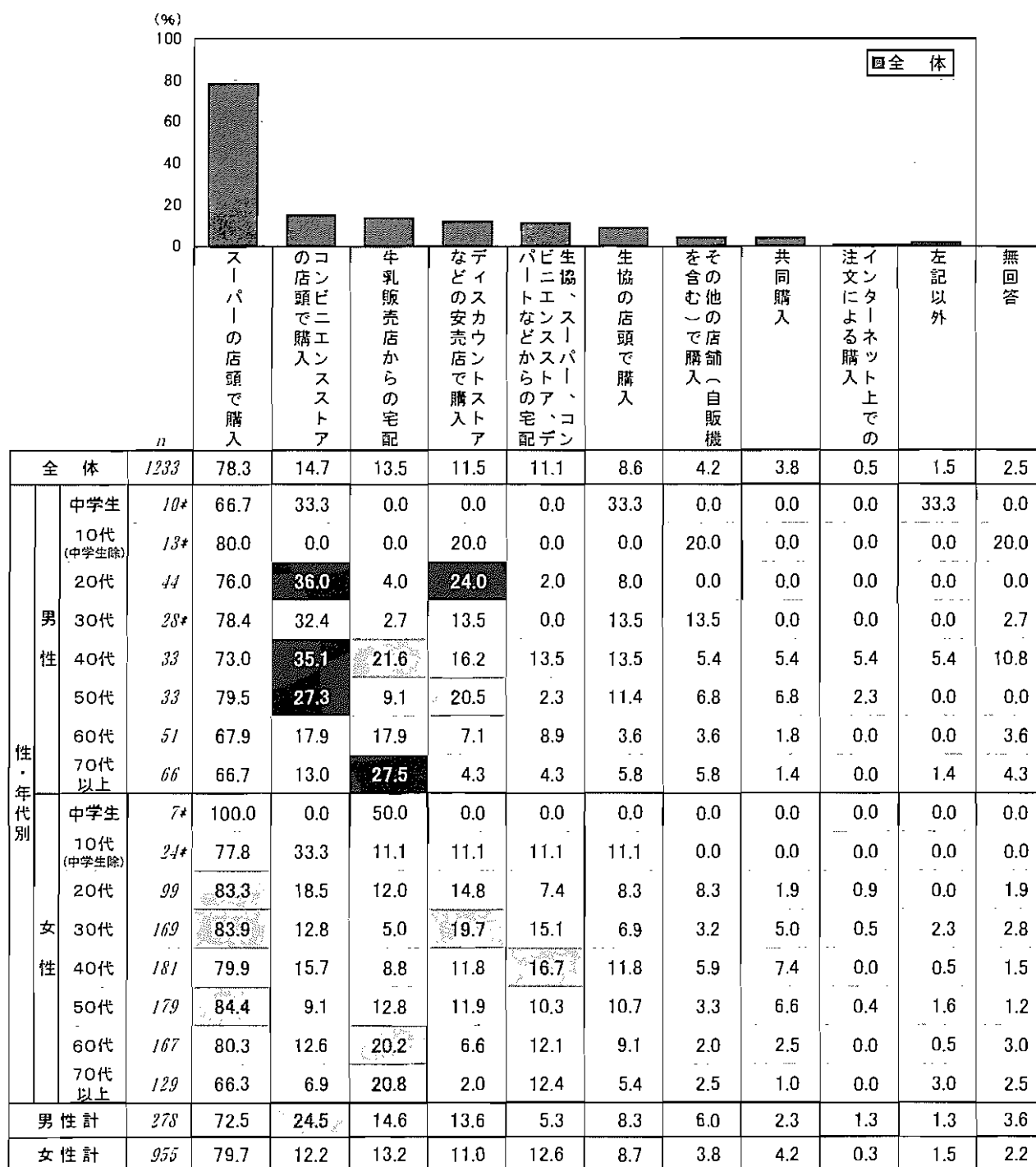
※2001年以前は、世帯の主婦役割を担う人が回答

(%)

「今後も（あるいは新たに）利用したい場所」を性・年齢別にみると、男性の20代および40～50代では、「コンビニエンスストアの店頭で購入」が、他の層に比べて高くなっている。男性20代は「ディスカウントストアなどの安売店で購入」したいとする割合も高い。

男性70代以上では、「牛乳販売店からの宅配」で比率が高い。

図表Ⅲ-3-6 性・年齢別 問13(3) 白もの牛乳類の購入場所：今後も／新たに利用したい場所(MA／購入者ベース)



n(サンプル数)の*は、n<30を表す。

n(サンプル数)が30以上の場合、

全体より5ポイント以上高い

全体より10ポイント以上高い

(%)

IV 白もの牛乳類の値上がりについての認識

白もの牛乳類が値上がりしたことについて、どのくらい値上がりしたと感ずるかたずねた。

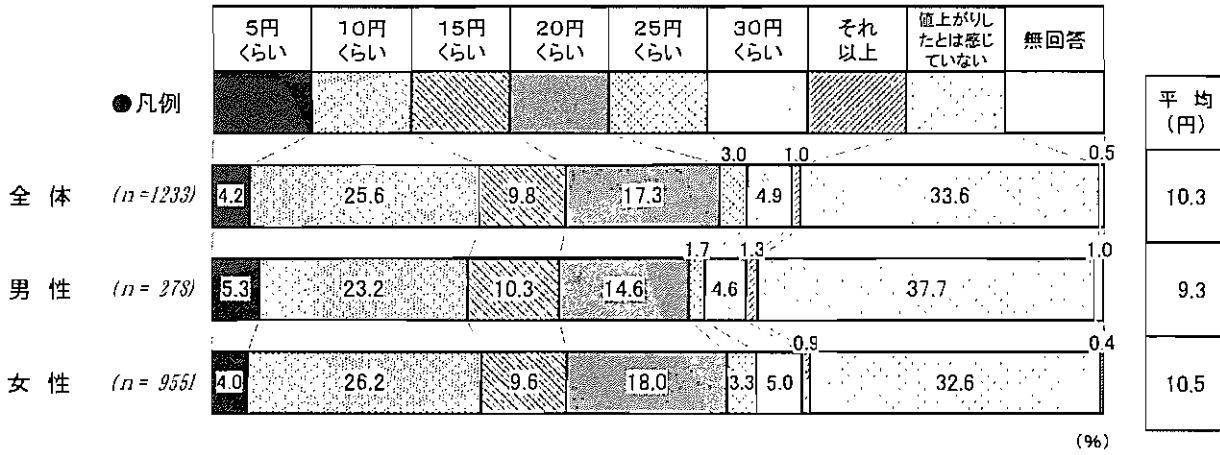
全体では、「値上がりしたとは感じていない」人が34%と最も多く、値上がりしたと感ずる人では、「10円くらい」が最も多く26%、「20円くらい」は17%であった。「値上がりしたとは感じていない」人の割合は男性で38%と女性（33%）を5ポイント上回る。

値上がりしたと感ずている人の行動をみると、全体の66%が「これまでと変わらない」とし、特に男性では7割強である。「購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた」人は全体の24%。

「牛乳以外の飲み物を購入し、代用している」人が代わりに購入しているものは、「野菜ジュース」が4割強と最も多い。

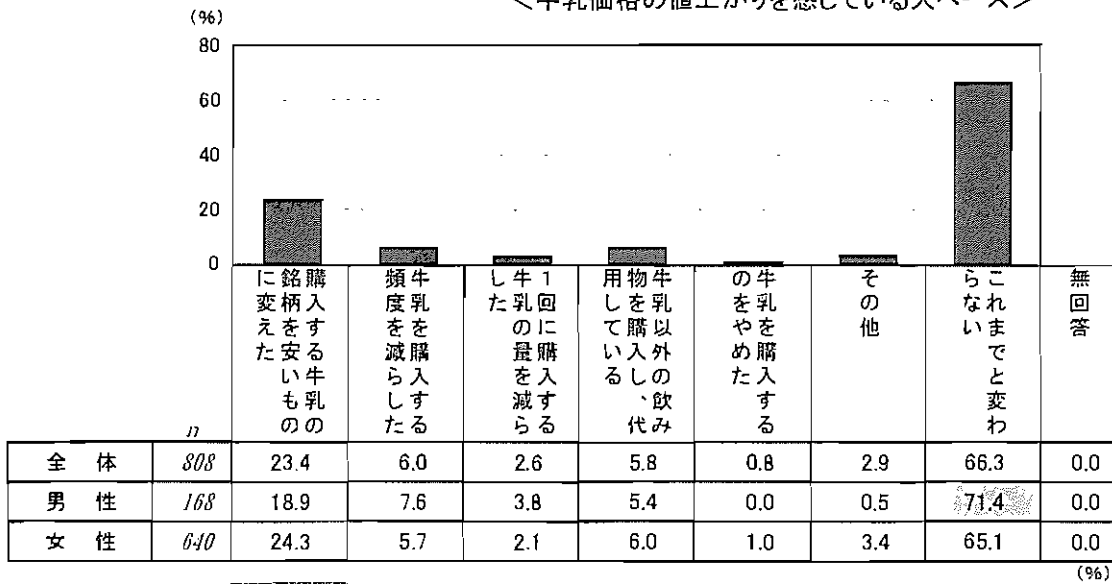
図表IV-1 性別 問14 値上がりしたと感ずる価格

＜白もの牛乳類本人購入者ベース＞



図表VI-2 性別 問15 値上がりしたことによる行動 (MA)

＜牛乳価格の値上がりを感じている人ベース＞



図表VI-3 全体 問16 牛乳の代わりに購入している飲み物 (MA)

＜牛乳以外の飲み物を購入、代用している人ベース＞

	n	色 もの 乳飲 料	ド リ ン ク ヨ ー グ ル ト	乳 酸 菌 飲 料	果 汁 飲 料	野 菜 ジ ュ ー ス	豆 乳	炭 酸 飲 料	コ ー ヒ ー	紅 茶	無 糖 の お 茶 飲 料	ス ポ ー ツ 飲 料	栄 養 ・ 機 能 性 飲 料	ミ ネ ラ ル ウ オ ー タ ー	こ の 中 に は な い	無 回 答
全体	51	28.1	26.3	38.6	26.3	42.1	28.1	14.0	17.5	10.5	26.3	28.1	12.3	17.5	1.8	0.0

(%)

V ふだん購入する飲み物・乳製品

1. ふだん購入する飲み物・乳製品

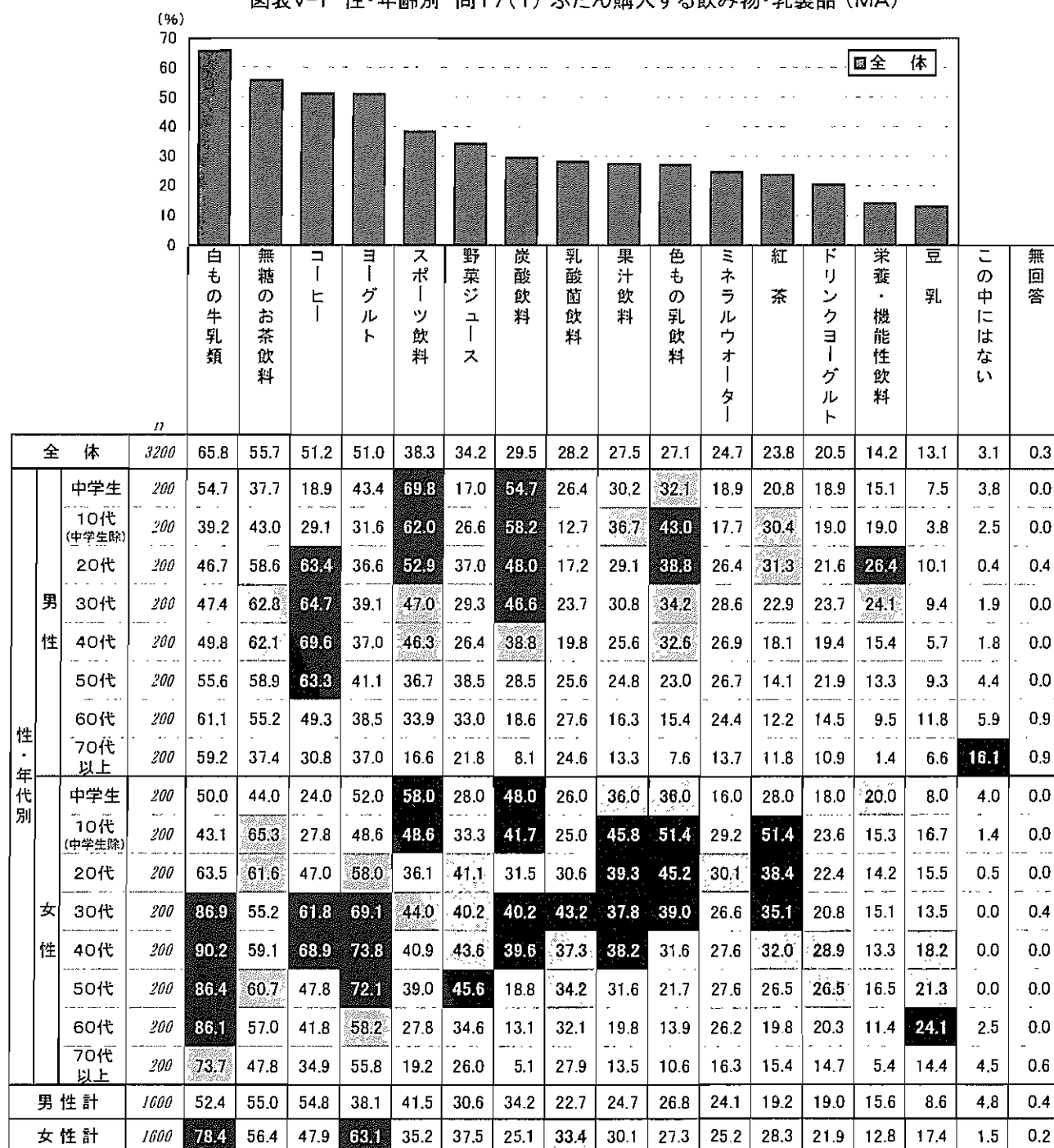
ふだん購入する飲み物・乳製品についてみると、全体では、「白もの牛乳類」が66%で最も多く、「無糖のお茶飲料」は56%。「コーヒー」「ヨーグルト」も5割強が多い。

男女別にみると、女性では「白もの牛乳類（78%）」「ヨーグルト（63%）」と、牛乳・乳製品を購入する比率が男性に比べて高い。

性・年齢別には、男性の20代以下と女性の中学生を含む10代以下の若い層で、「スポーツ飲料」を購入する比率が高い。男性30代以下と女性の中学生を含む10代および30～40代では、「炭酸飲料」もふだんよく購入される傾向である。

女性の30～40代では、ふだん購入する飲み物・乳製品の種類が、どの層よりも多くなっている。

図表V-1 性・年齢別 問17(1) ふだん購入する飲み物・乳製品 (MA)



全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

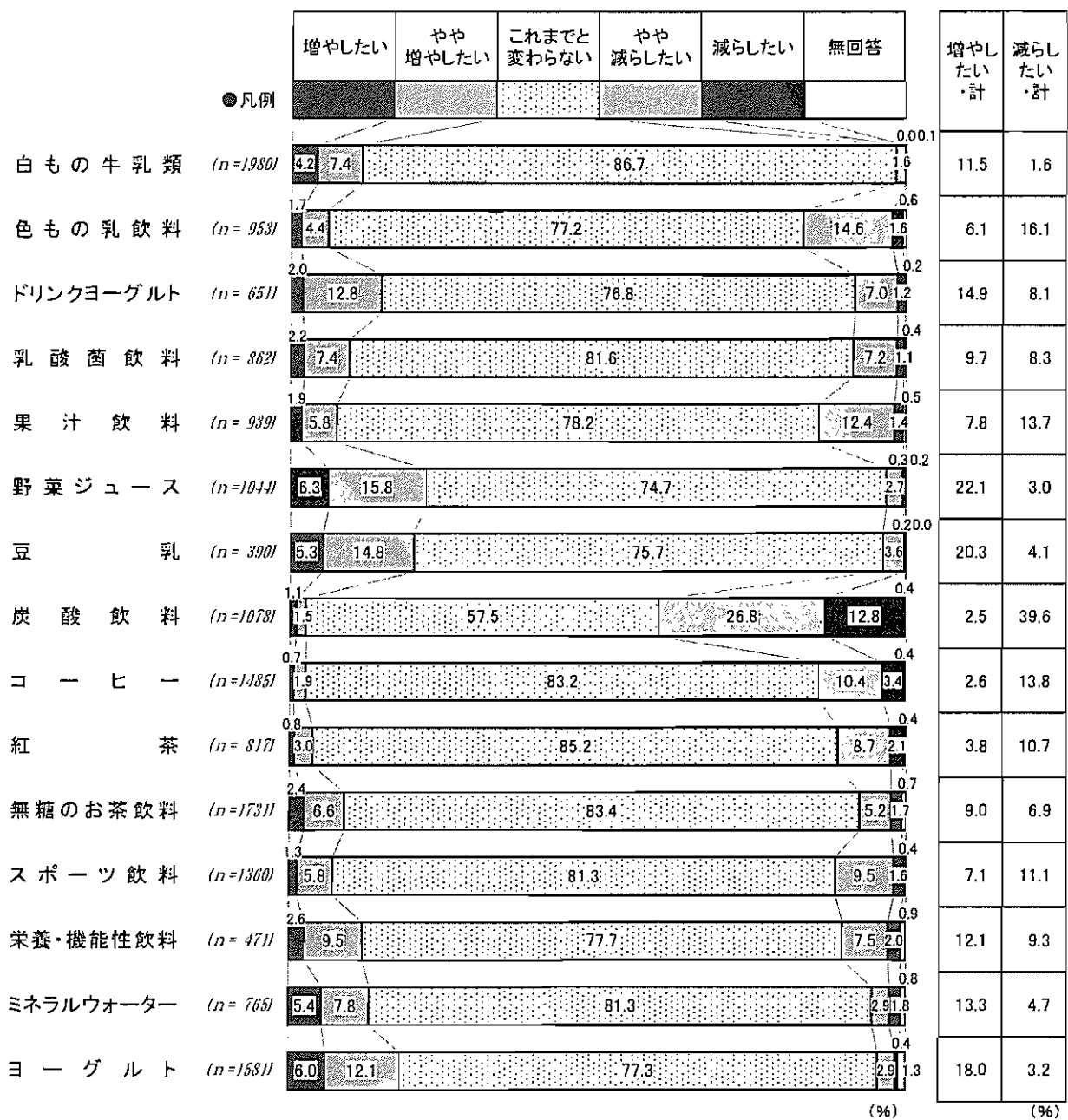
2. 今後購入する量を増やしたいと思う飲み物・乳製品

ふだん購入する飲み物・乳製品について、今後購入する量を増やしたいかあるいは減らしたいかたずねた。

「白もの牛乳類」を「増やしたい」人は4%、「やや増やしたい」人は7%で、合わせて1割強が増やしたい意向である。

増やしたい計（「増やしたい」＋「やや増やしたい」）でみると、「野菜ジュース」と「豆乳」が2割強と他の飲料に比べて高めで、「ヨーグルト」も2割に近い。一方、減らしたい計（「減らしたい」＋「やや減らしたい」）でみると、「炭酸飲料」では4割に達し、他の飲料・乳製品よりも高い比率となっている。

図表V-2 問17(2) 今後購入する量を増やしたいと思う飲み物・乳製品



VI ふだんよく飲む飲み物

1. ふだんよく飲む飲み物

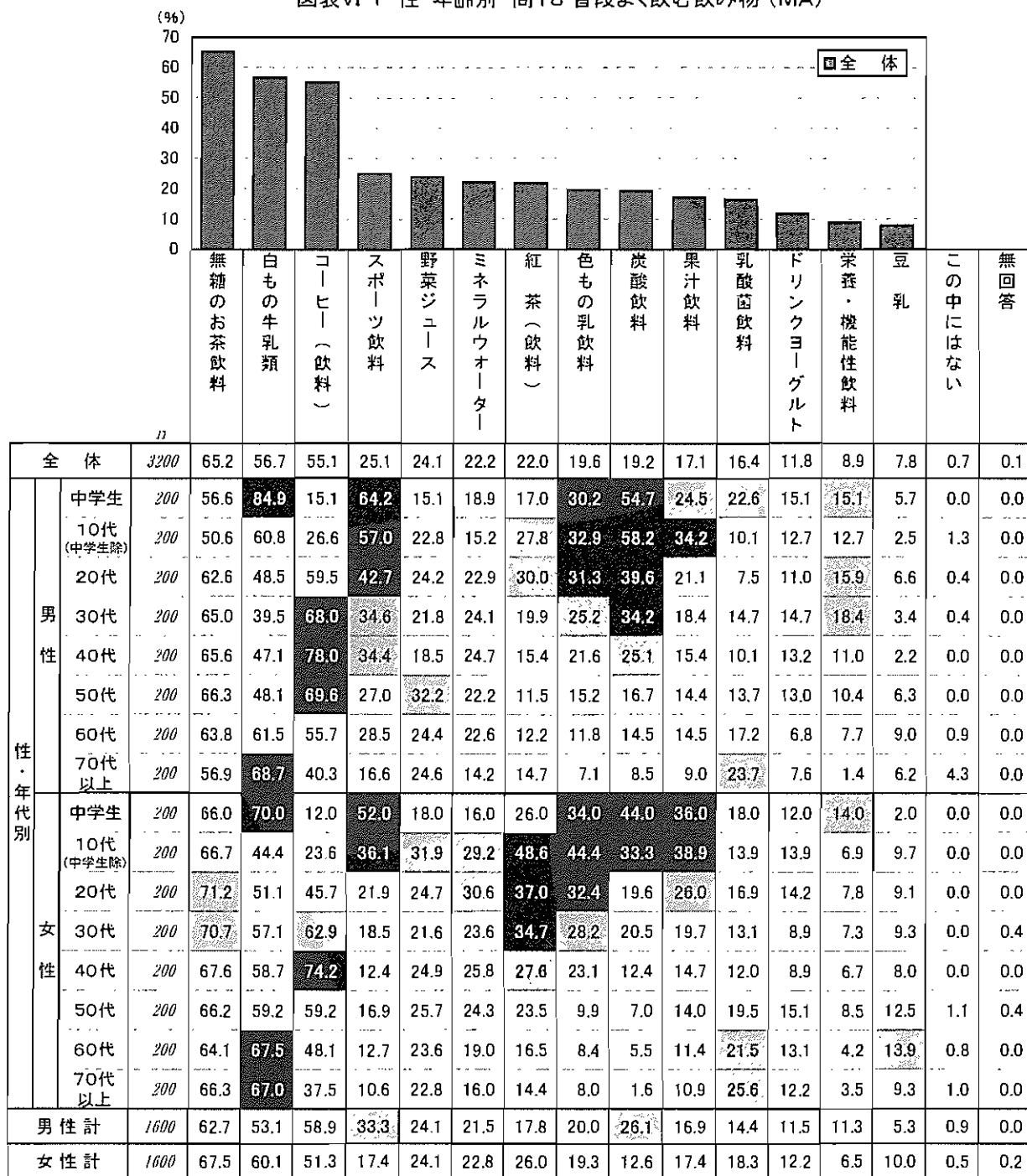
ふだんよく飲用する飲み物の種類を聞いた。

全体では「無糖のお茶飲料」が65%と、他の飲み物に比べ最も高く、次いで「白もの牛乳類」が57%、「コーヒー（飲料）」が55%となっている。

性・年齢別にみると、男女とも中学生と、男性70代以上および女性60代以上の年齢の高めの層で「白もの牛乳類」の比率が高い。男性では、20代以下で「スポーツ飲料」「色もの乳飲料」がよく飲まれる傾向。30代以下の層では「炭酸飲料」の比率も高い。女性の年齢別にも、「スポーツ飲料」「色もの乳飲料」については同様の傾向がみられるが、「炭酸飲料」は中学生を含む10代での比率が高い。

男性30～50代および女性40代は、「コーヒー（飲料）」をふだん飲む傾向がみられる。女性の中学生を除く10代～30代では、「紅茶（飲料）」もよく飲まれている。

図表VI-1 性・年齢別 問18 普段よく飲む飲み物 (MA)



全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

(%)

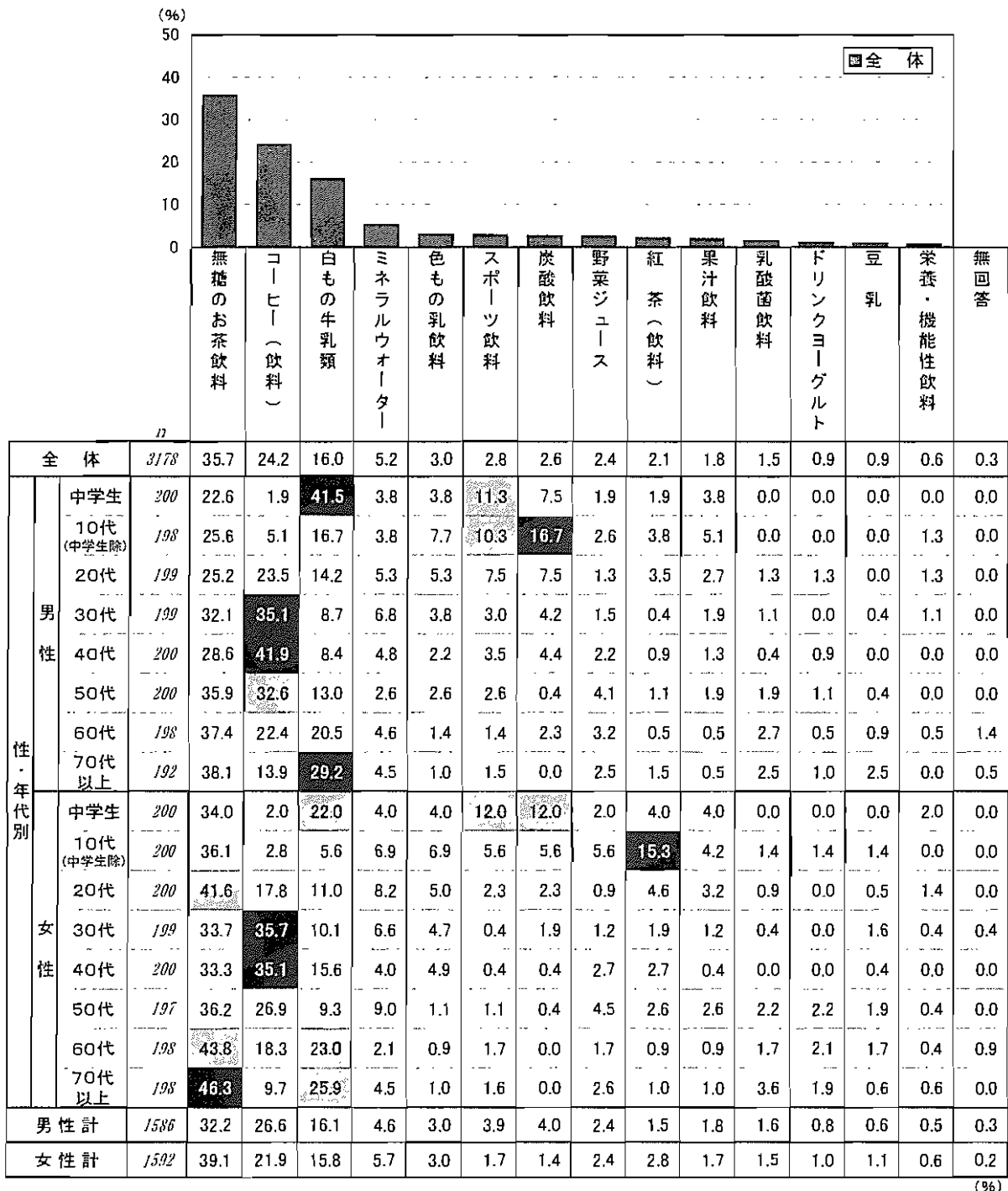
2. ふだん最もよく飲む飲み物

ふだんよく飲用する飲み物の中で最もよく飲むものを聞いた。

全体では「無糖のお茶飲料」が36%で最も多く、次いで「コーヒー（飲料）（24%）」「白もの牛乳類（16%）」の順に多くなっている。

性・年齢別にみると、女性の70代以上で「無糖のお茶飲料」の比率が全体より10ポイント以上高い。男女とも、30～40代では「コーヒー（飲料）」の比率が高くなっている。男性の中学生および70代以上の層では、「白もの牛乳類」を最もよく飲む比率が他の層に比べて高い。

図表VI-2-1 性・年齢別 問19 最もよく飲む飲み物 (SA)



全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

参考に、普段よく飲む飲み物を2007年と比べると、「白もの牛乳類」が5ポイントほど伸びている一方で、「色もの乳飲料」「コーヒー（飲料）」は5～6ポイントの減少。「無糖のお茶飲料」では9ポイントの減少となっている。

また、最もよく飲む飲み物についても2007年と比べると、「白もの牛乳類」が5ポイントほどの伸びを示しているが、「無糖のお茶飲料」は7ポイントほどの減少となっている。

図表VI-2-2 時系列 問18 普段よく飲む飲み物 (MA)

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー（飲料）	紅茶（飲料）	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	この中にはない	無回答
2008年	3200	56.7	19.6	11.8	16.4	17.1	24.1	7.8	19.2	55.1	22.0	65.2	25.1	8.9	22.2	0.7	0.1
2007年	3486	51.5	24.6	13.9	18.7	19.1	27.3	9.0	16.6	61.2	24.9	74.5	25.9	9.9	25.4	0.2	0.1
2006年	3473	49.5	/	15.4	19.0	18.4	23.2	9.9	15.4	61.1	22.5	72.9	23.9	10.2	20.8	0.6	0.1
2005年	3896	64.0	/	22.7	/	27.2	29.7	18.2	20.5	63.4	31.2	85.2	32.1	/	29.4	0.4	0.1
2002年	4277	67.9	/	19.5	/	28.2	28.3	9.9	24.0	64.0	34.2	86.3	32.9	/	30.7	0.3	0.1

※斜線はデータなし

(%)

※02年、05年は、06年・07年・08年とは質問形式が異なる

図表VI-2-3 時系列 問19 最もよく飲む飲み物 (SA)

	n	白もの牛乳類	色もの乳飲料	ドリンクヨーグルト	乳酸菌飲料	果汁飲料	野菜ジュース	豆乳	炭酸飲料	コーヒー（飲料）	紅茶（飲料）	無糖のお茶飲料	スポーツ飲料	栄養・機能性飲料	ミネラルウォーター	無回答
2008年	3178	16.0	3.0	0.9	1.5	1.8	2.4	0.9	2.6	24.2	2.1	35.7	2.8	0.6	5.2	0.3
2007年	3475	10.8	3.1	1.0	1.1	1.0	2.8	1.1	1.8	22.5	2.4	42.3	2.8	0.6	5.9	0.7
2006年	3478	11.8	/	0.9	1.5	1.3	1.5	1.2	2.4	26.5	2.5	40.2	2.4	1.0	5.5	1.2
2005年	3877	15.4	/	0.6	/	0.9	1.9	1.2	1.1	20.6	2.0	49.1	2.3	/	4.8	0.1
2002年	4259	15.2	/	0.5	/	1.5	1.3	0.3	2.0	21.6	1.6	51.2	1.8	/	2.5	0.5

※斜線はデータなし

(%)

※02年、05年の「最もよく飲む飲み物」は、ふだんよく飲む飲み物がある人ベース

※02年、05年は、06年以降とは質問形式が異なる

VII 白物の牛乳類のベネフィットについての認識

1. 白物の牛乳類のベネフィットについての認識

「この半年くらいの間に見たり聞いたりしたもの」「そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳」についてたずねた。

見聞きしたことがあるものは、「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が6割近くで最も多く、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子どもの身長伸びを助ける」が5割弱が多い。

「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものでは、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」「牛乳には、カルシウムはたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」が4割強が多い。全般的に、カルシウムに関連するニーズが高い様子が見える。

「牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある」を見聞きした人は4%ほどであるが、3割程度の人が見聞きしたとしており、注目に値する。

図表VII-1-1 問23 見聞きしたことのある白物の牛乳類のベネフィットとニーズ(MA)

問23(1) 白物の牛乳類に関してこの半年に見聞きしたもの (MA)	(N=3200)	問23(2) そういったよいことがあるなら飲んでもよい牛乳 (MA)
58.4	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	43.4
48.6	牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている	44.0
47.2	牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子どもの身長伸びを助ける	26.2
28.0	牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる	28.2
22.8	牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい	34.7
14.9	牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる	28.1
11.9	牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し有害物質の発生を防ぐ	30.2
9.5	牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる	28.3
7.9	牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある	21.9
7.0	牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある	18.6
3.7	牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある	29.3
3.5	牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める	19.4
21.2	ひとつもない	15.3

(%)

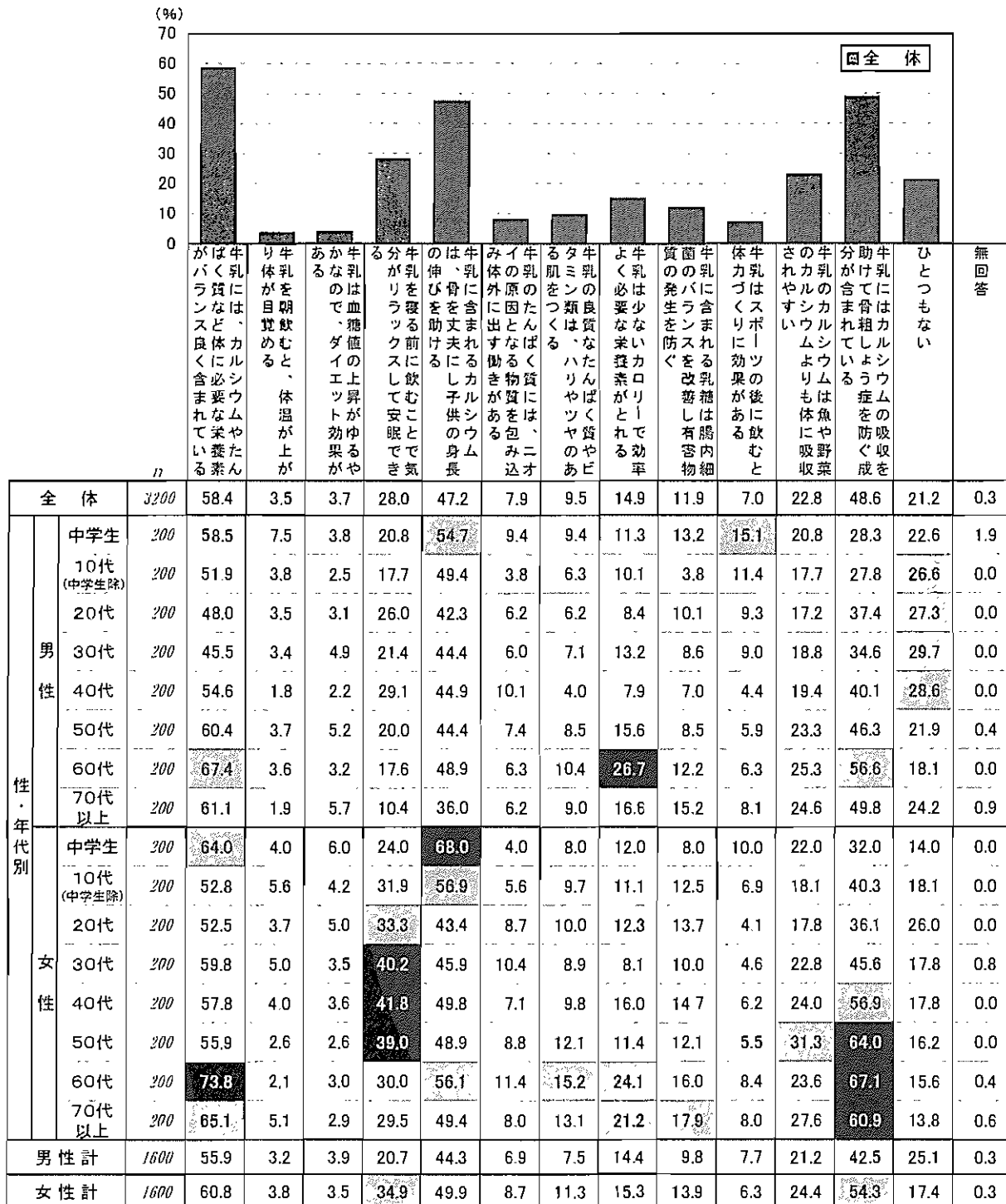
2. 見聞きしたことのある白もの牛乳類のベネフィット

白もの牛乳類に関してこの半年くらいの間に見たり聞いたりしたものについて、性・年齢別にみると、女性30～50代では、「牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる」が4割前後で他の層に比べて高い。

女性の50代以上の年齢の高めの層では、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」が6割台で全体よりも10ポイント以上高い。

男性の中学生を除く10代から40代までの層では、白もの牛乳類に関してこの半年くらいの間に見たり聞いたりしたことが「ひとつもない」と回答した人が、他の層に比べてやや多い。

図表VII-1-2 性・年齢別 問23(1) 白もの牛乳類に関してこの半年に見聞きしたもの(MA)



全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

(%)

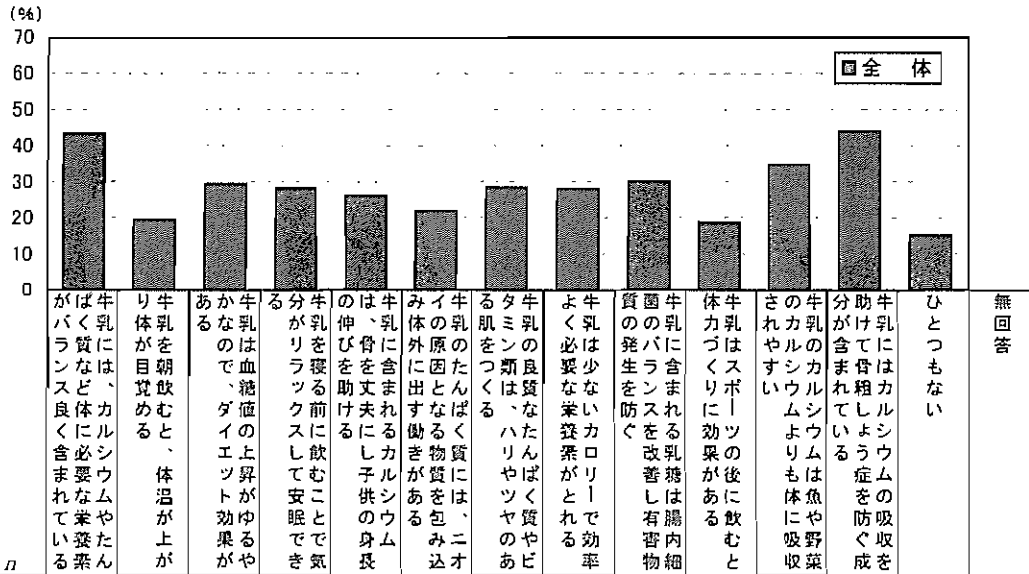
2. 白もの牛乳類についてのニーズ

「そういうよいことがあるなら飲んでもよい」と思う牛乳について、男女別にみると、女性では、「牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる」が4割で男性(16%)よりも25ポイントほど高い。

性・年齢別にみると、女性の中学生を除く10代から40代にかけては、美肌効果とダイエット効果に関するものの比率が他の層に比べて高い。女性の40～60代では、骨粗しょう症に関するニーズが高いことがうかがえる。

また、男女とも中学生と、男性の中学生を除く10代では、「牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長を助ける」「牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある」で比率が高い。

図表VII-2-1 性・年齢別 問23(2) そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳(MA)



		全体	3200	43.4	19.4	29.3	28.2	26.2	21.9	28.3	28.1	30.2	18.6	34.7	44.0	15.3	0.9
性・年齢別	男性	中学生	200	49.1	30.2	13.2	28.3	56.6	15.1	9.4	28.3	24.5	50.9	32.1	24.5	7.5	1.9
		10代(中学生除)	200	38.0	22.8	16.5	25.3	40.5	17.7	11.4	21.5	19.0	39.2	26.6	22.8	15.2	1.3
		20代	200	37.4	24.7	25.6	33.5	22.5	27.8	19.8	27.8	29.5	27.3	30.0	30.0	19.4	1.3
		30代	200	40.2	24.1	22.9	28.9	30.8	23.7	15.4	26.3	28.9	25.6	35.3	36.8	19.2	0.4
		40代	200	36.1	28.6	33.0	32.6	24.2	25.1	20.7	26.0	34.8	25.1	36.1	40.5	15.0	2.2
		50代	200	42.6	8.5	28.9	25.9	18.1	18.5	12.6	22.6	28.5	11.9	30.7	35.6	18.1	1.1
		60代	200	45.2	14.9	21.7	24.0	17.2	17.6	16.3	27.1	26.7	12.7	30.8	43.4	19.9	0.5
		70代以上	200	46.4	9.5	10.9	17.5	21.3	9.5	11.8	25.1	20.4	9.0	25.1	44.1	28.0	0.5
		女性	中学生	200	40.0	18.0	30.0	26.0	50.0	20.0	32.0	30.0	16.0	32.0	26.0	24.0	10.0
	10代(中学生除)		200	38.9	31.9	51.4	36.1	30.6	27.8	44.4	33.3	26.4	27.8	30.6	33.3	9.7	0.0
	20代		200	41.6	32.9	51.1	33.8	25.1	30.1	50.7	32.0	35.6	21.5	38.8	41.6	10.5	0.5
	30代		200	39.4	27.0	44.4	29.3	34.0	31.3	52.5	32.8	36.7	22.8	42.9	49.0	7.7	0.4
	40代		200	48.4	26.7	47.6	32.0	35.1	35.1	56.9	36.9	44.0	23.1	46.7	57.8	7.6	0.0
	50代		200	45.2	16.2	37.9	27.6	19.9	22.4	38.2	27.6	33.5	10.3	36.8	55.9	9.2	0.4
	60代		200	54.0	10.5	19.8	26.6	26.6	16.0	29.5	30.0	30.0	12.2	37.6	59.5	15.2	2.5
	70代以上		200	45.8	7.7	12.5	25.6	21.8	10.6	21.2	25.3	24.0	6.1	31.7	50.0	18.6	1.0
男性計	1600	41.4	19.0	23.4	27.2	24.6	20.3	15.6	25.6	27.7	20.8	31.3	36.9	19.1	1.0		
女性計	1600	45.3	19.9	34.9	29.2	27.7	23.6	40.3	30.5	32.6	16.5	37.8	50.7	11.6	0.8		

全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

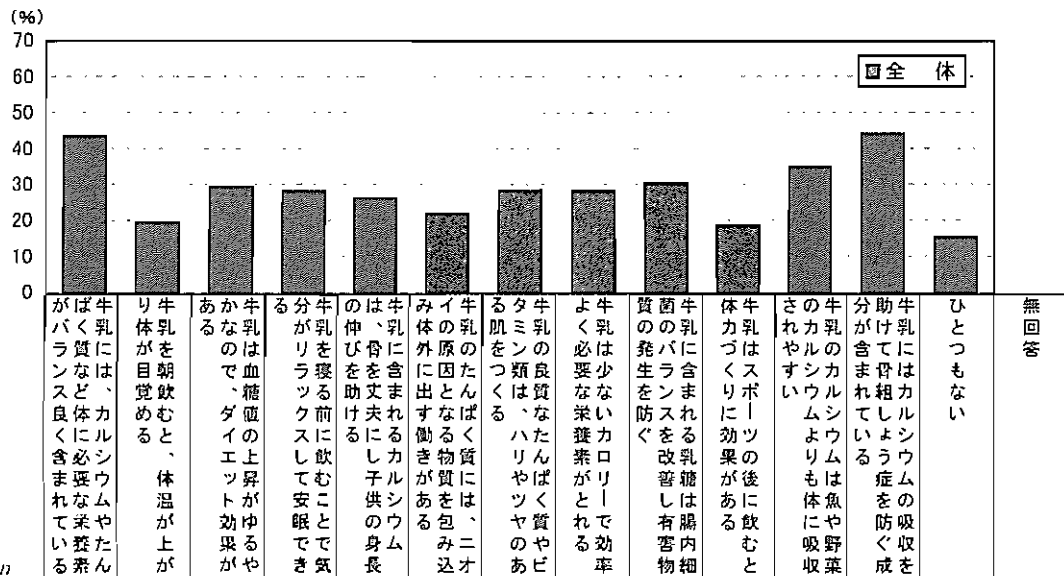
(96)

「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものについて、飲用行動別にみてる。

飲用パターン別には、多様な飲み方をしている人ほど、飲んでもよいと思うものが多い傾向。また、この1年間に白もの牛乳類の飲用量が増えた人でも同様の傾向がみられる。

非飲用者では、56%が「ひとつもない」としているが、「牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている」では2割ほど、「牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている」でも1割強の人が飲んでもよいとしている。

図表VII-2-2 飲用行動別 問23(2) そういうよいことがあるなら飲んでもよい牛乳(MA)



	人数	たんぱく質やカルシウムが豊富に含まれている	カルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている	カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	ひとつもない	無回答
全体	3200	43.4	19.4	29.3	28.2	26.2	21.9	28.3	28.1	30.2	18.6	34.7	44.0	15.3	0.9	
飲用頻度	飲用者・計	2851	47.2	21.3	32.1	30.8	28.8	24.1	31.1	30.8	32.9	20.1	37.7	47.3	9.7	0.8
	毎日飲用	1209	51.7	21.5	33.0	32.3	30.7	24.1	34.8	33.6	33.8	19.7	40.7	49.7	7.7	0.8
	週1~6日	1192	48.3	23.0	32.5	32.4	29.9	27.4	30.8	32.0	35.4	22.6	38.9	49.1	8.9	0.5
	月に2~3日以下	450	33.7	17.0	28.8	23.5	21.5	16.2	23.1	21.3	24.9	15.3	28.0	37.2	16.6	1.4
	非飲用者	349	15.1	5.5	9.7	9.1	7.0	6.3	7.3	8.6	10.2	7.3	11.7	19.8	55.9	1.6
飲用パターン	そのまま&混ぜて&入れて&かけて	135	46.9	31.6	40.8	34.7	32.7	33.7	42.9	34.7	38.8	33.7	39.8	44.9	4.1	0.0
	そのまま&混ぜて&入れて併用	62	45.3	28.1	37.5	31.3	25.0	17.2	35.9	32.8	26.6	23.4	39.1	42.2	10.9	0.0
	そのまま飲用のみ	757	47.3	17.5	25.3	25.6	26.1	17.7	19.9	29.4	28.4	14.0	35.1	46.0	12.0	1.6
1年間の飲用量	増加	370	52.6	30.1	42.2	38.6	34.6	29.1	44.4	36.9	35.0	27.5	45.1	49.3	4.6	0.3
	変化なし	2059	48.2	19.3	30.6	30.2	28.7	23.2	29.1	30.2	33.4	19.1	37.0	48.4	10.3	0.7
	減少	437	37.5	24.1	30.2	27.6	24.8	24.1	30.2	28.8	27.9	20.1	34.7	40.7	11.2	0.9

全体より 5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

(%)

VIII 乳製品の飲食実態

1. ヨーグルトの飲食状況

1) ヨーグルトの飲食頻度

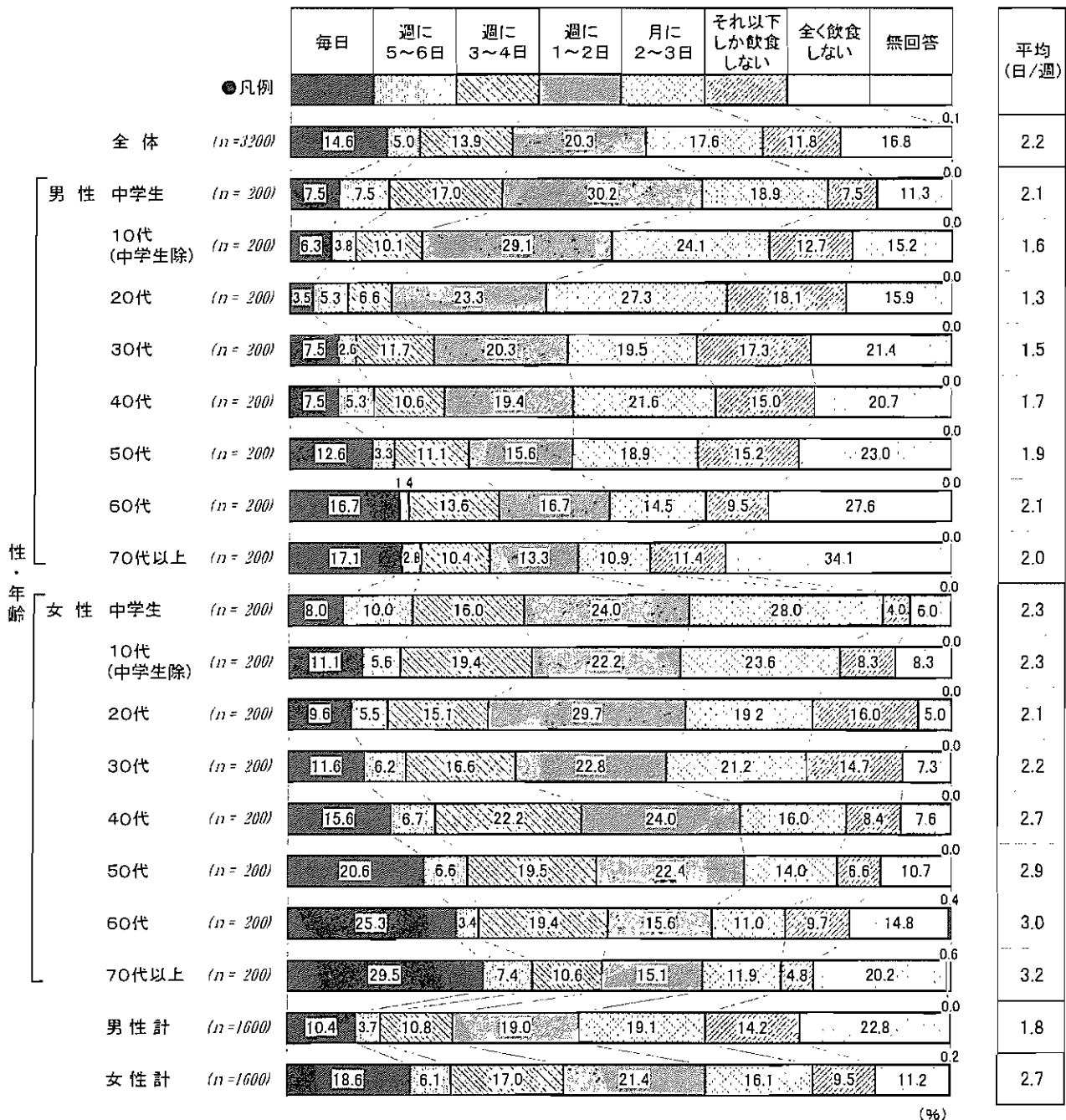
日頃どのくらいの頻度でヨーグルトを飲食するかを聞いた。

「毎日」食べる人は15%であり、週に1～6日べる人は4割を占める。一方「全く食べない」という人は17%である。

性・年齢別にみると、女性の50代以上で「毎日」食べる比率が2割～3割と他の層に比べて高い。

週あたり平均でヨーグルトを食べる日数は、2.2日である。

図表VIII-1-1 性・年齢別 問20 日頃、ヨーグルトを飲食する頻度



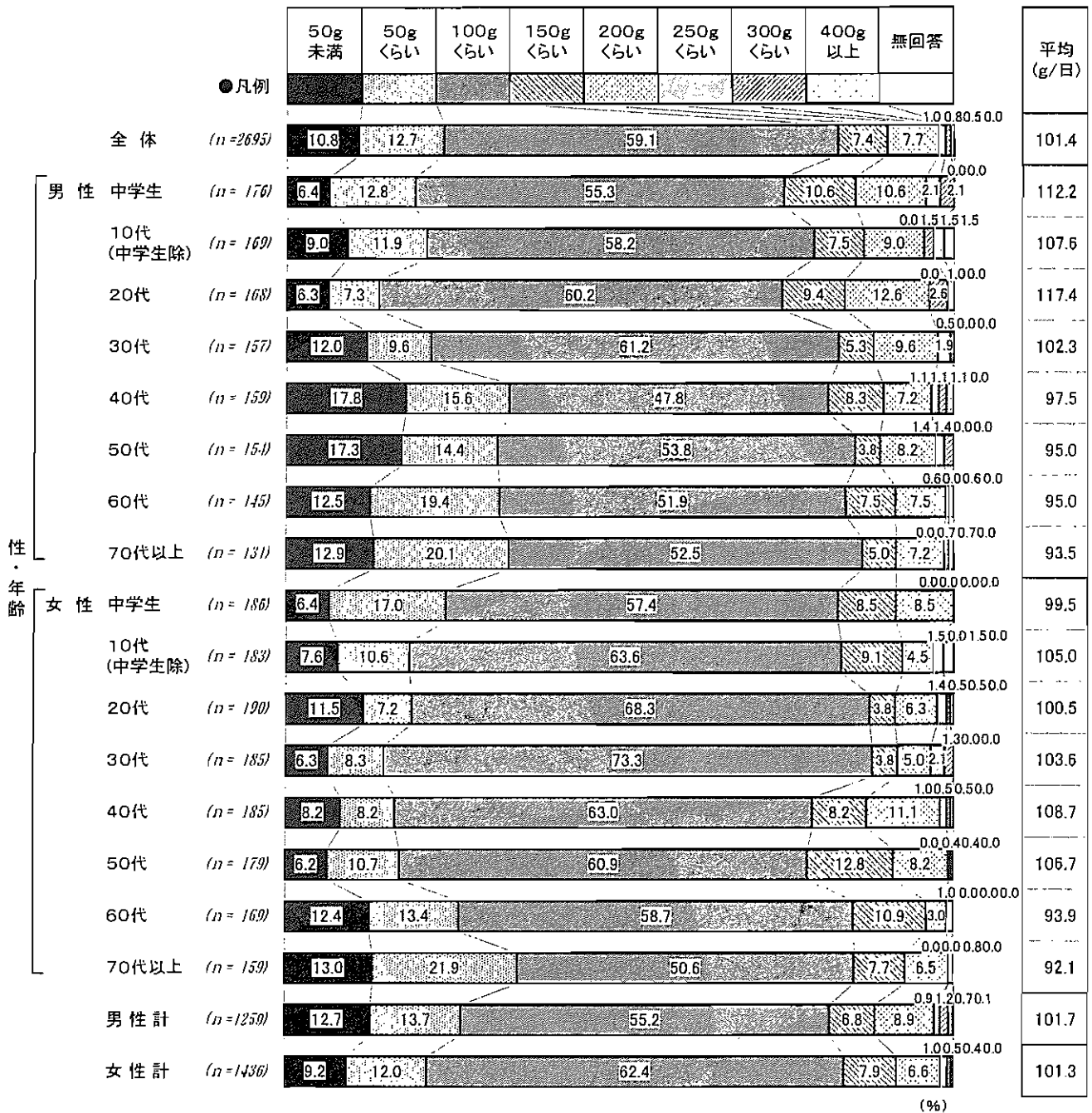
2) ヨーグルトの飲食物

ヨーグルトを食べる（飲む）ときの一日の飲食物を聞いた。

全体では「100gくらい」と答えた人が6割を占め、平均では一日に合計101gとなっている。

性・年齢別には、男女とも、若い層での平均飲食物量が比較的多い傾向である。

図表VIII-1-2 性・年齢別 問21 ヨーグルトを飲食するとき1日に飲食する量 <飲食者ベース>



3)ヨーグルトのタイプ

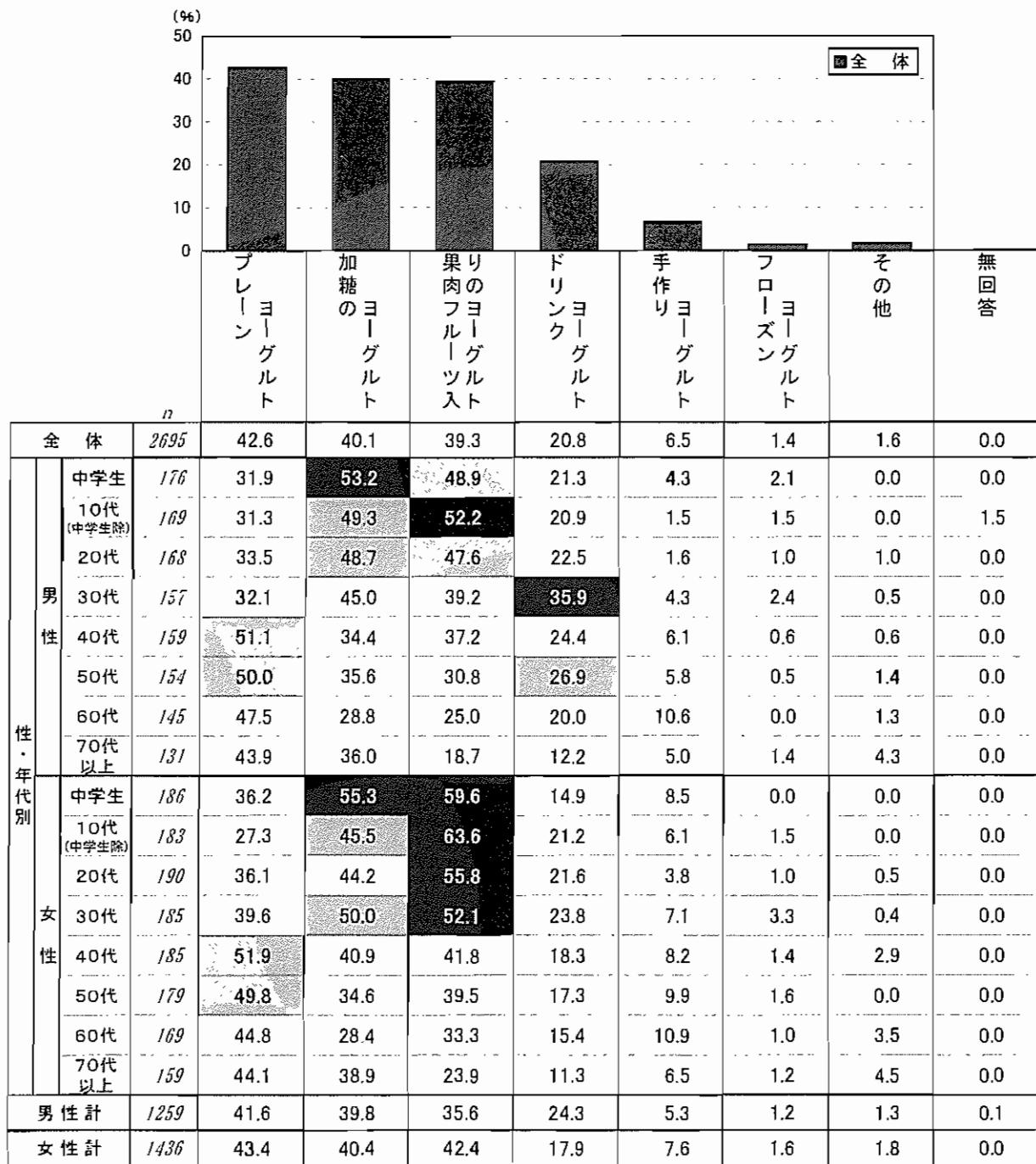
ヨーグルトを飲食する人に、どのようなタイプのヨーグルトを飲食することが多いかを聞いた。

「プレーンヨーグルト」が43%、「加糖のヨーグルト」が40%、「果肉フルーツ入りのヨーグルト」が39%となっている。

性・年齢別にみると、男女とも、「加糖のヨーグルト」「果肉フルーツ入りのヨーグルト」は比較的若い層での飲食率が高く、「プレーンヨーグルト」は中高年での飲食率が高い傾向が見られる。

男性30代では、「ドリンクヨーグルト」の比率が他の層に比べて高い。

図表VIII-1-3 性・年齢別 問22 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>



全体より 5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

2007年と比較して、ヨーグルトの飲食状況に大きな変化はみられない。

図表VIII-1-4 時系列 問20 日頃ヨーグルトを飲食する頻度

	n	毎日 食べる/ 飲む	週に5~6日 食べる/ 飲む	週に3~4日 食べる/ 飲む	週に1~2日 食べる/ 飲む	月に2~3日 食べる/ 飲む	それ以下 しか飲食 しない	全く 飲食しない	無回答
2008年	3200	14.6	5.0	13.9	20.3	17.6	11.8	16.8	0.1
2007年	3486	15.2	5.2	13.4	20.9	18.1	10.7	16.4	0.1
2006年	3478	16.3	5.6	13.1	19.1	17.6	10.4	17.7	0.1
2005年	3896	16.5	5.8	15.3	21.0	17.7	9.0	14.6	0.1

(%)

図表VIII-1-5 時系列 問21 ヨーグルトを飲食するときに1日に飲食する量 <ヨーグルト飲食者ベース>

	n	50g未満	50gくらい	100gくらい	150gくらい	200gくらい	250gくらい	300gくらい	400g以上	無回答
2008年	2695	10.8	12.7	59.1	7.4	7.7	1.0	0.8	0.5	0.0
2007年	2910	8.0	11.5	59.6	8.6	8.7	1.8	0.9	0.6	0.2
2006年	2858	7.3	9.7	60.1	9.6	9.4	1.7	1.2	0.8	0.2
2005年	3324	7.8	9.9	61.4	8.3	9.3	1.6	0.8	0.6	0.2

(%)

図表VIII-1-6 時系列 問22 飲食するヨーグルトのタイプ (MA) <ヨーグルト飲食者ベース>

	n	プレーン ヨーグルト	加糖の ヨーグルト	果肉フルー ツ入りのヨー グルト	ドリンク ヨーグルト	手作り ヨーグルト	フローズン ヨーグルト	その他	無回答
2008年	2695	42.6	40.1	39.3	20.8	6.5	1.4	1.6	0.0
2007年	2910	42.1	42.0	38.8	21.4	6.2	0.7	0.8	0.2
2006年	2858	44.8	40.5	41.1	24.4	7.7	1.2	1.0	0.3
2005年	3324	48.9	40.9	46.2	25.2	10.8	1.7	1.3	0.2
2003年	3492	44.7	45.4	45.2	26.8	17.5		1.1	0.2
1997年	3686	46.4	44.7	39.4	41.0			1.4	0.6

※斜線はデータなし

(%)

Ⅸ 生活の中の白もの牛乳類

1. 「3-A-Day」について

1) 「3-A-Day」の認知状況

「3-A-Day」についての説明文を読んでもらい、認知や実践状況を聞いた。

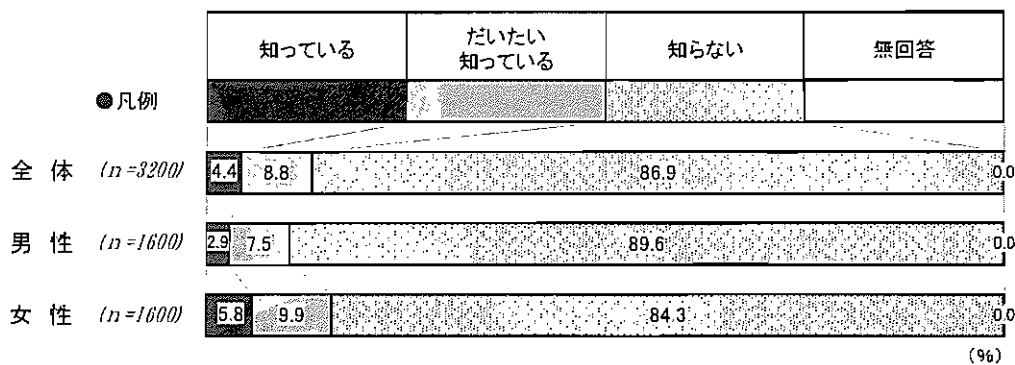
「3-A-Day」を「知っている」（4%）および「だいたい知っている」（9%）を合わせた認知率は13%ほどとなっている。

性別で見ると、女性の認知率の方がやや高い。

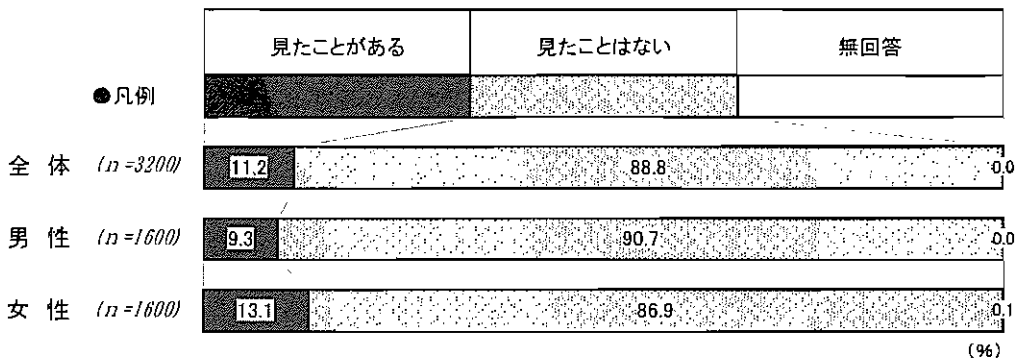
「3-A-Day」のロゴマークを「見たことがある」人は全体の11%で、女性の方が視認している比率がやや高い。

ロゴマークを見たことがある人に認知経路を聞いたところ、「牛乳・乳製品のパッケージ」が49%と最も高く、次いで「パンフレット・小冊子」「テレビ」が2割強となっている。

図表IX-1-1 性別 問26 「3-A-Day」認知状況



図表IX-1-2 性別 問27 広告などでの「3-A-Day」のロゴマーク視認状況



図表IX-1-3 性別 問28 「3-A-Day」のロゴマークの認知経路 (MA)

<ロゴマーク視認経験者ベース>

	n	テレビ	新聞	雑誌	パンフレット・小冊子	ホームページ	牛乳・乳製品の パッケージ	牛乳売場の 小型液晶テレビ	駅の看板	電車の 車内広告	無回答
全体	411	23.5	15.6	15.9	25.1	3.4	48.9	14.0	1.7	2.2	2.0
男性	177	22.9	20.1	14.6	24.3	3.5	46.5	13.2	2.1	2.8	0.7
女性	234	23.7	12.6	17.2	25.6	3.7	50.7	14.4	1.4	1.9	2.8

(%)

〔説明文〕

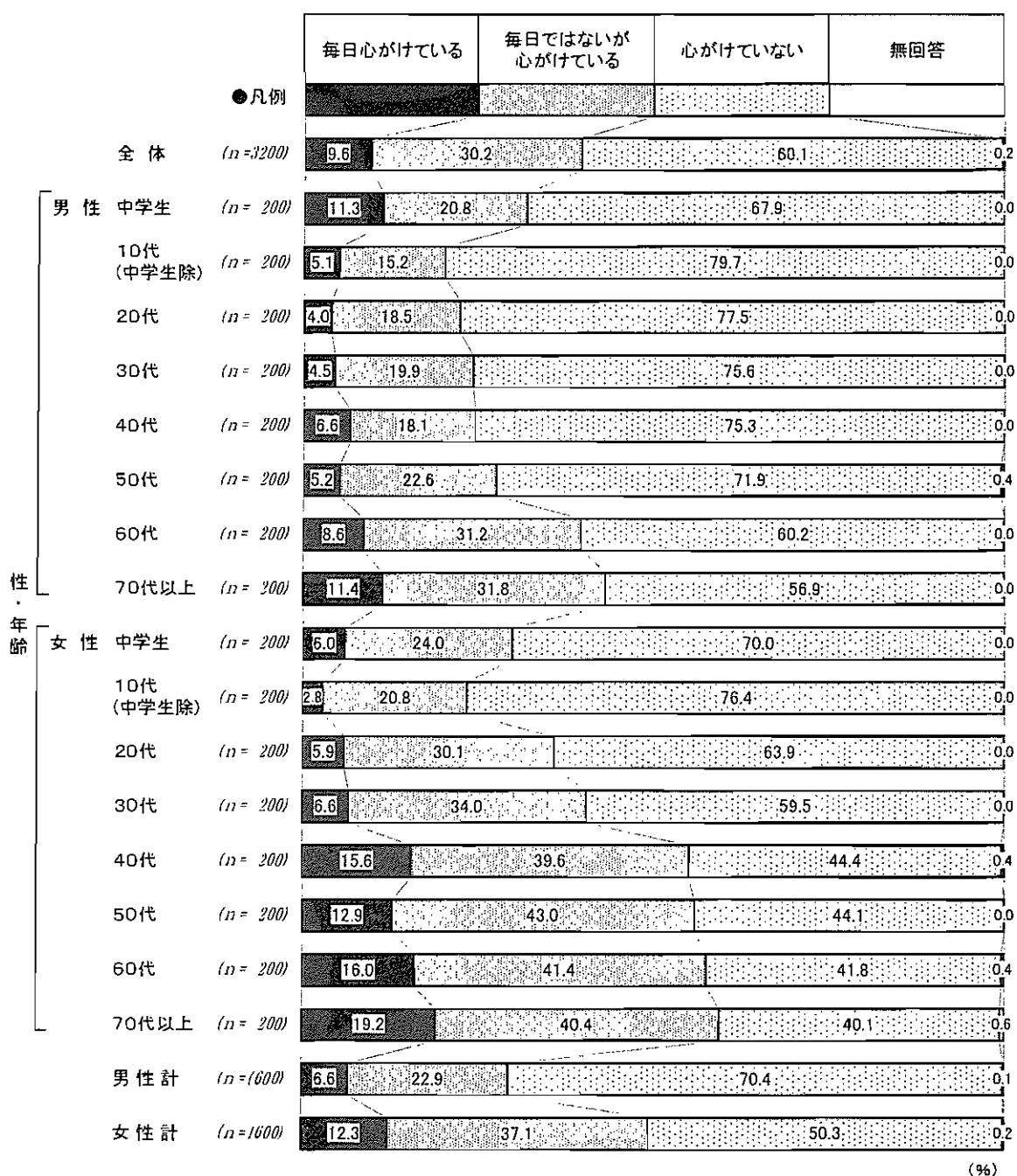
「3-A-Day」(スリー・ア・デイ)。
「牛乳・ヨーグルト・チーズ、どれでも自由に1日3回、または3品、食生活に取り入れて、健康に良い食事を実践しましょう」という呼びかけが、3-A-Day運動です。
3(スリー)は、朝・昼・晩、3度の食事のたびにとか、牛乳・ヨーグルト・チーズを1品ずつ3品を、という程度の軽い意味での3という数字で、毎日必ず3回あるいは3品とらなければならないという意味ではありません。また、A-Day(ア・デイ)は単純に「1日」という意味です。
たとえば、コップ一杯の牛乳を飲む、サンドウィッチにチーズをはさむ、デザートにヨーグルトを食べる。食事のたびに思い出して、習慣化してみませんか。健康のためにチャレンジしてみましょう。

2) 「3-A-Day」の実践状況

「3-A-Day」の実践状況については、ふだんの食生活で「毎日心がけている」が1割ほどみられる。

性・年齢別にみると、女性は「毎日心がけている」「毎日ではないが心がけている」を合わせると5割近くが心がけており、男性より20ポイントほど高い。特に、女性の40代以上で心がけている人の割合が5～6割程度で、他の年代と比べて高い。

図表IX-1-2 性・年齢別 問29 ふだんの食生活での「3-A-Day」実践状況



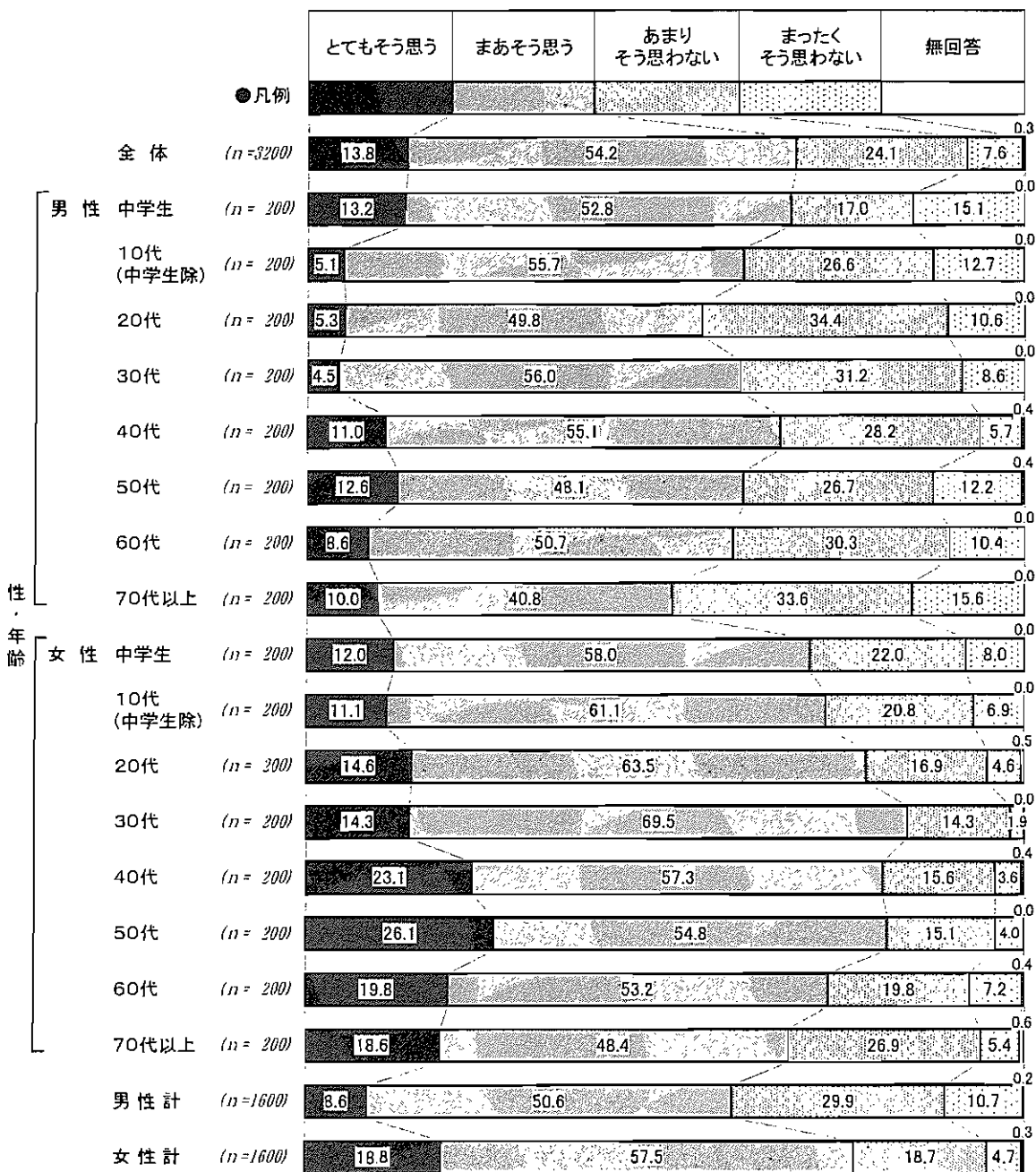
3) 「3-A-Day」の実践意向

「3-A-Day」を実践してみようと思うかどうかについては、「とてもそう思う」（14%）「まあそう思う」（54%）合わせて7割弱が実践意向を持っている。

男女別にみると、女性は「とてもそう思う」割合が男性よりも10ポイントほど高く、「まあそう思う」との合計で8割弱を占める。

女性の30～50代の層では、「とてもそう思う」「まあそう思う」の合計が8割以上に達し、他の層に比べて実践意向が高い。

図表IX-1-3 性・年齢別 問30 「3-A-Day」実践意向



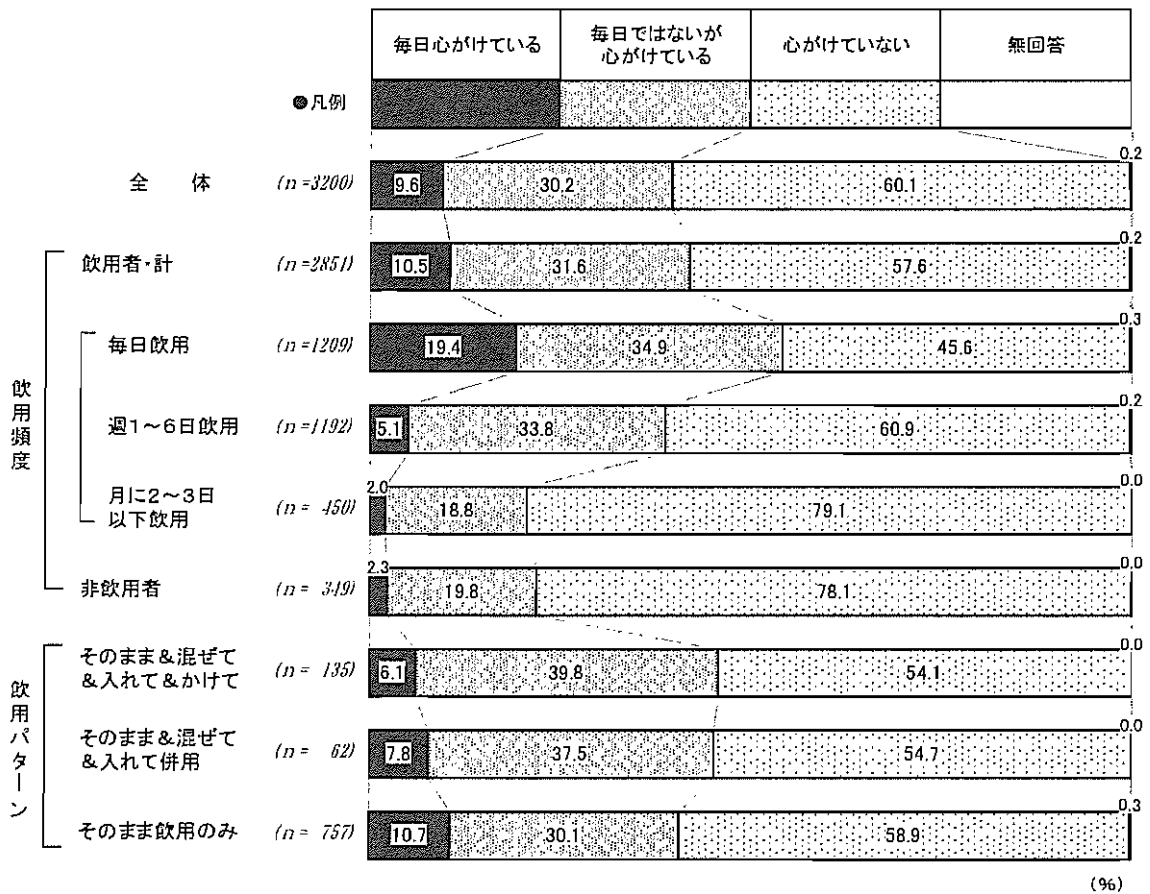
(96)

白もの牛乳類の飲用行動別に、ふだんの食生活での「3-A-Day」の実践状況をみる。

飲用頻度別では、毎日飲用している人の「毎日心がけている」割合が19%、「毎日ではないが心がけている」が35%で、合わせて5割強が心がけている。飲用頻度が高いほど、心がけている割合が高い傾向がみられる。

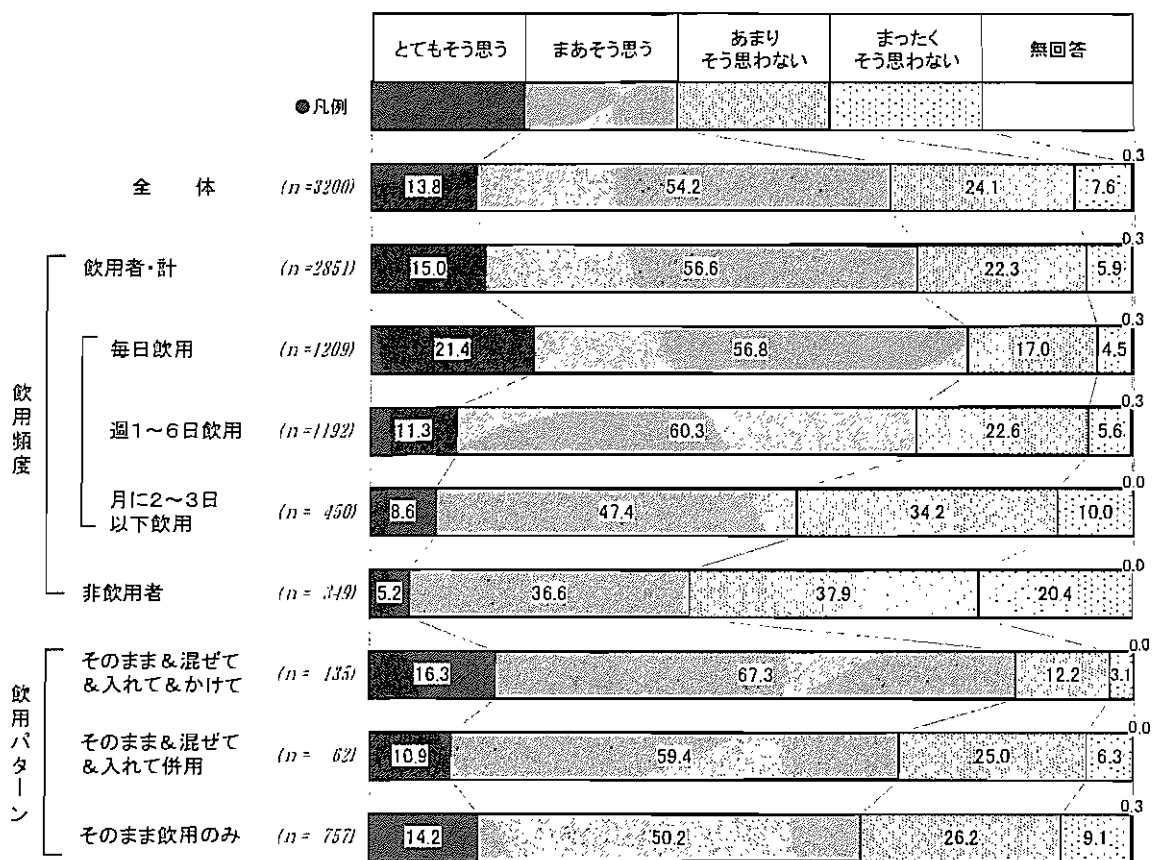
また、飲用パターン別では、「毎日心がけている」割合は、多様な飲み方をしている人よりも、そのままの飲み方でのみ飲用する人の方が高いが、「毎日ではないが心がけている」を含めた割合でみると、飲み方を併用している人の方が高い傾向である。

図表IX-1-4 飲用行動別 問29 ふだんの食生活での「3-A-Day」実践状況



白もの牛乳類の飲用行動別に、「3-A-Day」の実践意向をみると、「とてもそう思う」「まあそう思う」を合わせた実践意向は、実践状況と同様、飲用頻度が高いほど高い。また、飲用パターン別にみても、そのまま飲用のみの人と比較すると、多様な飲み方をしている人の方が実践意向が高い傾向がみられる。

図表IX-1-5 飲用行動別 問30「3-A-Day」実践意向



(96)

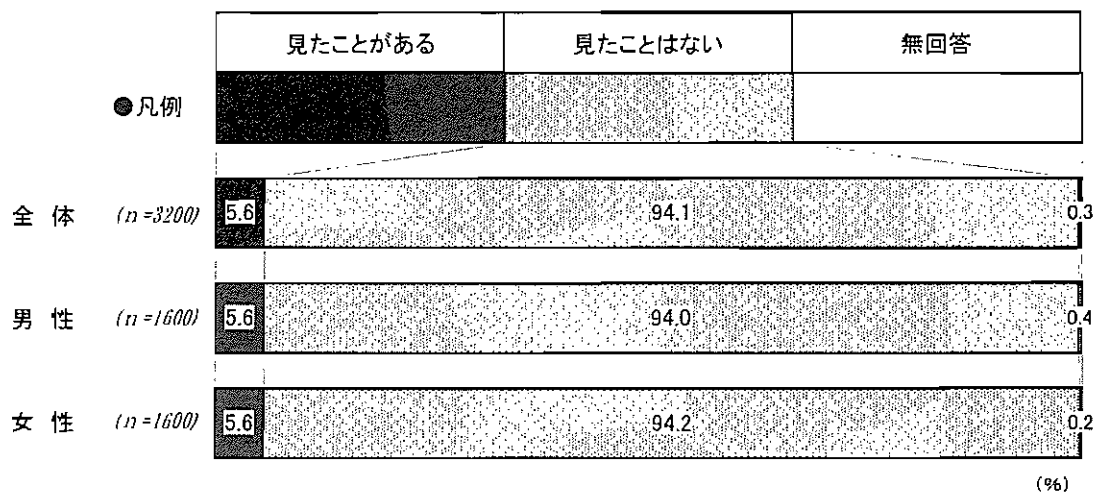
2. 「ミルクって、サプリかも。」について

「ミルクって、サプリかも。」の広告について、画像を見てもらい、認知や認知経路をたずねた。広告を「見たことがある」人は全体の6%。男女別に差はない。

「見たことがある」と答えた人に、その認知経路を聞いたところ、「新聞」が5割程度で最も多く、次いで「雑誌（34%）」「パンフレット・小冊子（22%）」となっている。

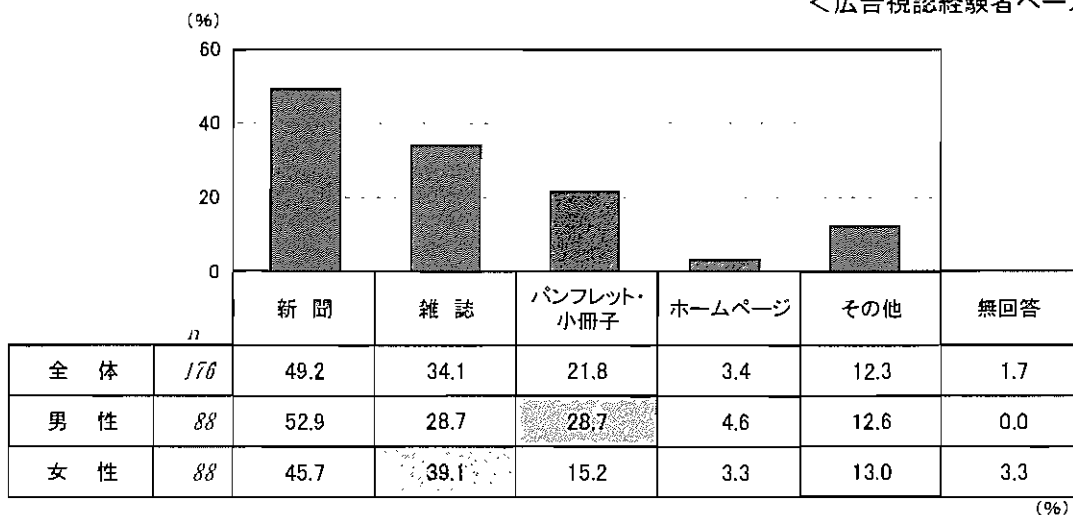
女性は「雑誌」で見た人が4割近くを占め、男性（29%）より10ポイントほど高い。一方、男性は「パンフレット・小冊子」で見た割合が29%で、女性（15%）よりも14ポイント高い。

図表IX-2-1 性別 問31「ミルクって、サプリかも。」広告視認状況



図表IX-2-2 性別 問32「ミルクって、サプリかも。」認知経路 (MA)

<広告視認経験者ベース>



全体より 5ポイント以上高い

3. 健康・食生活について

1)健康・食生活に関する「ことば・用語」の認知

健康・食生活に関する「ことば・用語」の認知について「内容まで知っている」「内容は知らないが聞いたこと見たことがある」「内容も知らないし聞いたことも見たこともない」の3段階で聞いた。

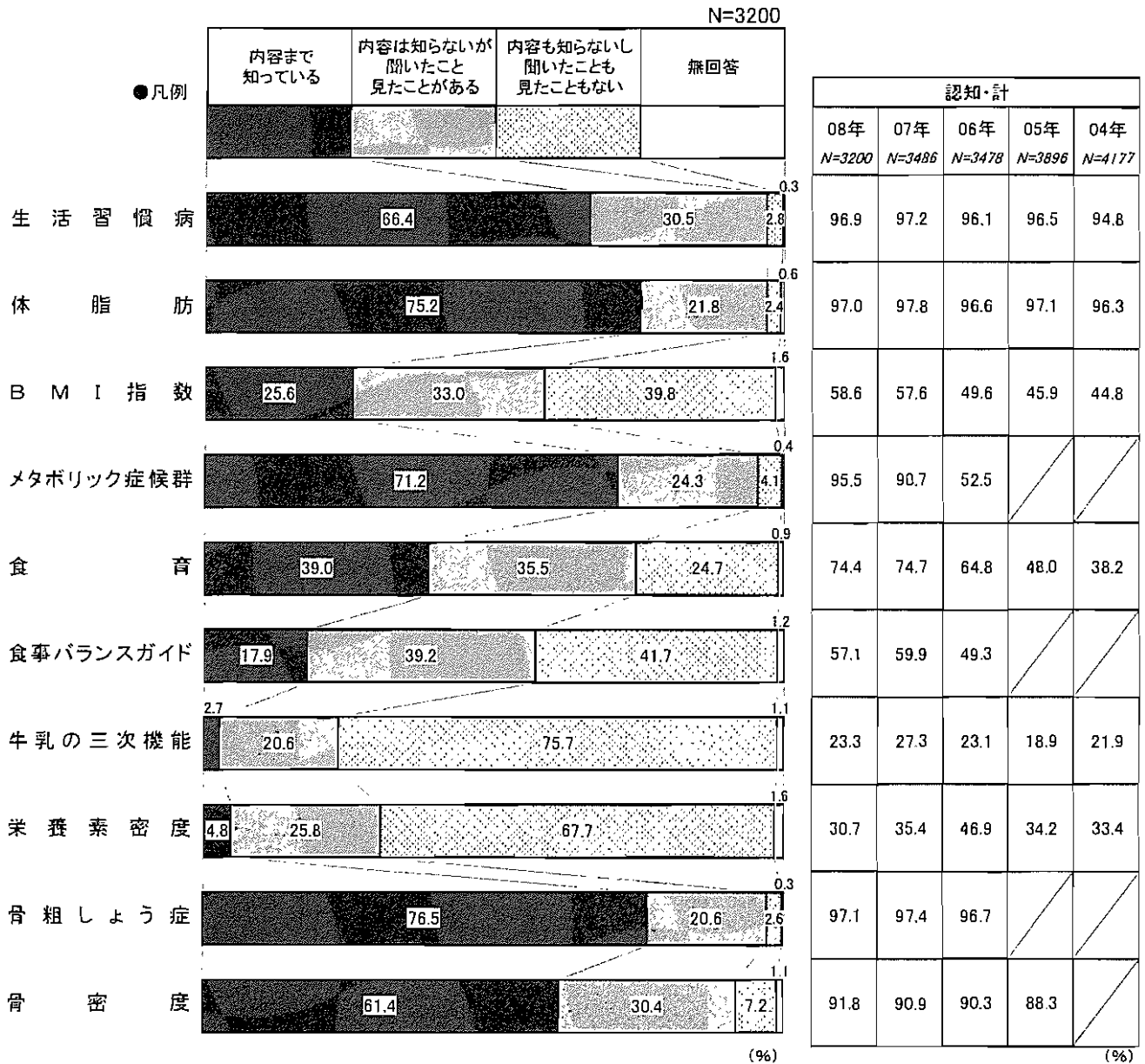
6割以上の方が内容まで知っているのは、「生活習慣病」「体脂肪」「メタボリック症候群」「骨粗しょう症」「骨密度」の5項目である。

見聞きした程度まで含めた認知レベルでみると、「食育」の認知度は7割を超えており、「BMI指数」「食事バランスガイド」の認知度も6割弱に達する。

2007年に前年と比べて40ポイント近く認知度が上がった「メタボリック症候群」は、2008年も5ポイントほどの上昇がみられる。

「牛乳の三次機能」および「栄養素密度」の認知度は、2007年に比べ4～5ポイントほどの低下である。

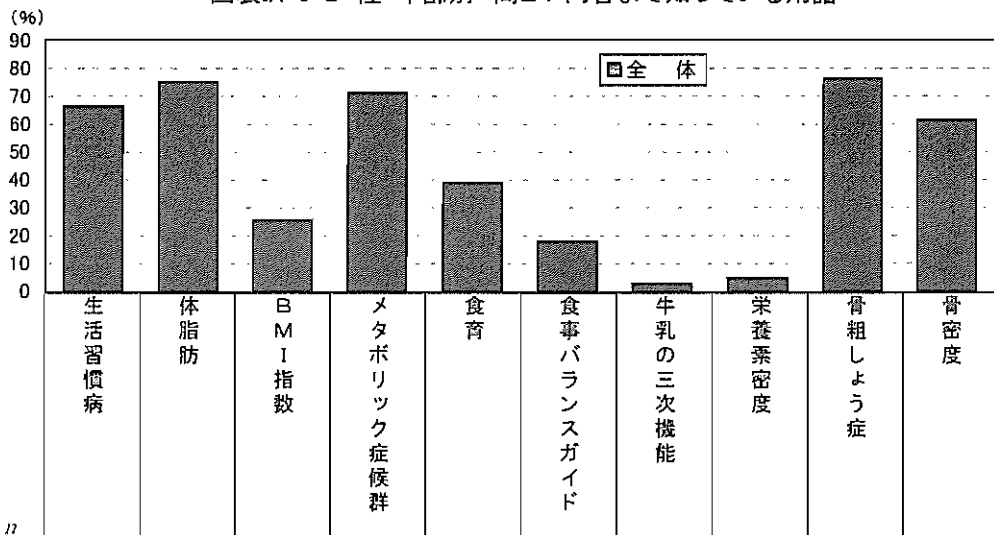
図表IX-3-1 問24 認知している用語



健康・食生活に関する「ことば・用語」を「内容まで知っている」割合は、「骨粗しょう症」が(77%)最も高く、次いで「体脂肪(75%)」「メタボリック症候群(71%)」「生活習慣病(66%)」「骨密度(61%)」とつづく。

性・年齢別にみると、女性の20～60代では用語の認知率が全般的に高い。

図表IX-3-2 性・年齢別 問24 内容まで知っている用語



		全体	生活習慣病	体脂肪	BMI指数	メタボリック症候群	食育	食事バランスガイド	牛乳の三次機能	栄養素密度	骨粗しょう症	骨密度	
全体		3200	66.4	75.2	25.6	71.2	39.0	17.9	2.7	4.8	76.5	61.4	
性・年齢別	男	中学生	200	35.8	54.7	7.5	54.7	24.5	11.3	0.0	1.9	37.7	26.4
		10代(中学生除)	200	50.6	64.6	22.8	60.8	20.3	10.1	1.3	2.5	51.9	40.5
		20代	200	63.9	76.7	33.5	75.3	31.7	13.7	2.6	4.4	68.3	56.8
		30代	200	54.1	74.4	22.2	68.8	35.0	9.4	1.5	1.5	68.8	55.3
		40代	200	74.0	82.4	34.8	78.4	44.5	14.1	2.6	4.8	73.1	61.2
		50代	200	70.7	76.7	20.7	75.9	29.6	15.2	3.0	3.3	75.9	58.9
		60代	200	67.0	74.7	18.1	68.8	25.8	13.1	2.7	7.2	75.1	59.3
		70代以上	200	56.9	58.8	10.9	53.6	23.2	15.6	4.3	6.2	75.4	46.0
	女	中学生	200	34.0	54.0	10.0	56.0	26.0	14.0	2.0	6.0	36.0	26.0
		10代(中学生除)	200	66.7	68.1	33.3	66.7	31.9	18.1	1.4	4.2	65.3	51.4
		20代	200	66.7	84.5	36.1	77.2	47.5	19.2	1.4	2.7	76.3	63.9
		30代	200	76.4	85.7	38.6	81.1	63.3	23.6	1.5	2.3	83.4	69.9
		40代	200	75.6	85.3	36.9	83.6	64.4	27.1	2.2	4.0	86.2	75.6
		50代	200	77.6	82.0	31.3	80.1	52.6	21.7	2.9	4.8	87.1	76.8
		60代	200	75.1	79.7	19.8	74.3	38.0	26.6	3.8	5.9	88.6	73.0
70代以上		200	58.7	59.3	12.8	52.2	26.9	19.6	4.5	9.9	84.0	61.9	
男性計		1600	62.7	73.0	22.8	69.4	30.9	13.3	2.5	4.4	70.5	54.6	
女性計		1600	69.9	77.3	28.2	72.9	46.5	22.2	2.9	5.2	82.1	67.8	

全体より5ポイント以上高い
全体より10ポイント以上高い

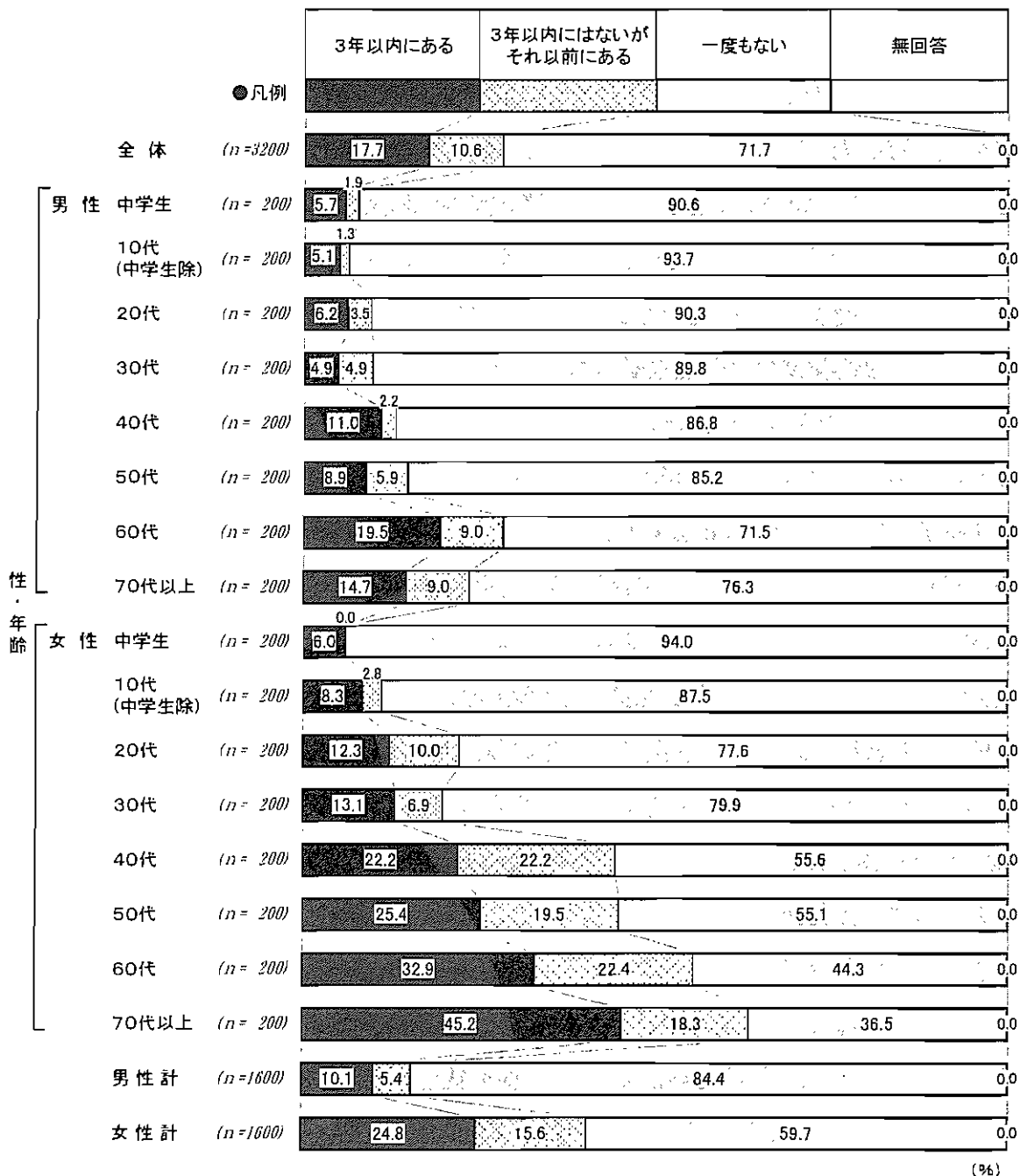
(%)

2) この3年間の骨密度測定経験

この3年間の骨密度の測定経験を聞いた。

性・年齢別にみると、「3年以内にある」女性の割合（25%）は男性（10%）の2.5倍と大きな差がある。男女とも、年齢が上がるにつれ「3年以内にある」「3年以内ではないが以前にある」を合わせた割合が比較的増える傾向にあり、特に女性の70代以上では「3年以内にある」が45%を占める。

図表IX-3-3 性・年齢別 問25 この3年間の骨密度測定経験



図表IX-3-4 時系列 問25 この3年間の骨密度測定経験

n		3年以内にある	3年以内にはないが それ以前にある	一度もない	無回答
2008年	3200	17.7	10.6	71.7	0.0
2007年	3486	18.7	9.9	71.2	0.1
2005年	3896	19.3	9.3	71.1	0.3

(%)

<付録 1 >

各年度のテーマとサンプル数

年 度	サンプル数	テ ー マ
1987 年度	4,664	<ul style="list-style-type: none"> ・諸外国の消費動向の研究 ・有識者から牛乳消費拡大のためのアイデアを収集
1988 年度	4,604	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳・乳製品の表示に関する知識と評価 ・牛乳・乳製品の種類に関する知識と度合い
1989 年度	4,579	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳・乳製品の種類の多様化への対応 ・各種宅配牛乳の利用実態と意見 ・スポーツと牛乳・乳製品のかかわり
1990 年度	4,691	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツと栄養に関する知識 ・輸入乳製品の利用実態と意見
1991 年度	4,714	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳と購買場面での選択基準の再度検証 ・飲用場面別の牛乳の競合商品 ・牛乳に関する知識と飲用量の関係
1992 年度	4,651	<ul style="list-style-type: none"> ・果汁100%ジュースとの競合関係の変化 ・家庭外での牛乳の飲用場面拡大のための方向性
1993 年度	4,553	<ul style="list-style-type: none"> ・知識と購買行動の関係 ・牛乳の伸び悩みがどのような方向にいくか ・果汁100%ジュースの行方
1994 年度	4,617	<ul style="list-style-type: none"> ・ティーンエイジャーの女の子への訴求方法 ・骨粗しょう症予防と牛乳の結びつき ・購買時点での牛乳の課題 (特売の利用状況、宅配の利用理由)
1995 年度	4,668	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳をとりまくライフスタイルを明らかにする ・「牛乳は太る」のイメージの解明を ・骨粗しょう症予防とカルシウム、牛乳の関係を明確に
1996 年度	4,706	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルと牛乳との関係 ・消費実感としての牛乳の需要量の変化 ・色々な牛乳商品の飲用・購入実態 ・骨粗しょう症とカルシウム、牛乳の関係について ・1987年から1996年の10年間の変化をみる
1997 年度	4,547	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳飲用量の変化とその理由 ・牛乳とチーズ・ヨーグルトの消費量 ・牛乳と他の飲料 ・健康意識と牛乳 ・現在の家族の姿と健康
1998 年度	4,472	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳を1日2回以上飲んでもらうための方策 ・牛乳の飲用機会を増やすための訴求ポイント ・家庭でのしつけのあり方と牛乳飲用 ・健全なダイエットのための牛乳の役割 ・種類別の牛乳の飲用量、購入量 ・牛乳販売店からの宅配利用 ・牛乳普及のための有効な広告チャネル ・牛乳容器のあり方 ・昨今の不況の影響 ・単身世帯、一人暮らしを支える牛乳 ・国産ナチュラルチーズの振興策
1999 年度	4,476	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲み方の割合 ・白もの牛乳類との混合飲用の実態 ・白もの牛乳類と他の飲み物のイメージ ・自宅外での牛乳乳製品の飲食・購入 ・白もの牛乳類の料理利用 ・白もの牛乳類、料理についての情報源 ・バター（油脂類）の使い方 ・家庭での牛乳乳製品の常備 ・白もの牛乳類のための冷蔵庫の中のスペース ・メーカーやブランドについて
2000 年度	4,632	<ul style="list-style-type: none"> ・種類別の牛乳の飲用量、購入量 ・牛乳・乳製品と他の食品のイメージ ・自宅外での牛乳・乳製品の飲食・購入 ・牛乳・乳製品の好き・嫌い ・バター・生クリーム（油脂類）の使い方 ・小学生以下の牛乳の飲用 ・家庭での牛乳・乳製品の常備 ・牛乳の容器について ・牛乳と栄養に関する健康意識

年 度	サンプル数	テ ー マ
2001 年度	4,778	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲み方の割合 ・白もの牛乳類との混合飲用の実態 ・自宅外での牛乳の飲食・購入 ・牛乳・乳製品と他の飲料のおいしさ ・牛乳・乳製品についての知識 ・バター・生クリーム（油脂類）の使い方 ・ヨーグルト・チーズの食頻度 ・家庭での牛乳・乳製品の常備実態 ・健康などへの関心 ・白もの牛乳類の購入場所 ・牛乳容器の表示 ・食中毒事故と飲用／購入態度の変化
2002 年度	4,277	<ul style="list-style-type: none"> ・12歳以下のこどもの白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類と他の飲料のイメージ・飲用機会 ・白もの牛乳類のもつ様々なベネフィットの認識 ・白もの牛乳類を使った料理の実態 ・牛乳容器の表示と切欠きについて ・BSEと白もの牛乳類・乳製品の飲食の変化
2003 年度	4,177	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類を飲用したい場所 ・白もの牛乳類と一緒に食べる食べ物 ・白もの牛乳類の飲用量の増減とその理由・きっかけ ・白もの牛乳類の購入・宅配に関する意識 ・ヨーグルトの飲食・手作りの実態 ・乳製品・肉類の産地意識 ・健康と食生活に関する認識と情報源
2004 年度	4,177	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類と混ぜて飲むもの ・白もの牛乳類の飲用量の増減 ・牛乳を飲んでおなかの調子が悪くなる状況 ・白もの牛乳類の購入量と購入意識 ・牛乳を使った料理の実態 ・ヨーグルトの飲食・手作りの実態 ・健康や食生活に関する認識 ・競合飲料のイメージと飲用シーン
2005 年度	3,896	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識 ・白もの牛乳類の購入実態（宅配の利用状況） ・ヨーグルトの飲食実態 ・健康や食生活に関する認識 ・競合飲料の飲用状況と白もの牛乳類に対する心理的絆
2006 年度	3,478	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識 ・白もの牛乳類の購入実態（自宅外での飲用機会） ・白もの牛乳類の嗜好性および意識・態度 ・乳製品の飲食実態 ・白もの牛乳類を使った料理の実態 ・健康や食生活に関する認識
2007 年度	3,486	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識 ・白もの牛乳類の飲用量減退についての認識 ・白もの牛乳類の嗜好性および意識・態度 ・乳製品の飲食実態 ・白もの牛乳類を使った料理の実態 ・健康や食生活に関する認識
2008 年度	3,200	<ul style="list-style-type: none"> ・白もの牛乳類の飲用実態 ・白もの牛乳類飲用量の変化に対する認識 ・白もの牛乳類の飲用量減退についての認識 ・白もの牛乳類の購入実態 ・白もの牛乳類の価格の値上がりについて ・白もの牛乳類の嗜好性および意識・態度 ・乳製品の飲食実態 ・健康や食生活に関する認識

<付録 2>

単純集計結果付き調査票

ご記入にあたって

1. 各質問の回答は、あなたのご意見に最も近いものを選び、質問の最後に(1つだけ○印)とあれば「1つだけ」、(いくつでも○印)とあれば「いくつでも」あてはまる番号を○で囲んでください。
2. 「その他」に該当する場合は番号を○で囲み、()内に具体的な内容をご記入ください。
3. ほとんどの質問が回答を選んでいただくものですが、数字をご記入いただく質問もあります。
4. 質問によってはご回答いただく方が限られる場合があります。矢印(→)や【 】の指示に従ってお進みください。

白もの牛乳類 (注) についてお聞きします

(注) ここでいう白もの牛乳類とは、普通の牛乳や低脂肪乳(ローファットミルク)や機能強化牛乳(カルシウム、鉄分、ビタミンDなどを加えたもの)などの白い牛乳類をいいます。市販のいわゆるコーヒー牛乳やフルーツ牛乳などは含みません。

【すべての方に】(N=3200)

問1 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をお飲みになりますか。

コーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れたり、シリアル(オートミール、コーンフレーク等)にかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めてお答えください。
ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除きます。(1つだけ○印)

1	毎日飲む	36.9	5月に2~3日飲む	8.2
2	週に5~6日飲む	9.3	6 それ以下しか飲まない	7.1
3	週に3~4日飲む	13.6	7 全く飲まない	12.0
4	週に1~2日飲む	12.9		

NA

白もの牛乳類の飲み方についてお聞きします

【すべての方に】 (N=3200)

問2 あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をそのままお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたり、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使う場合は除いてお答えください。

ただし、あたためたり、氷を入れたり、砂糖・ハチミツ等甘味料だけを加えたりする飲み方は、そのまま飲む飲み方に含めます。

		そのまま飲む								NA
		毎日飲む	週に5〜6日飲む	週に3〜4日飲む	週に1〜2日飲む	月に2〜3日飲む	それ以下しか飲まない	全く飲まない		
(それぞれ1つずつ○印)										
夏場は	→	26.9	8.3	13.0	13.2	10.1	7.9	20.4	0.2	
冬場は	→	23.6	6.9	12.2	15.3	10.5	10.0	21.5	0.1	
年間平均すると	→	23.9	8.3	13.4	14.2	10.4	9.8	19.6	0.4	

【すべての方に】 (N=3200)

問3 では、あなたは、日頃どの程度白もの牛乳類をコーヒー、紅茶やココアなど他の飲み物に入れて、または、牛乳に他のものを混ぜてお飲みになりますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

		他のものと混ぜて飲む								NA
		毎日飲む	週に5〜6日飲む	週に3〜4日飲む	週に1〜2日飲む	月に2〜3日飲む	それ以下しか飲まない	全く飲まない		
(それぞれ1つずつ○印)										
夏場は	→	19.9	5.5	10.2	11.3	9.3	11.1	32.6	0.2	
冬場は	→	19.1	5.5	10.0	11.3	10.0	11.6	32.3	0.2	
年間平均すると	→	18.5	5.6	11.0	11.2	10.2	11.8	31.2	0.5	

白もの牛乳類を全く飲まない方(問1で「7」とお答えの方)は、問8にお進みください。

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】(N=2851)

問4 あなたは、白もの牛乳類を飲むときは1日に合計でどれくらいの量を飲みますか。

夏場、冬場、年間平均でお知らせください。

コーヒーなど他の飲み物に入れたり、シリアルにかけたりなど、そのまま飲む以外の場合も含めて、「牛乳ビン1本分 200ml」を目安としてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

		1日に白もの牛乳類を飲む量								
		50 ml	50 ml	100 ml	200 ml	400 ml	600 ml	800 ml	1 ℓ	
		未満	くらい	(牛乳ビン半分)	(牛乳ビン1本)	(牛乳ビン2本)	(牛乳ビン3本)	(牛乳ビン4本)	(牛乳ビン5本)以上	NA
(それぞれ1つずつ○印)										
夏場は	→	7.9	5.9	16.8	53.1	11.6	2.3	0.6	0.5	1.5
冬場は	→	9.9	7.9	21.9	49.2	7.4	1.3	0.4	0.3	1.7
年間平均すると	→	8.4	7.7	19.2	52.4	8.3	1.9	0.4	0.3	1.3

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】(N=2851)

問5 あなたは、白もの牛乳類を飲む時にどのような飲み方をしますか。

ふだん飲む量を100%とした時、それぞれどのくらいの割合になるかをお知らせください。家庭だけでなく、学校や職場の給食や外食などで飲む量をすべて含めてお答えください。ただし、料理・ケーキ・手作りヨーグルトに使っているものは除きます。

	夏場は	冬場は	年間平均すると
	↓	↓	↓
a. そのまま飲む（あたためたり、氷を入れたり、砂糖を加えたりする飲み方を含む）	63.6 %	61.0 %	62.2 %
b. コーヒー・紅茶・ココアなどに入れて飲む	29.7 %	33.3 %	31.6 %
c. 牛乳にフルーツジュース・野菜ジュースなどを入れて飲む	1.9 %	1.7 %	1.8 %
d. シリアル（オートミール、コーンフレーク等）やくだものなどにかける	4.7 %	4.0 %	4.4 %
合計	100 %	100 %	100 %

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】(N=2851)

問6 あなたは、ふだん、白もの牛乳類をどのような時に飲みますか。そのまま飲む以外の場合も含めて、次の中からすべてお知らせください。（いくつでも○印）

1	朝起きぬけに	11.6	11	のどがかわいたとき	38.7
2	朝食をとりながら	43.5	12	ちょっとおなかがすいたとき	13.2
3	朝食後	12.5	13	勉強や仕事をしながら	4.8
4	朝食がわりに	6.0	14	レジャーやスポーツ時	1.7
5	昼食時	15.0	15	くつろいでいる時	22.5
6	夕食時	5.9	16	乗り物での移動中	2.0
7	おやつや間食時	34.9	17	来客時	3.3
8	夜食時	3.8	18	その他	2.3
9	風呂上がり	24.6			
10	夜寝る前	12.0			

NA

0.7

【白もの牛乳類を飲む方（問1で「1～6」とお答えの方）に】(N=2851)

問7 あなたが白もの牛乳類を飲む理由は何ですか。次の中から、いくつでもお答えください。（いくつでも○印）

1	おいしいから	29.4	11	骨粗しょう症が心配だから	19.0
2	好きだから	29.9	12	良質のタンパク質があるから	14.2
3	栄養があるから	37.6	13	美容に良いから	2.3
4	カルシウムがあるから	48.3	14	便秘に効果があるから	11.1
5	朝食など食事代わりに	7.9	15	健康によいから	33.6
6	水などの代わりに	15.4	16	ぐっすり眠るために	3.5
7	他のものと混ぜたり、他のものにかけたりするため	24.3	17	気持ちをリラックスさせるために	4.5
8	習慣で	22.2	18	背が高くなりたいから	2.6
9	いつも家にあるから	23.0	19	医師など医療関係者がすすめるから	1.2
10	家族がすすめるから	4.6	20	他の飲み物に比べて安いから	1.4
			21	その他	3.3

NA

1.0

この1年間の白もの牛乳類の飲み方の変化についてお聞きします

【すべての方に】(N=3200)

問8 あなたは、この1年間に白もの牛乳類を飲む量が増えましたか、それとも減りましたか。(1)そのまま飲む場合、(2)混ぜて飲む場合、(3)全体では、それぞれについてお知らせください。

(それぞれ1つずつ○印)	(1)そのまま飲む場合 ↓	(2)混ぜて飲む場合 ↓	(3)全体では ↓
飲む量が非常に増えた	1.7	2.3	1.8
飲む量がやや増えた	5.0	7.4	7.7
変わらない	60.7	59.4	65.5
飲む量がやや減った	8.5	4.9	7.8
飲む量が非常に減った	5.0	3.1	3.9
この1年くらいで 全く飲まなくなった	2.8	3.4	1.6
牛乳はもともと飲まない	14.3	15.4	10.5
NA	2.0	4.1	1.1



問8の(3)で「1」「2」「3」とお答えの方

全体では「飲む量が非常に増えた」「飲む量がやや増えた」「変わらない」方

⇒ 7ページの問10へ

問8の(3)で「4」「5」「6」「7」とお答えの方

全体では「飲む量がやや減った」「飲む量が非常に減った」

「この1年くらいで全く飲まなくなった」「牛乳はもともと飲まない」方

⇒ 6ページの問9へ

【牛乳を飲む量が減った方／飲まない方(問8の(3)で「4、5、6、7」とお答えの方)に】(N=741)

問9 次のア)～セ)のことがらは、あなたの牛乳を飲む量が減った理由、あるいはあなたが牛乳を飲まない理由としてどのくらいあてはまりますか。それぞれについて、「1 あてはまる」から「5 あてはまらない」までのいずれかの数字でお答えください。

		あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない	NA
(それぞれ1つずつ○印)							
ア)	牛乳は味にくせがあるから →	15.4	13.9	15.9	10.6	42.4	1.7
イ)	牛乳のにおいが嫌いだから →	17.0	10.6	13.4	11.4	45.6	2.0
ウ)	牛乳は飲んだあと口に残るから →	14.8	17.2	13.0	11.0	41.8	2.4
エ)	牛乳を飲むとお腹の調子が悪くなるから →	24.8	12.4	10.9	11.3	39.0	1.7
オ)	牛乳を飲むと太ると思うから →	3.4	7.1	14.6	12.6	60.1	2.1
カ)	牛乳はコレステロールが気になるから →	5.9	6.7	15.0	13.9	56.8	1.8
キ)	牛乳は日持ちしないから →	5.1	11.0	15.8	14.1	51.8	2.2
ク)	牛乳は持ち歩けないから →	8.8	10.0	14.5	8.8	55.8	2.2
ケ)	自動販売機・売店など買いやすいところに牛乳がないから →	4.7	5.9	17.1	11.3	59.3	1.8
コ)	飲みたい牛乳がないから →	6.2	6.6	17.2	13.3	54.8	2.0
サ)	牛乳が体によくないという情報を本などで得たから →	3.7	3.2	10.5	10.4	70.3	2.0
シ)	医者に言われたから →	2.4	1.1	8.3	8.0	78.2	2.1
ス)	牛乳アレルギーがあるから →	2.9	2.0	7.8	7.6	77.8	2.0
セ)	価格が上がったから →	3.2	5.5	11.3	10.6	67.7	1.8

【すべての方に】(N=3200)

問10 あなたは、今後、牛乳をどの程度飲みたいと思いますか。「1 とても飲みたい」から「5 全く飲みたいくない」までの数字の中から1つお選び下さい。(1つだけ○印)

1 とても飲みたい	19.7	3 どちらともいえない	21.0	4 あまり飲みたいくない	8.3
2 まあ飲みたい	45.0			5 全く飲みたいくない	5.9
				NA	0.2

白もの牛乳類の購入についてお聞きします

【すべての方に】(N=3200)

問11 お宅では、ふだん白もの牛乳類をどのくらいの頻度で購入していますか。ご自身でわからない場合は、家族に聞くなどしてお答えください。(1つだけ○印)

1 ほぼ毎日	17.3	4 2週間に1回くらい	5.0	7 わからない	1.8
2 週に2~3回くらい	41.3	5 月に1回くらい	3.4		
3 週に1回くらい	23.9	6 ほとんど買わない	7.3		
				NA	0.1

【すべての方に】(N=3200)

問12 お宅では、ふだんどなたが白もの牛乳類を購入していますか。あてはまる方についてすべてお答えください。(いくつでも○印)

1 自分(本人)	46.4
2 自分以外の同居している家族	58.0
3 その他	4.0
	NA 1.0

⇒ 「1 自分(本人)」を選んだ方は問13へ

⇒ 「1 自分(本人)」を選ばなかった方は問17へ

【自分で白もの牛乳類を購入する方(問12で「1 自分(本人)」とお答えの方)に】(N=1233)

問13 では、あなたは、白もの牛乳類をどのような場所で購入していますか。

- (1) ふだん白もの牛乳類を買うのに利用しているのはどこですか。(いくつでも○印)
- (2) その中で、主に利用しているのはどこですか。(1つだけ○印)
- (3) 今後も(または新たに)利用したいのはどこですか。(いくつでも○印)

	(1) ふだん利用する (いくつでも○印) ↓	(2) 主に利用する (1つだけ○印) ↓	(3) 今後も (または新たに) 利用したい (いくつでも○印) ↓
スーパーの店頭で購入	87.8	69.8	78.3
コンビニエンスストアの店頭 で購入	20.3	3.8	14.7
ディスカウントストアなどの 安売店で購入	11.0	1.9	11.5
生協の店頭で購入	10.4	2.6	8.6
その他の店舗(自販機を含む) で購入	4.7	1.6	4.2
牛乳販売店からの宅配	12.6	10.0	13.5
生協、スーパー、コンビニエ ンスストア、デパートなどか らの宅配	12.3	6.3	11.1
共同購入	3.9	2.0	3.8
インターネット上での注文に よる購入	0.1	-	0.5
上記以外	1.2	0.7	1.5
NA	0.6	1.3	2.5

【自分で白もの牛乳類を購入する方（問12で1 自分(本人)）とお答えの方】(N=1233)

問14 ここ数ヶ月の間に、あなたは、牛乳の価格が値上がりしたと感じましたか。紙パック1ℓの牛乳あたりどの程度値上がりしたと感じているかお知らせください。(1つだけ○印)

1	5円くらい	4.2	5	25円くらい	3.0
2	10円くらい	25.6	6	30円くらい	4.9
3	15円くらい	9.8	7	それ以上	1.0
4	20円くらい	17.3	8	値上がりしたとは感じていない	33.6
NA					0.5

【牛乳の価格の値上がりを感じている方（問14で「1～7」とお答えの方）に】(N=808)

問15 では、あなたは、牛乳の価格が値上がりしたことで、どうしましたか。あてはまるものをいくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1	購入する牛乳の銘柄を安いものに変えた	23.4
2	牛乳を購入する頻度を減らした	6.0
3	1回に購入する牛乳の量を減らした	2.6
4	牛乳以外の飲み物を購入し、代用している	5.8
5	牛乳を購入するのをやめた	0.8
6	その他	2.9
7	これまでと変わらない	66.3
NA		-

問15で「4 牛乳以外の飲み物を購入し、代用している」を選んだ方は問16へ
問15で「4 牛乳以外の飲み物を購入し、代用している」を選ばなかった方は問17へ

【問15で「4 牛乳以外の飲み物を購入し、代用している」とお答えの方に】(N=51)

問16 あなたが牛乳の代わりに購入している飲み物はどれでしょうか。あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)

1	色もの乳飲料 (いわゆるカフェオレ、コーヒー牛乳、 フルーツ牛乳、ミルクココアなど)	28.1	8	コーヒー(コーヒー飲料も含む)	17.5
2	ドリンクヨーグルト	26.3	9	紅茶(紅茶飲料も含む)	10.5
3	乳酸菌飲料(ヤクルトなど)	38.6	10	無糖のお茶飲料 (緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	26.3
4	果汁飲料	26.3	11	スポーツ飲料(ポカリスエットなど)	28.1
5	野菜ジュース	42.1	12	栄養・機能性飲料 (アミノ式・アミノサプリなど)	12.3
6	豆乳	28.1	13	ミネラルウォーター	17.5
7	炭酸飲料(コーラ、ファンタなど)	14.0	14	この中にはない	1.8
NA					-

ふだん購入する飲み物・乳製品について

【すべての方に】

問17 次の(1)(2)の質問にお答えください。

- (1) 次の飲み物や乳製品のうち、あなたがふだん購入しているものはどれですか。あてはまるものをすべてお答えください。(いくつでも○印)(N=3200)
- (2) 昨今、食料品の価格が値上がりしています。あなたは、(1)で○のついたふだん購入する飲み物や乳製品について、今後購入する量を増やしたいと思いますか、それとも減らしたいと思いますか。「1 増やしたい」から「5 減らしたい」までのいずれかの数字でお答えください。(1つずつ○印)

	(1) ふだん購入するもの (いくつでも○印)	→	(N)	(2) (1)で○のついたものについて (1つずつ○印)					NA
				増やしたい	やや増やしたい	これまですべて	変わらない	やや減らしたい	
白もの牛乳類	65.8	→	(N=1980)	4.2	7.4	86.7	1.6	0.0	0.1
色もの乳飲料 (いわゆるカフェオレ、コーヒー牛乳、フルーツ牛乳、ミルクココアなど)	27.1	→	(N=953)	1.7	4.4	77.2	14.6	1.6	0.6
ドリンクヨーグルト	20.5	→	(N=651)	2.0	12.8	76.8	7.0	1.2	0.2
乳酸菌飲料 (ヤクルトなど)	28.2	→	(N=862)	2.2	7.4	81.6	7.2	1.1	0.4
果汁飲料	27.5	→	(N=939)	1.9	5.8	78.2	12.4	1.4	0.5
野菜ジュース	34.2	→	(N=1044)	6.3	15.8	74.7	2.7	0.3	0.2
豆乳	13.1	→	(N=390)	5.3	14.8	75.7	3.6	0.2	-
炭酸飲料 (コーラ、ファンタなど)	29.5	→	(N=1078)	1.1	1.5	57.5	26.8	12.8	0.4
コーヒー (コーヒー飲料も含む)	51.2	→	(N=1485)	0.7	1.9	83.2	10.4	3.4	0.4
紅茶 (紅茶飲料も含む)	23.8	→	(N=817)	0.8	3.0	85.2	8.7	2.1	0.4
無糖のお茶飲料 (緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	55.7	→	(N=1731)	2.4	6.6	83.4	5.2	1.7	0.7
スポーツ飲料 (ポカリスエットなど)	38.3	→	(N=1360)	1.3	5.8	81.3	9.5	1.6	0.4
栄養・機能性飲料 (アミノ式・アミノサプリなど)	14.2	→	(N=471)	2.6	9.5	77.7	7.5	2.0	0.9
ミネラルウォーター	24.7	→	(N=765)	5.4	7.8	81.3	2.9	1.8	0.8
ヨーグルト	51.0	→	(N=1581)	6.0	12.1	77.3	2.9	0.4	1.3
この中にはない	3.1								
NA	0.3								

ふだんよく飲む飲み物についてお聞きします

【すべての方に】

問18 あなたが、ふだんよく飲む飲み物を、次の中からお知らせください。(いくつでも○印)

問19 では、あなたは、問18でお答えのふだんよく飲む飲み物のなかで、最もよく飲むものはどれですか。(1つだけ○印)

	【問 18】 (N=3200)	【問 19】 (N=3178)
	ふだんよく飲む (いくつでも○印) ↓	最もよく飲む (1つだけ○印) ↓
白もの牛乳類	56.7	16.0
色もの乳飲料 (いわゆるカフェオレ、コーヒー牛乳、 フルーツ牛乳、ミルクココアなど)	19.6	3.0
ドリンクヨーグルト	11.8	0.9
乳酸菌飲料 (ヤクルトなど)	16.4	1.5
果汁飲料	17.1	1.8
野菜ジュース	24.1	2.4
豆 乳	7.8	0.9
炭酸飲料 (コーラ、ファンタなど)	19.2	2.6
コーヒー (コーヒー飲料も含む)	55.1	24.2
紅 茶 (紅茶飲料も含む)	22.0	2.1
無糖のお茶飲料 (緑茶、麦茶、ウーロン茶など)	65.2	35.7
スポーツ飲料 (ポカリスエットなど)	25.1	2.8
栄養・機能性飲料 (アミノ式・アミノサプリなど)	8.9	0.6
ミネラルウォーター	22.2	5.2
この中にはない	0.7	*
NA	0.1	0.3

ヨーグルトについてお聞きします

【すべての方に】(N=3200)

問20 あなたは、日頃の程度ヨーグルトを食べたり飲んだりしていますか。食べるタイプ、飲むタイプ両方含めてお答えください。(1つだけ○印)

1 毎日食べる／飲む	14.6	5 月に2～3日食べる／飲む	17.6
2 週に5～6日食べる／飲む	5.0	6 それ以下しか食べない／飲まない	11.8
3 週に3～4日食べる／飲む	13.9	7 全く食べない／飲まない	16.8
4 週に1～2日食べる／飲む	20.3		
		NA	0.1

【ヨーグルトを食べる／飲む方(問20で「1～6」とお答えの方)に】(N=2695)

問21 あなたは、ヨーグルトを食べる(飲む)ときは、1日に合計でどのくらいの量(食べる量+飲む量)になりますか。市販のヨーグルト1人用1カップが約100gです。(1つだけ○印)

1 50g未満	10.8	5 200gくらい	7.7
2 50gくらい	12.7	6 250gくらい	1.0
3 100gくらい	59.1	7 300gくらい	0.8
4 150gくらい	7.4	8 400g以上	0.5
		NA	0.0

【ヨーグルトを食べる／飲む方(問20で「1～6」とお答えの方)に】(N=2695)

問22 あなたは、どのようなタイプのヨーグルトを食べたり飲んだりすることが多いですか。(いくつでも○印)

1 プレーンヨーグルト(無糖)	42.6	5 手作りヨーグルト	6.5
2 加糖のヨーグルト	40.1	(カスピ海ヨーグルト等)	
3 果肉フルーツ入りのヨーグルト	39.3	6 フローズンヨーグルト	1.4
4 ドリンクヨーグルト(飲むタイプ)	20.8	7 その他	1.6
		NA	0.0

健康や食生活についてお聞きします

【すべての方に】(N=3200)

問23 次にあげる白もの牛乳類に関することがらについて、(1)、(2)にあてはまるものをすべてお答えください。

- (1) あなたが、この半年くらいの間に、テレビや新聞、雑誌などで見たり聞いたりしたものはどれですか。(いくつでも○印)
- (2) あなたが、「そういうよいことがあるなら牛乳を飲んでもよい」と思うものはどれですか。(いくつでも○印)

	(1) この半年くらいの 間に見たり聞いた りしたもの (いくつでも○印) ↓	(2) 「そういうよい ことがあるなら 飲んでもよい」 と思うもの (いくつでも○印) ↓
1) 牛乳には、カルシウムやたんぱく質など体に必要な栄養素がバランス良く含まれている	58.4	43.4
2) 牛乳を朝飲むと、体温が上がり体が目覚める	3.5	19.4
3) 牛乳は血糖値の上昇がゆるやかなので、ダイエット効果がある	3.7	29.3
4) 牛乳を寝る前に飲むことで気分がリラックスして安眠できる	28.0	28.2
5) 牛乳に含まれるカルシウムは、骨を丈夫にし子供の身長を助ける	47.2	26.2
6) 牛乳のたんぱく質には、ニオイの原因となる物質を包み込み体外に出す働きがある	7.9	21.9
7) 牛乳の良質なたんぱく質やビタミン類は、ハリやツヤのある肌をつくる	9.5	28.3
8) 牛乳は少ないカロリーで効率よく必要な栄養素がとれる	14.9	28.1
9) 牛乳に含まれる乳糖は腸内細菌のバランスを改善し有害物質の発生を防ぐ	11.9	30.2
10) 牛乳はスポーツの後に飲むと体力づくりに効果がある	7.0	18.6
11) 牛乳のカルシウムは魚や野菜のカルシウムよりも体に吸収されやすい	22.8	34.7
12) 牛乳にはカルシウムの吸収を助けて骨粗しょう症を防ぐ成分が含まれている	48.6	44.0
13) ひとつもない	21.2	15.3
NA	0.3	0.9

【すべての方に】(N=3200)

問24 あなたは、次にあげる「ことば・用語」をご存じですか。それぞれについてお答えください。

(それぞれ1つずつ○印)	内容まで知っている	内容は知らないが聞いたこと見たことがある	内容も知らないし聞いたことも見たこともない	NA
生活習慣病 →	66.4	30.5	2.8	0.3
体脂肪 →	75.2	21.8	2.4	0.6
BMI指数 →	25.6	33.0	39.8	1.6
メタボリック症候群 →	71.2	24.3	4.1	0.4
食育 →	39.0	35.5	24.7	0.9
食事バランスガイド →	17.9	39.2	41.7	1.2
牛乳の三次機能 →	2.7	20.6	75.7	1.1
栄養素密度 →	4.8	25.8	67.7	1.6
骨粗しょう症 →	76.5	20.6	2.6	0.3
骨密度 →	61.4	30.4	7.2	1.1

【すべての方に】(N=3200)

問25 あなたは、この3年くらいの間に、骨密度測定をしたことがありますか。
(1つだけ○印)

1 3年以内にある	2 3年以内にはないがそれ以前にある	3 一度もない
17.7	10.6	71.7

NA -

【すべての方に】(N=3200)

次の文章をお読みになってから、以下の質問にお答えください。

「3-A-Day」(スリー・ア・デイ)。
 「牛乳・ヨーグルト・チーズ、どれでも自由に1日3回、または3品、食生活に取り入れて、健康に良い食事を実践しましょう」という呼びかけが、3-A-Day運動です。
 3(スリー)は、朝・昼・晩、3度の食事のたびにとか、牛乳・ヨーグルト・チーズを1品ずつ3品を、という程度の軽い意味での3という数字で、毎日必ず3回あるいは3品とらなければならないという意味ではありません。また、A-Day(ア・デイ)は単純に「1日」という意味です。
 たとえば、コップ一杯の牛乳を飲む、サンドウィッチにチーズをはさむ、デザートにヨーグルトを食べる。食事のたびに思い出して、習慣化してみませんか。健康のためにチャレンジしてみましょう。

問26 上の文章は、「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」についての説明ですが、あなたは「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」についてご存じでしたか。(1つだけ○印)

1 知っている 4.4	2 だいたい知っている 8.8	3 知らない 86.9
NA -		

問27 では、あなたは、広告などで次のようなロゴマークを見たことがありますか。(1つだけ○印)

1 見たことがある 11.2	2 見たことはない 88.8
NA 0.0	



【見たことがある方(問27で「1」とお答えの方)に】(N=411)

問28 あなたは、上のロゴマークを何でご覧になりましたか。(いくつでも○印)

1 テレビ 23.5	6 牛乳・乳製品のパッケージ 48.9
2 新聞 15.6	7 牛乳売場の小型液晶テレビ 14.0
3 雑誌 15.9	8 駅の看板 1.7
4 パンフレット・小冊子 25.1	9 電車の車内広告 2.2
5 ホームページ 3.4	
NA 2.0	

【すべての方に】(N=3200)

問29 あなたは、ふだんの食生活で、「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」を心がけていますか。
(1つだけ○印)

1 毎日心がけている	9.6
2 毎日ではないが心がけている	30.2
3 心がけていない	60.1
NA	0.2

【すべての方に】(N=3200)

問30 あなたは、「3-A-Day(スリー・ア・デイ)」を実践してみようと思いますか。(1つだけ○印)

1 とてもそう思う	13.8	3 あまりそう思わない	24.1
2 まあそう思う	54.2	4 まったくそう思わない	7.6
NA		NA	0.3

【すべての方に】(N=3200)

問31 あなたは、次のような広告を見たことがありますか。(1つだけ○印)

1 見たことがある	5.6	2 見たことはない	94.1
NA		NA	0.3



【見たことがある方(問31で「1」とお答えの方)に】(N=176)

問32 あなたは、上のような広告を何でご覧になりましたか。(いくつでも○印)

1 新聞	49.2	3 パンフレット・小冊子	21.8	5 その他	12.3
2 雑誌	34.1	4 ホームページ	3.4	NA	1.7

あなたご自身のことについてお知らせください。
統計分析に必要ですので、ありのままお答えください。

【すべての方に】(N=3200)

F1 性別

1 男性	48.6	2 女性	51.4	NA	-
------	------	------	------	----	---

F2 年齢

47.5	才
------	---

F3 あなたは結婚なさっていますか。(1つだけ○印)

1 未婚	21.4	2 既婚	75.3	3 その他	3.3	NA	0.1
------	------	------	------	-------	-----	----	-----

F4 お子さんはいらっしゃいますか。(1つだけ○印)

1 いる	72.7	2 いない	27.1	NA	0.2
------	------	-------	------	----	-----

F5 あなたのご職業は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。(1つだけ○印)

【自営・家族従業】		【勤め】		【無職】	
1 農林漁業	2.2	5 管理職	3.7	11 専業主婦	16.9
2 商工サービス業	8.3	6 専門・技術職	11.1	12 中学生	3.2
3 自由業	3.9	7 事務職	7.3	13 高校生	3.3
4 内職	0.5	8 労務職	5.4	14 中高生以外の学生	2.8
		9 販売・サービス職	5.8	15 無職	15.1
		10 パート・アルバイト	10.5		
				NA	-

【学生および有職の方 (F5で「1～3、5～10、12～14」とお答えの方)へ】
(N=2361)

F5-1 あなたの学校や職場では、給食や食堂がありますか。(1つだけ○印)

1 給食がある	3.8
2 給食はないが学校や職場の食堂を利用している	19.5
3 どちらもなし	71.8
	NA 5.0

【すべての方に】(N=3200)

F6 同居しているご家族の人数を、ご自分も含めてお知らせください。(1つだけ○印)

1	1人(ひとり暮らし)	5.8	4	4人	24.8	7	7人以上	4.1
2	2人	22.0	5	5人	14.9			
3	3人	22.0	6	6人	6.1			
							NA	0.3

【同居している家族人数が2人以上の方(F6で「2~7」とお答えの方)に】(N=3037)

F7 あなたはご家族の中で、次のようなことを主に担当なさっていますか。あてはまるものをお答えください。(いくつでも○印)

1	料理をする	45.7	3	どちらもしていない	46.2	
2	食料品の買物をする	45.9				
					NA	0.1

【同居している家族人数が2人以上の方(F6で「2~7」とお答えの方)に】(N=3037)

F8 お宅の家族構成(同居している家族)を、次の中から1つだけお選びください。

(1つだけ○印)

1	夫婦2人	19.3	
2	2世代世帯(親と子)	58.7	
3	3世代世帯(親、子、孫)	19.5	
4	その他	2.3	
		NA	0.2

【F8で「2、3、4」とお答えの方に】(N=2557)

F9 では、同居しているご家族に、次のような方はいらっしゃいますか。該当するものをいくつでもお答えください。(いくつでも○印)

1	乳児・幼児	23.1	4	高校生	16.1	
2	小学生	26.6	5	大学・短大・専門学校生	10.1	
3	中学生	17.2	6	この中にはない	35.8	
					NA	0.7

長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。

2008年 牛乳・乳製品の消費動向に関する調査
〔第22回〕

2008年12月発行

発行 社団法人 日本酪農乳業協会
東京都中央区築地6丁目4番10号
カトキチ築地ビル9階
電話 (03) 6226-6351 (代)

後援 農林水産省
独立行政法人 農畜産業振興機構

調査実施機関 株式会社 日本リサーチセンター